

官報

號外

昭和四年二月三日 日曜日

内閣印刷局

第五十六回帝國議會衆議院議事速記録第十一號

昭和四年二月二日(土曜日)午後一時十五分開議

議事日程 第十號

昭和四年二月二日

午後一時開議

第一 會計検査院法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第三 賠償金特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第五 帝國鐵道會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第七 裁判所ノ設立ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第八 大正二年法律第九號中改正法律案(裁判所管轄區域ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第九 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第十 礦業法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第十二 競馬法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第十四 蠶絲業法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第十六 借地借家臨時處理法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第十八 大正十四年法律第二十九號中改正法律案(染料製造獎勵ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第十九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第二十 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第二十二 電話事業公債法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

大正十四年度第一豫備金支出ノ件

大正十四年度特別會計第一豫備金支出ノ件

大正十四年度第二豫備金支出ノ件

大正十四年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

大正十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件

大正十四年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正十五年第一豫備金支出ノ件

大正十五年特別會計第一豫備金支出ノ件

昭和四年度特別會計第一豫備金支出ノ件

大正十五年特別會計第一豫備金支出ノ件

昭和四年度特別會計第一豫備金支出ノ件

大正十五年第二豫備金支出ノ件

昭和四年度特別會計第二豫備金支出ノ件

昭和二年年度第二豫備金支出ノ件

昭和二年年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

昭和二年年度特別會計第二豫備金支出ノ件

昭和二年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

昭和二年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

昭和二年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

昭和二年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

昭和二年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

昭和二年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

昭和二年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

昭和二年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

昭和二年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

昭和二年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

昭和二年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

昭和二年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

昭和二年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

昭和二年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

中井 一夫君 森田 茂君
野田文一郎君
四國循環鐵道完成ニ關スル建議案
提出者

村松恆一郎君 大西 正幹君
下元鹿之助君
千種武節間鐵道敷設速成ニ關スル建議案
提出者

岡崎、多治見間鐵道敷設速成ニ關スル建議案
提出者

岡本實太郎君
長崎市ニ商科大學及高等學校設置ニ關スル建議案
提出者

岡本實太郎君
長崎市ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案
提出者

則元 由庸君
本田 英作君
本田 恒之君
森 肇君
長崎市ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案
提出者

則元 由庸君
本田 英作君
本田 恒之君
森 肇君
長崎市ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案
提出者

則元 由庸君
本田 英作君
本田 恒之君
森 肇君
長崎市ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案
提出者

則元 由庸君
本田 英作君
本田 恒之君
森 肇君
長崎市ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案
提出者

則元 由庸君
本田 英作君
本田 恒之君
森 肇君
長崎市ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案
提出者

則元 由庸君
本田 英作君
本田 恒之君
森 肇君
長崎市ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案
提出者

則元 由庸君
本田 英作君
本田 恒之君
森 肇君
長崎市ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案
提出者

則元 由庸君
本田 英作君
本田 恒之君
森 肇君
長崎市ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案
提出者

則元 由庸君
本田 英作君
本田 恒之君
森 肇君
長崎市ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案
提出者

則元 由庸君
本田 英作君
本田 恒之君
森 肇君
長崎市ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案
提出者

則元 由庸君
本田 英作君
本田 恒之君
森 肇君
長崎市ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案
提出者

則元 由庸君
本田 英作君
本田 恒之君
森 肇君
長崎市ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案
提出者

則元 由庸君
本田 英作君
本田 恒之君
森 肇君
長崎市ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案
提出者

則元 由庸君
本田 英作君
本田 恒之君
森 肇君
長崎市ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案
提出者

神部 爲藏君 坂東幸太郎君
(以上二月三十一日提出)
米穀法中改正ニ關スル建議案

宮澤 裕君 水久保甚作君
名川 侃市君 土井 權大君
東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所
獨立ニ關スル建議案

提出者 蔭山 貞吉君 土井 權大君
福知山線電化速成ニ關スル建議案
提出者 蔭山 貞吉君
福知山線池田驛ヲ川西驛ト改稱スルノ建
議案

提出者 蔭山 貞吉君
決議案(某重大事件ノ調査ノ結果發表ニ
關スル件)

提出者 山道 襄一君 一宮房治郎君
中野 正剛君 松田 源治君
長島 隆二君 大竹 貫一君
(以上二月三十一日提出)
一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ
如シ
山岡宮崎縣知事ノ失政ニ關スル質問主意
書

提出者 二見 甚郷君
議員ノ特權ニ關スル質問主意書
提出者 横山勝太郎君
思想指導ノ政策ニ關スル質問主意書
提出者 三宅 磐君
宮崎市騷擾事件ニ關スル質問主意書
提出者

三浦 虎雄君 鈴木憲太郎君
(以上二月三十一日提出)
資源並食糧問題ニ關スル質問主意書
提出者 葛原 猪平君
(以上二月一日提出)

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲
茲ニ掲載ス〕
一去年十一月一日常任委員理事補選結果
左ノ如シ

請願委員
理事 蔭山貞吉君(理事多田勇雄
君本月二十九日辭任ニ付
其ノ補闕)
一去年十一月一日常任委員補選結果左ノ
如シ

第二部選出
請願委員 西村茂生君(鈴木巖君補闕)
第二部選出
懲罰委員 作田高太郎君(山田又司君
補闕)

一去年三十日地租條例廢止法律案外十六件委
員谷口源十郎君中井一夫君岡本實太郎君
津雲國利君辭任ニ付其ノ補闕トシテ岡本
實太郎君津雲國利君木村三郎君中井一
夫君ヲ孰レモ議長ニ於テ選定セリ

一昨一日常任委員補選結果左ノ如シ
第一部選出
請願委員 飯塚知信君(石塚三郎君補
闕)

第六部選出
懲罰委員 富田八郎君(磯部清吉君補
闕)
第七部選出
豫算委員 川崎安之助君(杉浦武雄君
補闕)

○副議長(清瀨一郎君) 是ヨリ會議ヲ開キ
マス、御諮リ致スコトガゴザイマス、第三
部選出豫算委員岡崎久次郎君、第三部選出
請願委員英義彦君、第六部選出懲罰委員富
田八郎君、右三名ヨリ常任委員辭任ノ申出
ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセ
ヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(清瀨一郎君) 御異議ガナケレバ
許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉
ヲ行ヒ、御届出アラシコトヲ望ミマス、尙
ホ御諮リ致シマス、地租條例廢止法律案外
十六件ノ委員長ヨリ、本日午後引續キ開會
ノ申出ガアリマシタ、又今後本會議中ト雖
モ同委員會ヲ開キタイト申出ガアリマ
ス、之ヲ許可スルニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(清瀨一郎君) 御異議ナシト認メ
マス、仍テ許可致シマス——日程第一、會
計検査院法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キ
マス——前田法制局長官

第一 會計検査院法中改正法律案(政
府提出) 第一讀會
會計検査院法中改正法律案
第二條中「書記官專任一員」ヲ「書記官專
任二員」ニ改ム

本法ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
(政府委員前田米藏君登壇)
○政府委員(前田米藏君) 只今上程セラレ
マシタ會計検査院法中改正法律案ノ提案ノ
理由ヲ、極ク簡單ニ御説明申上ゲマス、近
時會計検査院ニ於ケル検査事務ガ複雑且ツ
多端ニ相成リマシテ、殊ニ此會計検査院中ノ
各部ノ間ニアリマシテ、部ト部トノ間ノ聯
絡、並ニ部ノ外ニ立チマシテ、共通セル所
ノ事項ヲ比較研究スル必要ガ著シク増加致
シテ參事ノデアルマス、斯ノ如キ事務ハ
書記官ヲシテ比較研究、或ハ考査、調査セ
シムルコトガ適當ナリト思惟スル次第デゴ
ザイマシテ、會計検査院ニハ御承知ノ如ク
ニ書記官ハ一名アルノデアリマスガ、今回
其專門ノ書記官ヲ一名増員ヲ致シテ、會計
検査事務ノ改善ニ資セントスル次第デアリ
マス、案ハ簡單デアリマスカラ、宜シク御
審議ノ上御協賛ヲ願ヒマス

○副議長(清瀨一郎君) 日程第一ニ付キ質
疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス、田淵
豐吉君

(田淵豐吉君登壇)
○田淵豐吉君 此法律案ノ内容ヲヨク
知ラナイノデス、ソレデ此壇上ニ立ツノハ
如何ニモ烏滸ガマシイト思ヒマシタケレド
モ、一ツ願ヒタイコトガアル、一體吾々ハ
會計検査院法ナシカ見ヤシナイ、是ハ前カ
ラノ話ガアリマセウ、殆ド後ノ祭デ何ノコ
トカ分リハシナイ、私會計検査院法ト云フ
モノハドンナモノカ知リマセヌ故ニ、此處
デ政府ノヤル冗贅其他色々間違タコトガ

私ハ澤山アルグラウト思フ、ソレヲ言ヘバ
綱紀肅正トカ色々ナ願末迄ドント進ンデ
行クグラウト思フ、詰リ此會計検査院法ト
云フモノハ少シモ眞面目ナモノデナイ、是
程堅イモノハナイト言ハレテ居ルガ、是程
眞ニ行ハレテ居ラナイモノハ私ハナイト云
フコトヲ感ジテ居ル、諸君モサウデセウ、
故ニ此法律ハドウ云フコトヲ御改正ニナル
カ知レマセヌガ、極ク瑣末ナ法律ノ條項ナ
ンカラ改正シテモ何ニモナラナイ、必要ナ
レバソレヲ直スノモ宜シイケレドモ、會計
検査院法ト云フモノヲ——其モノヲ日本ハ
此豫算ヲ審議スル時ニ非常ニ慎重ニヤル、之
ヲ使フ時ニドウスルカト云フト、殆ドナッ
テ居ナイト云フ現狀デハアリマセヌカ、此重
大モノヲ殆ド捨テ、置イテ、何等ソレニ
徹底的ノ改善ヲ加ヘヌト云フコトハ、重大
ナル帝國議會ノ任務ノ一ツトシテ常々考
テ居ルノデアリマス、私咄嗟ニ參リマシテ、
此案ノ内容ヲ知ラズニ此壇上ニ立ツト云フ
コトハ、烏滸ガマシイコトデアルト自ラ恥
ヂマスガ、其根本義ニ付テ重大ナル改正ト、
サウシテ豫算ヲ審議スルヤウニ、サウシテ
豫算ノ編成ニ當ルヤウニ、其支出ガドウデ
アルカト云フコトノ大綱ニ向ッテ、此帝國
ノ重大ナル年々膨脹シテ二十億ニナリ、三
十億、五十億ニナル所ノ大ナル豫算ノ支出
ト云フモノニ付テ十分ノ法制ト其審議機關
ト、其適當ナル人員ヲ選擇シテ、之ヲ徹底
的ニ調ベルト云フコトデナケレバ、此非常
ナル災害ヲ我が日本ニ來スデアラウト私ハ
常々思ウテ居リマスカラ、斯ウ云フヤウナ
改正ニ付テ此場合間ク必要ガナイカモ知レ
マセヌガ、前田君アタリガ今説明ノ任ニ
當テ居タカ、ドウ云フヤウナ考ヲ持テ
居ルカト云フコトヲ聞キタイ、又ドウ云フ
ヤウナ缺陷ガアルカト云フヤウナコトヲ聞
キタイ、唯末ナル所ノ改正タケデハ、何
等重大ナル意義ヲ生ジナイモノデアルト云
フコトヲ信ジマスカラシテ、改正スル以上
ハ徹底的ノ政府ガヤル所ノ必要ガアル、吾々
ガ之ヲ審議スル必要ガアルト云フコトヲ感
ジマスカラ、其タ駄辯ノヤウデゴザイマス

ガ、私ガ常ニ憂ヘテ居ル點デゴザイマスカラ、一言茲ニ申シタヤウナ次第アリマス、政府ノ所見ヲ聞キタリノアリマス

〔政府委員前田米藏君登壇〕

○政府委員(前田米藏君) 只今御質問ニ相成リマシタ點ニ付キマシテハ、本案ハ極ク簡單ナ案デアリマシテ、只今御説明申上ダタ如クニ、會計検査院ニ書記官一名ヲ附員セント欲スル案デアリマス、併ナガラ只今御質問ニ依リマスレバ、會計検査院ノ全體ニ付イテ、政府ハドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカト云フ風ニ聽取タノデアリマス、會計検査院ノ事務ニ付キマシテ先ヅ第一ニ考ヘラレルコトハ、事前検査ノ問題デアリマス、此問題ハ御承知ノ如ク前内閣濱口大藏大臣ノ時ニモ、非常ニ御政見ニナタ問題デアリ、現内閣モ行政制度審議會設立以來、此會計事務ニ付イテ事前検査ノ當否、並ニ事前検査ヲスルナラバ如何ナル機關ニ依ッテソレヲ行フカ、會計検査院ヲシテ行ハシムベキカ、又大藏當局ヲシテ行ハシムベキカ、又ハ獨立ノ機關ニ依ッテ之ヲ検査セシメルカト云フガ如キ、會計検査院ノ機能發揮ニ關スル方面、目下慎重ニ吾々ハ研究致シテ居ル次第デアリマス、故ニ相當ノ時機ニ於テハ、其點ニ付テノ御説明ヲ申上ゲルコトモ出來ヤウト思ヒマスガ、今日ノ程度ニ於テハ先程御説明申上ゲマシタヤウニ、即チ定員一名ト云フ簡單ナ改正案ヲ提案シタヤウナ次第デアリマス、斯様ニ御了承ヲ願ヒタイノデゴザイマス

○副議長(清瀬一郎君) 日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○原惣兵衛君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(清瀬一郎君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メ

官報號外 昭和四年二月三日 衆議院議事速記第十一號 議事日程第二乃至第八ノ件

マス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第三、賠償金特別會計法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——三土大藏大臣

第三 賠償金特別會計法中改正法律案

〔政府提出〕

賠償金特別會計法中改正法律案 第一讀會

賠償金特別會計法中左ノ通改正ス

第三條中「法令ノ定ムル所ニ依リ支出スル交付金」ノ次ニ「第三條ノ二ノ規定ニ依リ組入金」ヲ加フ

第三條ノ二 本會計ノ資金ハ豫算ノ定ムル所ニ依リ之ヲ國際聯盟、移殖民及航空施設ニ關スル經費ニ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ本資金ヲ使用セントスルトキハ其ノ金額ヲ一般ノ歳入ニ組入レ一般ノ歳出トシテ拂出スヘシ

附則

本法ハ昭和四年度ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣三土忠造君登壇〕

○國務大臣(三土忠造君) 只今議題ニナリマシタル賠償金特別會計法中改正法律案ニ付テ御説明ヲ致シマス、獨逸國等ノ平和條約ニ基キマシテ、本邦政府ガ賠償金トシテ受領シタル現金又ハ物件ハ、大正九年法律第二十五號ニ依リマシテ、之ヲ一般ノ歳入歳出ト區分致シ、賠償金特別會計ニ於テ保有シテ居リマシタル所、同特別會計資金ハ昭和三年末ニ於テ千八百餘萬圓ニ達シ、且ツ將來モ「ドローツ」案ニ依リ賠償支拂計畫ノ支障ナク實行サレマスル限リ、毎年約七百萬圓ノ現金ヲ受領シ得ル豫定デアリマス、右賠償金特別會計ノ資金ハ、帝國財政ノ現狀ニ鑑ミマシテ、之ヲ最も適切有效ナル用途ニ充テルコトガ肝要デアリマスカラ、昭和四年度以降毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ、之ヲ一般會計ニ組入レ國際聯盟、移殖民及航空施設ニ關スル經費ニ使用スルコトヲ適當ト認メマシテ、是ガ爲ニ本案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○副議長(清瀬一郎君) 日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

○原惣兵衛君 本案ハ議長指名特二十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(清瀬一郎君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第五、帝國鐵道會計法中改正法律案ノ一讀會ヲ開キマス——三土大藏大臣

第五 帝國鐵道會計法中改正法律案

〔政府提出〕

帝國鐵道會計法中改正法律案 第一讀會

帝國鐵道會計法中左ノ通改正ス

第七條第二項中「鐵道及軌道ニ關スル監督上ノ諸費用」ヲ「鐵道、軌道其ノ他陸運ニ關スル監督上ノ諸費用」ニ改ム

附則

本法ハ昭和四年度ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣三土忠造君登壇〕

○國務大臣(三土忠造君) 帝國鐵道會計法中改正法律案ニ付キマシテ提案ノ理由ヲ說明致シマス、陸上運送ノ監督ニ關スル事務ハ從來逓信省ノ所管ニ屬シテ居タノデアリマシタガ、曩ニ事務系統ノ整理ヲ致シマシテ、其結果此事務ハ鐵道省ニ移管スルコトニ致シマシタ、之ニ伴ヒマシテ茲ニ新ニ其監督ニ關スル諸經費ヲ本會計ノ負擔トシ、收益勘定ノ歳出ト爲ス必要ガアリマシテ、本案ヲ提出致シタ次第デアリマス、極メテ簡單ナノデアリマスガ、何卒協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 日程第六、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○原惣兵衛君 本案ハ日程第三ノ委員ニ併セテ、付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(清瀬一郎君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第七及第八ハ關聯シタル議案デアリマス、仍テ一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、日程第七、裁判所ノ設立ニ關スル法律案、日程第八、大正二年法律第九號中改正法律案ヲ一括シテ其ノ第一讀會ヲ開キマス——原司法大臣

第七 裁判所ノ設立ニ關スル法律案

〔政府提出〕

裁判所ノ設立ニ關スル法律案 第一讀會

北海道常呂郡野付牛町ニ區裁判所ヲ置キ之ヲ野付牛區裁判所ト稱ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八 大正二年法律第九號中改正法律案(裁判所管轄區域ニ關スル件)(政府提出)

大正二年法律第九號中改正法律案 第一讀會

大正二年法律第九號中左ノ通改正ス

網走		北海道ノ内 常呂郡ノ内 常呂村	斜里郡 常呂村
野付牛		北海道ノ内 常呂郡ノ内 野付牛町 相内村 置戸村 佐呂間村 紋別郡ノ内 生田原村 上湧別村	端野村 訓子府村 留邊蘆町 遠輕村 下湧別村

本法施行前網走區裁判所ニ於テ受理シタル事件ハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ完結ス

第八十八條第一項ヲ左ノ如ク改ム
北海道、府縣及市町村ハ鑛業稅ニ對シ各左ノ制限以内ノ附加稅ヲ課スルコトヲ得

○國務大臣(原嘉道君) 裁判所ノ設立ニ關スル法律案及大正二年法律第九號中改正法律案ノ理由ヲ簡單ニ御説明申上デマス、北海道常呂郡及紋別郡ニ於キマスル經濟上ノ事情及交通ノ便否ニ鑑ミマシテ、野付牛町ニ區裁判所ヲ設立スル爲ニ、裁判所設立ニ關スル法律案ヲ提出致シマシタ、大正二年法律第九號中改正法律案ハ、只今申上デマシタ裁判所設立ニ關スル法律案ト牽連致シマシテ、新ニ立テマスル野付牛區裁判所ノ管轄區域ヲ定メルガ爲ニ必要ナルモノトシテ提出致シマシタ次第アリマス、何卒御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

一 北海道、府縣
試掘鑛區稅 千分ノ三十
探掘鑛區稅 千分ノ七十
鑛產稅 千分ノ二百

○副議長(清瀨一郎君) 日程第九、右各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

二 市町村
試掘鑛區稅 千分ノ三十
探掘鑛區稅 千分ノ七十
鑛產稅 千分ノ二百

第九 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

同條第三項ヲ左ノ如ク改ム
前二項ノ規定ハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ町村ニ準ズベキモノニ之ヲ準用ス

○副議長(清瀨一郎君) 日程第九、右各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第九十八條中「乃至第四十八條」ヲ「第四十七條」ニ改ム

第九 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第八十二條ノ改正規定ハ昭和六年一月一日ヨリ、第八十五條及第八十八條第一項ノ改正規定ハ昭和六年分ノ鑛產稅及之ニ對スル附加稅ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○原惣兵衛君 日程第七、第八ノ兩案ハ之ヲ併セテ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

附則
第八十二條ノ改正規定施行ノ際現ニ石膏ヲ掘採スル者又ハ其ノ承繼人ハ同規定施行ノ日ヨリ六月間從前ノ例ニ依リ其ノ掘採ヲ繼續スルコトヲ得其ノ期間内ニ當該掘採者又ハ其ノ承繼人ガ石膏ヲ掘採スル爲出願ヲ爲シタル場合ニ於テ許可ノ登錄又ハ不許可ノ指令ノ日迄亦同ジ

○副議長(清瀨一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第十、鑛業法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——中橋商工大臣

第二條ノ改正規定施行ノ際現ニ石膏ヲ掘採スル者又ハ其ノ承繼人ハ同規定施行ノ日ヨリ六月間從前ノ例ニ依リ其ノ掘採ヲ繼續スルコトヲ得其ノ期間内ニ當該掘採者又ハ其ノ承繼人ガ石膏ヲ掘採スル爲出願ヲ爲シタル場合ニ於テ許可ノ登錄又ハ不許可ノ指令ノ日迄亦同ジ

第十 鑛業法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

鑛業法中改正法律案 第一讀會
鑛業法中左ノ通改正ス
第二條中「及硫黃」ヲ「硫黃及石膏」ニ改ム

第四十八條 削除
第八十二條 削除
第八十五條中「百分ノ一」ヲ「千分ノ五」ニ改ム

第九條第三項、第二十九條、第三十一條、第三十三條及第三十三條ノ二ノ規定並ニ第九條第二項ノ鑛區面積ニ關スル規定ニ拘ラズ之ヲ許可ス

土地所有者ハ前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ニ對シ石膏ノ掘採ニ付相當ノ補償金ヲ請求スルコトヲ得

砂鑛法第十三條及第十五條ノ規定ハ前項ノ補償金ニ之ヲ準用ス

○國務大臣(中橋德五郎君登壇) 今回我が鑛業法ヲ三箇條ニ互リマシテ改正致シタイト云フ見込アリマス、其ハ從來石膏ト云フ物ハ採掘ヲ致シテ居リマセマカ、鑛業法中ハ入テ居リマセマカ、甚ダ之ヲ保護シ、獎勵シ、取締ルニ不便ヲ感ジマシタノデ、此石膏ヲ金銀銅鐵ノ如ク各種ノ鑛物ノ中ヘ加ヘタイト云フ改正アリマス、其次ハ從來ハ鑛山ノ試掘ニ依リテ發掘致シマシタル所ノ鑛物ヲ處分シマス時ニハ、各地ノ鑛山監督署長ノ認可ヲ經ナクチャナラヌコトニ規定ガナッテ居リマス、是ハ今日ニ於テハ不要ナワト考ヘマスルノデ、其箇條ヲ削除致シタイ、之ガ第二點アリマス、第三ニハ各地ノ請願モアリマスルシ、審査シマシタ結果、鑛山稅ノ半額ヲ今回地方ニ委譲ヲ致シタイト云フ見込デ國稅ヲ半減致シマシテ、國家ニ半分取リ、後ト半分ハ地方ニ於テ之ヲ徵收サセルト云フコトニ致シマシタ、是ハ豫算ノ中ヘモ編入ヲ致シテ置キマシタ譯デアリマス、此三點ニ付テ改正致シタインデアリマス、ドウカ御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス

○副議長(清瀨一郎君) 質疑ノ通告ガアリマス——田淵豐吉君

○田淵豐吉君 砂鑛法第十三條及第十五條ノ規定ハ前項ノ補償金ニ之ヲ準用ス

ストカ(オカシサ事ヲ言フナ)ト呼フ者アリ)米ガ穫レヌトカト云フヤウナ處ニ此鑛業ナンカ起ルヤウナ處ハ無イ、鑛業區域ハ廣イノデゴザイマセウ、ドウ云フ範圍デアルカ私ハ知リマセヌケレドモ、サウ云フヤウナモノガアル、サウ云フヤウナ處ニ、例ヘバ小學校ガアル、例ヘバ小學校ト云フモノガ日本の義務付ケラレテ居ル、鑛業ト云フモノニハ、其或ル特殊——特殊ノ自然ノ產物ノ資源ガ其處ニアル、例ヘバ其處ニ大キナ金鑛ガ出ル、其金鑛ノ稅ノ率ニモ依リマスルケレドモ、非常ニソコニ特殊ノ大ナル日本ノ寶庫ガアルト云フ、「ダイヤモンド」ガアル、大理石ガアル、金鑛ガアル、其他石炭ガアル、鑛業ノ内容ハ知リマセヌケレドモアル、サウ云フヤウナ物ハ日本ノ國產デアアル、其日本ノ國產デアアル、其處カラ稅ヲ取ル、家康ガ伊豆ノ下田ノ金鑛ノ稅ヲ取ランガ爲ニ、取ッチャ人民ガ怒ルカラソコデ金鑛ヲ掘ッテ——番頭ガ行ッテ金鑛ヲ掘ッテ、ソレデ國ヲ治メタト云フヤウナコトハ、其中デ以テ大キナル特殊ノ國產ガアル、ソレヲ以テ國ヲ治メルト云フヤウナ狀態ニナッテ居ラ、ソレガ一般化シテ日本ノ物デアアルト云フコトニナッテ、必シモ其地方ノ特有スベキモノデハナイノデアアル、ソレガ有ルカ無イカト云フコトハ、私ハ此鑛業法ヲ讀マナイカラ能ク知リマセヌケレドモ、ソレガ私ハ一ツノ點ダト思ヒマス、諸君、考ヘタラ分ル、故ニソレハ其地方ダケノ物デハナイ、其處ニ「ナツール・セツエ」ト云フモノガアル、其處ニ良イ所ノ寶庫ガアル、ソレハ日本ノ寶庫デアアルト云フヤウナ觀念、斯ウ云フ觀念ト如何ナル交叉點ヲ爲スカト云フコトガ問題ニナッテ來ルト思フデアリマス、故ニ此處ニ貧弱ナル町村ガアレバ、其町村ニ樺太ナリ、北海道ナリ、或ハ琉球ナリ、臺灣ナリ、朝鮮ナリ、特殊ノ教育及風土、氣候、人情、歴史、ソレニ從ッテ所ノ建築ヲサセ、教員ヲ宛行ヒ、サウシテ條給ハ其適當ナル條給ヲ與ヘテ、自治的ノ教育ヲヤルト云フヤウナ場合ニハ非常ニ此特殊ノニナッテ居

ル、併ナガラ日本ハ今ヤ日本帝國トシテ人民ガ小サナ家族主義ヲ離レテ、大ナル家族主義、大ナル社會的ノ國家主義ヲヤ、テ居ルト云フヤウナ狀態デアル、斯ウ云フヤウナ場合ニ於テ彼此相通ズルコト云フ問題デア、其金錢ガアル、其稅ヲ取ルコト云フコトハ、地方ニ違ルト云フコトハ、其地方ノ物デハナク、日本ノ物デアルト云フ點ト、如何ナル交叉點ヲ持テ居ルカト云フコト、是ガ地租委員及此問題ニ付テ重要ナル點ト思ヒマス、故ニ此教育費ノ國庫支辨ト云フコトハ、其町村タケデヤリタイト云フ政友會ハ傾向ヲ持テ居ルト思フ、民政黨ナドハ之ヲ成ベク増額シタイ、床次君ナドモ成ベク増額シテ、全額迄モ行キタイ、吾々モサウ云フヤウナ傾向ヲ取テ居ル、サウ云フヤウナ思想、日本全國的ノ思想ト、其土地ニアツカカラ其土地ノ物デアルト云フ點ト、如何ナル所ノ交叉點ヲ持テ居ルカト云フコトハ、是ハ小サイヤウデアリマスケレドモ、矢張地租委員ノ問題——營業稅ハドウカ知ラヌガ、ソレモ幾分カ關係ゴザイマセウ、此鐵業ノ問題ハ殊ニ然リト思ヒマス、是ガ重大ナル問題ト思ヒマス、今ヤ日本ハ小サナ土地ト云フモノカラ離レテ、職業團體ノ特殊利益ノ代表ガ起ラントシテ居ル、政友會ハ矢張地方分權主義デア、朝鮮ノ銀行ノ紙幣ハ日本ニ通ジナイ、日本銀行ノ紙幣ハ朝鮮ニ通ズル、故ニ特殊の朝鮮銀行ノ紙幣ノ發行デア、日本銀行ノ紙幣ハ確ニ活歩スルコトガ出來ルト云フコトハ政友會ノ諸君貼書ノ中ニサウ云フモノガアルト思ヒマス、地方分權ハ活歩シ、中央集權ハ跛行スルコト云フ圖ヲ半バ打破スルコトニナルノデア、詰リ日本ハ資金ヲ失ヒツ、アルノデア、世界ノ即チ世界議會ガ世界ノ合同のノ主權ガ日本ノ主權ヲ害サレテ居ル、何故カト云フト、勞働者ノ團體ガ出テ行ク、政府ノ團體ガ出テ行ク、資本家ノ團體ガ出テ行ク、一國カラ三人モ出テ行クト云フヤウナ妙ナ社會的現象ヲ來シテ居ル、今ヤ世界ハ大ナル資金ヲ持テ居ル國ハ無イト云

フ狀態デ、何ト言フモ始マラナイト云フ狀態デア、既ニ他國モ皆其例ニ從テ居ル、幾ツモ字ヲ使フコトガ困難デアルト云フコレバ、強イ國ガ決メタコトニ從テ行カナク、強イ國ガ決メタコトニ從テ行カナク、條約文ノ「ビール」人民ト云フ言葉ニ付テ言フテ居ルケレドモ、駄目デア、サウ云フヤウナ點デ、今ヤ世界ハ地球ノ上ニ乘テ居ルガ、一ツノ物デア、彼此相通ジナク、スウ云フヤウナ鐵業稅ハ、此方ニアルカラ此方ヲ取ルト云フヤウナ、ソナ目ノ子勘定デハイケンナイノデア、故ニ政友會ノ幹部連中ニ於テハ、土地の代表ト云フモノガ、段々少クナッテ來タコトハ、諸君モ御承知デセウ、段々有能ナル者ヲ以テ、沈著ナ頭腦ヲ要スルコト云フ狀態ニナッテ來テ居ル、必シモソレガ實際ノ必要カラ起テ來ルハ、諸君ガ考ヘタラ分ルダラウト思ヒマス、斯ウ云フ村ニアルカラ村ノ物ダト云フ觀念ガ、段々廢テ來テ居ルデハナイカ、政友會ハ人間ハ動物デア、ルコト云フコトヲ知ラヌ、動キツ、動物デア、ルコト云フコトヲ知ラヌ、例ヘバ昨日モ地租委員ト云フモノハ社會政策デア、尙ホ社會政策トモ云ヘマセウ、云ヘマセウケレドモ、地方ノ喰詰者ガ東京ヘ來ルコトニナッテ來ル、子供モ來ルト云フコトニナッテ來ル、ソレデ土地ト云フモノハ近世的ノ社會政策ニ始マッテ居ラヌト思フ、若槻君ガ金額ガ一億何千萬圓ヲ持テ居ル、ソレヲ三土君ガ又後ロカラ付イテ社會政策ト云フノハ間違テ居ルノデハナイカ、言ヘヌコトハナイケレドモ、チツ苦シイト思フ、今ヤ日本ハ世界ニ發展シヤウト云フ時ニ、特殊ノモノガ土地ノ物デアルト云フヤウナ觀念ヲ棄テナケレバ、彼此相通ズルト云フコトハ出來ナイ、小學校國庫支辨費ヲ増スコトガ出來ナクナッテ、地方ガ疲弊ヲ來スコトガナイカト思フ、此土地の分割主義、封建的制度カラ日本全國のニ彼此通ジ、有無相通ジテ行タト云フ所ノ大ナル觀念ヲ持ツニ非ズンバ、帝國ノ前途亦危イト思フノデアリマス、故ニ此問題ハ地方のノ利益ニ立ッテ、ソレヲ

ヤルト云フヤウナ目ノ子勘定ト、此大日本のノ上ニ於テ一ツ日本ノモノデアルト云フ觀念トノ間ニ相違點ガ無イカ、此觀念ヲ如何ニ見ルカト云フコトハ、實ニ此鐵業ノ問題ノミナラズ、地租ノ問題ニ於テモ、委員ノ問題ニ於テモ、地租ハ今八千萬圓アッタ所ガ、十年經テバ四千萬圓ニナルシ、二十年經テバ二千萬圓ニナルト云フヤウニ少クナッテ、第三稅トシテハ別デゴザイマスガ、サウ云フモノガ餘計アルト云フテ、出スト云フヤウニナレバ、是ハ頭ガ惡イカラ分ラヌノデア、皆諸君ハ知ラナイノデア、貴族院ノ連中モ知ラヌラシイ、是ニ於テ誤リガ無イカト云フコトハ、私ハ少シ知ッテ居ルト云フ人ニ尋ネテ見テモ分ラヌ、段々減ッテ行クダラウト思ヒマス、ソレハ其他ノ違タ所ニ問合シテモ、社會制度ト云フモノハ其方ニ向ッテ行ッテ、世間ノ傾向ガ其方ニ進ンデ行カヌカラデナカラウカト思フ、故ニ此小サイ點ヲ選舉權ヲ得シガ爲ニ適用シ、黨員ヲ増サンガ爲ニ、其地方の選舉地盤ニナッテ居ルモノヲ利用シテ行クト云フコトハ、間違テ居ル、日本全國ノ代議士ハ、日本全國カラヤレバ宜イ、ソレヲヤラヌカラ地方ニ寄ッテ居ル狀態デア、ソレヲ忘レテ外交ニ堪能ナル、財政ニ堪能ナル、軍事ニ堪能ナル者ヲ以テ、此議會ヲ建造シテ組織の系統アリ、能力アル者ヲ以テ、此衆議院ヲ造リ變ヘタナラバ、尙ホ一層近世的衆議院ガ出來ルト云フコトヲ知ラヌ者ガアルノデゴザイマス、斯ウ云フ古イ「システム」ニ立ッテ居ルカラ、斯ウ云フ衆議院ガ素人ノ寄集リデ色ミナモノガ澤山アルト云フ狀態デア、小サイ多數ガ之ヲ領シテ居ル、五百人トカ、二百人トカ云フ小サイ多數ガ日本ヲ征服シテ、日本八千万ノ大ナル議會デナイト云フ様ナ奇妙ナ現象ヲ來シテ居ルト云フコトハ、土地の現象ニ限ラレテ居ルノデハナイカト思フ、分リマシタカ、故ニ私ハ此問題ハ重大問題デス、見ナサイ、此骨子ハ……

○田淵豐吉君 質問ノ範圍ヲ脱シナイ、是ハ重大ナルモノデ、又實ニ是ダケデナイ、故ニ私ハ諸君ノ此特殊の利益ノ代表ガ正ニ起ラントシ、日本帝國一ツトシテ世界ニ對抗シナク、日本帝國一ツトシテ世界ニ此相通ジテ行ク所ノ狀態ニナラナク、彼ラヌ、鎖國狀態デハイカヌト云フ、此三ツノ狀態ヲ見マシテ、此現在ノ科學ノ中デ、思想ノ狀態ヲ見、經濟の實際ヲ見マシテ、斯ウ云フヤウナ立法、斯ウ云フヤウナ法制ガ果シテ適當ナモノデハナイカト思フ、此「フリトリ」ナ、詰ラヌト云フ時ニハ詰ラヌト思フノデアリマス、地租デモウント減ッテ居ル時ハ、餘リ物ダカラヤレト云フコトハ話ガ違ヒマス、性質ニ於テ變ラナク、其國民ノ量ニ於テ變テ來マスカラ、相當ノモノガ取レルト云フ時ニハ、其處ニ大ナル政治的、思想的、經濟的ノ頭ガ無ケレバ、旨ク行カナイダラウト私ハ虞レルノデゴザイマス、故ニ私ノ言ハ長クテ分ラヌ所モゴザイマセウ、ケレドモ大體分ラウト思ヒマス、大臣ハ誰方デスカ、之ヲ誰ガ出シタイノデゴザイマス、私ハ知リマセウガ、後デ考ヘルカモ知レマセウ、斯ウ云フヤウニ私ガ間違テ居レバ、又後程訂正シマスガ、斯ウ云フ問題ニ付テ大臣ハ如何ナル御考ヲ持ッテ居リマスガ、私ノ問題ガ間違テ居レバ、更ニ取消シマス、併ナガラ私ノ言フタコトニ付テハ、私ハ誤リガ無イト思フノデゴザイマス、私十分審查研究ヲシテ譯デゴザイマス、私十分審ト相共ニ携ヘテ、善イ國政ヲシタイ爲ノ發露ニ過ギナイト云フコトヲ御承知下サツタナラバ、私ノ本懷トスル所デゴザイマス、大臣ガ若シ此問題ニ觸レテ居ナイト云フナラバ——觸レテ居レバ深切ナル御答ヲ煩シタイト思ヒマス、私ノ言フ所ハ必ズ關係ハアルモノト思フノデゴザイマス、失禮致シマス

○國務大臣中橋德五郎君登壇

○國務大臣(中橋德五郎君) 只今田淵君ヨリ御尋ガアリマシテ御答ヲ致シマスガ、田淵君ハ右ノ方ニ能ク御向デゴザイマシタカ

ラ、或ハ私ハ間違ヘテ居ルカモ知レマセヌ
ガ、此租税ノコトハ——多分租税ノ點デア
リマセウ、今日鑛業稅ヲ國ハ、田淵君ノ所
謂地面カヲ掘テ來ル金銀總體ノ物ニ對シ
テ、稅ハ一寸三百萬圓餘ヲ徵收シテ居ル譯
デアリマス、所ガ就中石炭デアリマス、他
ノ鑛物モ同様デアリマスアレドモ、其地方
ニ局限シテ其採掘ヲヤルモノデスカラ、此
處ヘ工夫ガ集リマス、マア一端ヲ申上ダマ
スルガ、其處ヘ學校ノ子供ガ餘計出來ル、
村落ニ於テ學校ヲ拵ヘナケレバナラヌト云
フコトカラ、村ノ負擔ガ増加致スノデス、
サウ云フ譯デアリマスカラ、此稅法ヲ多少
修正シテ貰ヒタイ、サウシテ其町村ニ於テ
稅ノ上ルヤウニシテ貰ヘレバ、學校ノ費用
ナリ何ナリ補足スルコトガ出來ル、地方稅
ハ餘リ取ラシテ居リマセヌカラ、鑛業法ノ
爲ニ——常ニ此問題ハ政友會ガト云フ話ガ
アリマスガ、其邊モ十分私ガ聽取レマセヌ
デシタガ、政友會バカリデハナイ、民政黨
ノ黨員諸君ノオキデニナル所モ全國同ジヤ
ウニアル譯デアリマス、ソコデ今回半分ダ
ケ百萬圓餘リ、二百万圓近イモノヲ地方ニ
取ラスヤウニスル、斯ウ云フデケノ簡單ナ
事柄デアルノデアリマス、ソレデ大抵御答
ニハナタラウト思ヒマス

○田淵豐吉君 一寸質問ガアリマス
○副議長(清瀨一郎君) 簡單ナラバ許シマ
ス

○田淵豐吉君 私が大臣ニ聞イタノハ、唯
單ニ此稅ノミニ定限スベキモノデゴザイマ
セヌ、其精神ニ於テハ地租營業稅ノ委讓ニ
關聯ヲ以テ拵ヘタモノト私ハ思フガ、獨立
シテ拵ヘタモノデアルカナイカト云フコト
ヲ聞キタイ、ソレカラ第二ニハ、此鑛業稅
ト云フモノハ後來段々減ルモノデアルカ、
段々増シテ行クモノデアルカ、將來國家ニ
於テ相當ノ財源ト認メナイカト云フコトデ
アリマス、ソレカラ第三ニ聞キタイノハ、
小學校ノ費用ト云フモノヲ、何ガ故ニ全國
的ニ増稅シナイカト云フ點ト、今ノ仰シヤ
ル點ニ付テノ交叉點ヲ私ハ聞キタイ、若シ
小學校ノ費用ガ外ノ財源デ出惡イナラ

○副議長(清瀨一郎君) 中橋商工大臣
〔國務大臣中橋德五郎君登壇〕
○國務大臣(中橋德五郎君) 御答致シマス
ガ、第一ノ地租委讓、營業稅委讓ト關聯シ
タコトデアルカドウカト云フ點デアリマス
ガ、關聯ト御解釋ナサツテモ結構デアリマ
スガ、元々其以前ヨリ此問題ガ起テ居
タデアリマス、鑛業地方ノ村落ガ地方稅ニ
出來ナイデ困ルト云フ所カラ起タノデア
リマスカラ、其點カラ見マスレバ關聯ハシ
テ居リマセヌ、此時機ニ偶然ニモ一緒ニ出
タト云フコトヲ申上ダルコトガ出來ルト思
ヒマス、ソレカラ稅ハ増加スルカドウカ、
無論増加致シマス、是ハ日本ノ鑛山ガ段々
盛ニナリマス、退却ハ致シマセヌ、思ウタ
程ニハ増加ヲ致シマセヌアレドモ、今日既
ニ產額ガ數億ニ上テ居リマス、是ハ段々多
少宛増加ヲ致スノデ、又新ニ鑛物ガ發見サ
レルナラバ、相當ニ増加ヲ致スト考ヘテ居
リマス、ソレカラ小學校ノ經費ニ付キマシ
テハ、今日ハ教員ノ給料ノ半分ハ國庫ニ於
テ七千万圓支出ヲシテ居リマスガ、當分ハ
或ハ是デ止マルカモ知レマセヌガ、又内閣
ガ迭レバ、其方ノ御主張ノ御方ガ爲サルカ
モ知レマセヌガ、差當リノ所ハ七千万圓ダ
ケ出シテ居ル、斯ウ云フノデアリマス、是
カラ先ノ模様ニ依テハ、或ハ之ニ向テ改
正ガ出來ルカモ知レマセヌ

○田淵豐吉君 一言ダケ一寸申上ダマス、
私及政友會諸君及今ノ議員諸君、國民ハ、
段々ト思ウテ居ル、小學校ノ費用ト云フモ
ノガ町ニ於テハ二、三割乃至七、八割マデ
掛テ居ル、所ガソレガ段々四割ニナリ、三
割ニナリ、二割ニナリ、終ニハ段々減ルヤウ
ナ傾向ガアルト思フテ居ルノデスガ、小學校
ノ經費全部ノ負擔ハ市町村ニ於テ段々減
テ行キ、國家ニハ重クナル傾向ヲ持テ居

ル、今ノ御説ニ依ルト國費ト云フモノガ、
ソコニ偶然ニモ發見サレ、或ハ科學的ニ發
見サレテ、而シテ非常ナモノガ出來テ——
ソレガ自由ニ取ルコトハイカヌト云フ人モ
アリマス、又同時ニサウ云フモノハ國ノ稅
ヲ相當ニ掛ケテ宜イト云フ人モアリマス、
故ニ貴方ガ仰シヤルヤウニ其稅ガ段々増ス
傾向ヲ持テ居ルカモ知ラン、然ラバ一方ハ
減ル傾向ヲ持テ居ルモノト、殖エル傾向ヲ
持テ居ルモノトガ、町村ニ於テ寒流ト暖流
ガ關フ、其點ヲ聞キタイ、故ニサウ云フモ
ノヲヤツテシマフト、後デ困ルヤウナコトガ
起リハシナイカ、貴方ハ町村ノ費用ハ増サ
スト云フヤウナ考ヲ持テ居ルノデアルカ
ドウカヲ、關聯シテ聞キタイト思フノデゴ
ザイマス

○田淵豐吉君 議長々々
○副議長(清瀨一郎君) 本案ニ對スル質疑
及答辭ハ三回ヲ以テ限リト致シテ居リマ
ス、本案ニ於テ特ニ從來ノ慣例ヲ破ル必要
ヲ認メマセヌ、日程第十一、右議院ノ審査
ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

○國務大臣(中橋德五郎君) 御答致シマ
ス、此鑛業稅ノ方ハ全體ノ額ガ極メテ少イ
ノデアリマス、只今申上ダマシタ通り三百
何十萬圓、其半額ヲ其關係ノ地方ニ渡サウ
ト云フ結果ニナルノデアリマスカラ、小學
校ノ經費ガ増シタト云フモ、他ノ多數ノ
町村ニハ殆ド關係ハ無イノデアリマス、併
シ小學校ノ經費ハ誰方ガ御考ヘナサツテモ、
人口ガ六千万ニナレバ殖エマス、七千万ニ
ナレバ又殖エマスカラ、次第ニ増サナケレ
バナラス、ソレヲドウシテ行タカト云フコ
トハ、其時ノ當局ニ於テ心配ヲスル、斯ウ
云フコトニ考ヘテ居リマス、今日デハ七千
萬圓出シテ、後ハ當分見テ居ルト云フコト
ニナツテ居リマスガ、或ハ將來之ニ向テ改
正ヲ加ヘルカモ知レマセヌ

○原惣兵衛君 本案ハ議長指名九名ノ委員
ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○田淵豐吉君 議長々々
○副議長(清瀨一郎君) 本案ニ對スル質疑
及答辭ハ三回ヲ以テ限リト致シテ居リマ
ス、本案ニ於テ特ニ從來ノ慣例ヲ破ル必要
ヲ認メマセヌ、日程第十一、右議院ノ審査
ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

○國務大臣(中橋德五郎君) 御答致シマ
ス、此鑛業稅ノ方ハ全體ノ額ガ極メテ少イ
ノデアリマス、只今申上ダマシタ通り三百
何十萬圓、其半額ヲ其關係ノ地方ニ渡サウ
ト云フ結果ニナルノデアリマスカラ、小學
校ノ經費ガ増シタト云フモ、他ノ多數ノ
町村ニハ殆ド關係ハ無イノデアリマス、併
シ小學校ノ經費ハ誰方ガ御考ヘナサツテモ、
人口ガ六千万ニナレバ殖エマス、七千万ニ
ナレバ又殖エマスカラ、次第ニ増サナケレ
バナラス、ソレヲドウシテ行タカト云フコ
トハ、其時ノ當局ニ於テ心配ヲスル、斯ウ
云フコトニ考ヘテ居リマス、今日デハ七千
萬圓出シテ、後ハ當分見テ居ルト云フコト
ニナツテ居リマスガ、或ハ將來之ニ向テ改
正ヲ加ヘルカモ知レマセヌ

○副議長(清瀨一郎君) 原君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(清瀨一郎君) 御異議ナシト認メ
マス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程
第十二、競馬法中改正法律案ノ第一讀會ヲ
開キマス——山本農林大臣
第十二 競馬法中改正法律案(政府提
出)
競馬法中改正法律案
第二條第二項中「四日」ヲ「六日」ニ改ム
第八條第一項中「百分ノ一」ヲ「百分ノ三
ニ改ム
附則第二項中「十一」ヲ「十六」ニ改ム
附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
〔國務大臣山本梯二郎君登壇〕
○國務大臣(山本梯二郎君) 競馬法中改正
法律案提案ノ理由ヲ説明致シマス、競馬法
ハ實施サレマシテ以來茲ニ五年ニナリマス
ガ、競馬ハ極メテ順調ニ施行セラレテ、馬
產ノ振興ニ寄與スル所頗ル大ナルモノガア
ルコトハ、御同慶ニ存スル次第デアリマス、
然レドモ尙ホ出走馬ノ現勢ニ鑑ミ、馬政ノ
大本ニ照シマシテ、多少改正ノ要ガアリマ
ス、故ニ茲ニ本案ヲ提出致シマシタ次第デ
アリマス、改正ノ要點ハ三點デアリマス、
開催期間ノ延長、法人數ノ増加及政府納付
金率ノ増加デアリマス、而シテ開催期間ノ延
長並ニ法人數ノ増加ハ、出走馬ノ現勢ニ鑑
ミ、馬政計畫遂行實現ノ爲メ、競馬鍛練ノ
要アル馬數ニ基キ、競馬設備ノ充實ヲ期ス
ル爲デアリマス、又政府納付金率ノ増加ハ、
立馬投票券發賣ノ現況ニ微シマシテ、競馬
俱樂部負擔力ノ實狀ニ鑑ミテ、相當引上
グノ餘地アルモノト認メタガ爲デアリマ
ス、之ニ依リマシテ馬ニ關スル施設ノ經費
ニ充當シ、以テ馬政上ノ要求ニ合致セント
スルノデアリマス、ドウゾ慎重御審議ノ上
御協賛アラントヲ希望致シマス
○副議長(清瀨一郎君) 日程第十三、右議

案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○原惣兵衛君 本案ハ議長指名特二十八名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス
○副議長(清瀬一郎君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十四、蠶絲業法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——山本農林大臣

第十四 蠶絲業法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

蠶絲業法中改正法律案 第九條第二項ヲ削ル

第十條 蠶種製造者原蠶種ヲ製造セントスルトキハ一蛾別ニ産卵セシムベシ
第十一條 蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶種ノ製造ニ用フル繭ノ検査ヲ受クベシ
蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ母蛾ニ付蠶種ノ検査ヲ受クベシ
前項ノ検査ハ普通蠶種ニ在リテハ掃立口毎ノ歩合検査トス
蠶種製造者ハ歩合検査ニ合格セザル普通蠶種ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ再検査ヲ受クルコトヲ得

第十一條ノ二 同業組合、同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ前條ノ検査ニ代ヘ組合員、所屬組合ノ組合員又ハ自己ノ製造スル蠶種ニ關シ検査ヲ行フコトヲ得

前項ノ検査ニ關スル、方法ハ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ
第十二條中「前條」ヲ「第十一條」ニ改メ「原蠶種製造所」ヲ削ル
第十三條中「第二項」ヲ削リ「第三項」ヲ「第四項」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ
第十一條ノ二ノ規定ニ依リ蠶種ニ關ス

ル検査ヲ行フ者ハ其ノ検査ニ合格シタル蠶種ニハ證明ヲ押捺シ其ノ検査ニ合格セザル蠶種ハ之ヲ燒棄スベシ
第十九條中「桑田ノ仕立」ノ下ニ「繭ノ乾燥」ヲ「蠶絲類ノ検査」ノ下ニ「若ハ賣買」ヲ加フ
第二十七條第一項ヲ削リ同條第二項中「第三項」ヲ「第四項」ニ改メ
第三十五條第一項中「桑ノ病蟲害ノ豫防」ノ下ニ「繭ノ乾燥」ヲ「蠶絲類ノ検査」ノ下ニ「若ハ賣買」ヲ「飼育場」ノ下ニ「検査場、乾燥場」ヲ加ヘ「生繭」ヲ「繭」ニ改メ同條第二項中「地方長官」ノ上ニ「主務大臣又ハ」ヲ加ヘ「犯罪嫌疑者」ヲ「被疑者」ニ改メ

第三十五條ノ二 行政官廳ハ同業組合、同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ガ第十條ノ二ノ規定ニ依リ行フ検査ニ關シ検査ノ補正ヲ爲サシム合格ノ決定ヲ取消シ證明ノ抹消ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得
第三十六條中「當該官吏員」ノ下ニ「又ハ同業組合若ハ同業組合聯合會ノ検査員」ヲ「第十一條」ノ下ニ「第十一條ノ二」ヲ加フ
第三十七條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
一 第十一條ノ二第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル方法ニ違反シテ検査ヲ行ヒタル者
二 第十三條第二項ノ規定ニ違反シテ蠶種ヲ燒棄セザル者

第三十八條第一號中「第十一條」ノ下ニ「第十一條ノ二」ヲ加フ
第四十一條第一項中「第三十八條」ノ上ニ「第三十七條ノ二」ヲ加フ
第四十八條中「沖繩縣、小笠原島、伊豆七島其ノ他」ヲ削リ同條ニ左ノ一項ヲ加フ
本法ヲ施行セザル地域ガ本法ヲ施行スル地域ト爲リタル際ニ於ケル必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
〔國務大臣山本悌二郎君登壇〕
○國務大臣(山本悌二郎君) 蠶絲業法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ說明致シマス、現行ノ蠶絲業法ハ明治四十四年ノ制定ニ係リマシテ、大正六年ニ一部ノ改正ヲ行ヒマシテ今日ニ及ンダモノデアリマス、爾來本邦ノ蠶絲業ハ各方面ニ於テ長足ノ進歩ヲ遂ゲ、就中蠶品種ノ改良並ニ微粒子病毒ノ減退ニ付キマシテハ、顯著ナル成績ヲ示シテ居リマスシ、又蠶種製造業者、當事者ノ知識經驗ノ向上ト相俟テ其技術及經營ノ方法ガ著シク變テ參タノデアリマス、其結果ト致シマシテ、現行ノ蠶絲業法中斯業ノ現狀ニ適セザルモノガ多ク生ジテ參ッタデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、數年前ヨリ蠶絲業者及其團體ヨリ、屢、改正ノ建議ガアッタノデアリマスルガ、政府ニ於キマシテモ亦法律改正ノ必要ヲ認メマシテ、慎重ニ調査研究中デアリマスルガ、其中取敢ヘズ蠶種ノ製造方法、蠶種検査制度、蠶種業者ノ取締、此事項ニ關シテ成案ヲ得マシタカラ、蠶絲委員會ノ審議ヲ經テ、茲ニ本改正法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、御審議ノ上御協賛アランコトヲ望ミマス(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 本案ニ關シテハ質疑ノ通告ガアリマス、通告順ニ依リテ質疑ヲ許シマス——加藤知正君
〔加藤知正君登壇〕
○加藤知正君 只今御提案ニナリマシタ蠶絲業法中改正法律案ニ付キマシテ、私ハ數項ノ質問ヲ致シタト考ヘテ居リマス、只今大臣ノ御説明ニナリマシタ如ク、本法ハ去明明治四十四年ニ制定セラレマシテ、爾來星霜ヲ閱スルコト茲ニ十有八年ニ及ンデ居リマス、其制定當時ニ於テスラモ、此法律ハ幾多ノ非難ヲ受ケテ居タ法律デアリマス、然ルニ大正六年ニ於テ唯、一回改正セラレタノデアリマシテ、其後ハ何等ノ改正ヲ見ナイ、之ガ爲ニ蠶絲業者ハ此法律ノ改

正ヲ要望致シテ已マザル次第デアッタノデゴザイマスルガ、此度政府ガ此改正法律案ヲ御出シナリマシタノデ、非常ニ大ナル期待ヲ以テ之ヲ喜ンデ居ル次第デアリマス、然ルニ御提案ニナリマシタ所ヲ拜見致シマスルト、僅ニ其一部分デアル、即チ蠶種製造業ニ關係ノアル條項ノミデゴザイマシテ、蠶絲業者ガ最も要望致シテ居リマスル同業組合等ニ關係ノ條項ハ、更ニ觸レテ居ナイ、是ハ洵ニ遺憾トスル所デアリマスルガ、是ニ於テ私ノ御同申上ダタイノハ、此度ハ此蠶種製造業ノ條項ノミニ止メテ御置ニナッテ居リマスルケレドモ、近キ將來ニ於テ此蠶絲業法ヲ徹底的ニ改正ヲシテ、蠶絲業者ノ期待ニ副フヤウニ御改正ナサル所ノ御考ハナイカ、特ニ私ガ茲ニ徹底的ノ改正ト云フコトハ外デアリマセヌ、彼ノ伊佛ニ於ケル所ノ蠶絲業ニ關係ノ法規ノ如ク、我國ニ於キマシテモ繭、蠶種、生絲等ニ關スル所ノ弊害矯正、或ハ検査ト云フヤウナ消極的ノ法制ト、養蠶組合法ノ如キ繭質絲質ノ改良増殖ノ如キ、所謂積極的ノ法制トヲ全然之ヲ區別シテ、サウシテ時代ノ進運ニ伴フヤウニナサル所ノ御考ハ政府當局ニ御持チデアアルカドウカ、之ヲ私ハ御同申上ダタイノデアリマス、第二ニ伺ヒタイノハ蠶絲業法中ノ第十一條ノ二項ノ改正ニ關シテデアリマス、是迄蠶種検査ハ強制的検査デアリマシテ、團體若クハ個人ノ自由検査ト云フモノハ許サナカッタノデアル、然ルニ今度ハ只今大臣ノ御説明ノ如ク之ヲ解放致シマシテ、サウシテ團體又ハ個人ノ自由検査ヲ御許シニナルコトニナッテ居ル、併シ退イテ考ヘテ見マス

ト云フト、蠶絲業ガ我が國家經濟上ニ非常ナ貢獻ヲ致シテ居ルト云フコトハ、私ガ今更申ス必要ハナイ、其蠶絲業ニ對シテ、國家トシテ養蠶業者ニ對シテ特殊ノ保護ト云フヤウナ事ハ、別ニ致シテハ居ラナイ、ガ併シナガラ唯、一ツ茲ニ特殊ノ保護トモ認ムベキモノガアル、ソレハ何デアアルカト申シマスレバ、即チ蠶種ノ強制検査デアアル、國費又ハ府縣費ヲ莫大ニ投ジテ、サウシテ蠶種

製造家ノ製造スル所ノ蠶種ハ、其普通蠶種タルト原蠶種タルトヲ問ハズ、悉ク之ヲ強制検査ヲ致シテ、所謂健全無毒ノ蠶種ト致シテ之ヲ二百餘方ノ養蠶家ニ安心シテ飼育セシメテ居ルノデアリマス、之ガ即チ國家ト致シマシテハ養蠶業者ニ對スル所ノ特別ナル保護ト申サナケレバナラヌデアリマス、故ニ養蠶業者ガ此點ニ關シマシテハ此點ニ對シ深ク感謝ヲ致シ、深ク満足ヲ致シテ居ルデアリマス、然ルニ此度ハ之ヲ御改正ナサレテ、其強制検査ノ一部ヲ解放シテ、以テ團體又ハ個人ニ自由検査ヲ御許シニナルト云フコトハ、如何ニモ時代ノ進運ニ伴フヤウデアリマスルケレドモ、併シ養蠶業者ノ立場カラ申シマス、只今申上ゲタヤウナ次第デアリマシテ、決シテ是ハ喜バナイデアリマス、デアリマスカラハ是非現行蠶絲業法ノ如クニシテ置イテ戴キタイト云フノデゴザイマスルガ、兎ニ角之ニ付キマシテ私ハ二三ノ疑問ヲ茲ニ起サマルヲ得ヌデアリマスカラ、此點ニ付テ御伺ヲシテ見タイト思フデアリマス、即チ其一ツハ、個人又ハ團體ノ自由検査ヲ御認ニナツテ、サウシテ検査ヲ自由ニセシムルト云フコトニ相成リマスル、其検査費用ナルモノハドウナサル御考デアルカ、現行法ノ如ク——假令個人若クハ團體ガヤツモ、嚴重ニ監督官廳ガ之ヲ監督致シマシテ之ヲヤラセルト云フ以上ハ、矢張其費用ハ國費或ハ府縣費ヲ以テ支辨ナサル御考デアルカ、或ハ又其個人又ハ團體ガ之ヲ負擔スルノデアルカ、若シ個人又ハ團體ガ之ヲ支出シナケレバナラヌト云フコトニ相成リマスルト、其自由検査ノ蠶種ナルモノハ自然其費用ヲ養蠶家ニ轉嫁セラレルトコトニ相成ルデアリマス、サウナルト強制検査ノ下ニ検査ヲ受ケタ蠶種ハ、別ニ其費用ヲ、養蠶家ガ負擔セズシテ済ミマスルケレドモ、自由検査ノ下ニ個人又ハ團體ノ検査ヲ致シマシタル蠶種ハ、其費用ヲ自然養蠶家ガ負擔シナケレバナラヌコトニ相成リマスル、サウナリマスト自然茲ニ法ノ不公平ト云フコトヲ免レヌコトニ相成リハシマスマイカ、苟モ

法トシテ之ヲ營業者ニ遵奉セシムル以上ハ、成ベク之ヲ公平ニシナケレバナラヌデアリマスガ、此自由検査ヲ御許シニナル結果ハ、只今申上ゲルヤウナコトニ相成リハセヌカト云フ心配ガ茲ニ在ルノデアリマス、此點ニ於キマシテ私ハ當局ノ御考ヲ一ツ御伺申上ゲタイノデアリマス、ソレカラ第二ト致シマシテハ、此自由検査ニ爲サルト云フ以上ハ、定メシ其資格ト云フコトヲヤカマシク言ハナケレバナラヌコトニ相成ルデアラウト思フ、無論本法ガ通過シマスレバ省令デ其資格ト云フコトヲ限定セラレルニ相違ナカラウト考ヘル次第デアリマス、所ガ吾々ノ承ル所ニ依リマス、此資格ハ十萬蛾以上ノ製造者ニ之ヲ許シ、十萬蛾以下ノ製造家ニハ之ヲ許サナイト云フ御方針デアルヤウニ承テ居ル、勿論現在此蠶種製造業ニ從事致シテ居ル者ハ、現在ノ儘デ其業ニ從事スルコトガ出來ルガ、併ナガラ若シ其人ガ死シタトスレバ其子孫ニハ之ヲ許サナイ、斯ウニ云フヤウナ腹案ヲ農林當局ハ持テオキデニナルヤウニ承テ居リマス、是ハ果シテ事實デアルカドウカ、是ニ於テ吾々ノ疑問ガ生ズルデアル、十萬蛾以上ノモノニハ何故ニ其資格ヲ與ヘ、十萬蛾以下ノモノニハ何故ニ其資格ヲ與ヘルトコトガ出來ナイノデアルカ、大量生産ナルガ故ニ必ズシモ其蠶種ハ優良デアルトハ云ハレナイ、少量生産デアツテモ必ズシモ其蠶種ハ不良デアルトハ云ハレナイ、要ハ唯其蠶種製造家ノ資力ト、其知識ト技術ト如何ニ依リマシテ、蠶種其モノノ良、不良ガ相分レルノデアリマスカラ、量ヲ以テ其資格ヲ限定致スト云フコトハ如何ナモノデゴザイマセウカ、而シテ其人一代ハ宜シイガ、子孫ニハ許サナイ、サウナリマス、自然子孫ハ其業ニ離レナケレバナラヌコトニナル、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌ問題デアルト思フ、現ニ我國ニ於ケル蠶絲業ノ先進國デアルト云ハレテ居ル、長野縣ノ調査デアルト云フモノヲ聞イテ見マス、長野縣デハ現在ニ於テ千八百名カラノ蠶種製造者ガアル、然ルニ今此十萬蛾

以上ノモノニ之ヲ許サガ、十萬蛾以下ノモノニハ之ヲ許サヌト云フヤウニ相成リマス、千四百名ノ者ガ失業狀態ニ陥ルヤウナコトニ相成ルト云フコトデアリマス、勿論ハ其人ガ一度ニ同時ニ死ヌト云フヤウナモノデアリマセヌカラシテ、憂フベキコトデハナイカモ知レマセヌガ、兎ニ角數ノ上カラ申シマス、只今ノ如ク千八百名ノ蠶種製造業者ガ、千四百名カラ其業ヲ失ハナケレバナラヌト云フコトニ相成ルノデアアル、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌ問題デハゴザイマスマイカ、サナキダニ蠶種製造業者ト云フモノハ、何故カ段々減少スル一方デアルノデアリマス、如何ナル所ノ原因ガアルカ知リマセヌガ、一寸茲ニ調査ヲ致シタモノガゴザイマス、之ヲ見マスルト——詳シイ數字モアリマスルケレドモ省キマシテ、大正七年ニ全國ニ於テ蠶種製造業ヲ致シテ居ル者ガ、一萬七千九百八十人アツタノデアリマスガ、ソレガ段々減ジマシテ、大正十五年ニハ七千四百七十六人ト相成テ居ルノデゴザイマス、年々二百人以上ノ百人カラ減少ヲ致シテ居ルヤウナ狀態デアルノデアリマス、此蠶放任シテ置イテスラモ此通り段々減少シテ行ク狀態デアル、然ルニ今度十萬蛾以上ト云フヤウナ制限ヲ加ヘマス、尙ホ一層著シク是ガ減少スルコトニナルノデアリマスルガ、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌ問題デアリマス、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌ問題デアリマス、若シ農林當局ニ於テ斯ル腹案ヲ御持チデアルト云フヤウナコトデアリマスルナラバ、私ハ特ニ此點ハ御考慮ヲ御願致シタイガ、兎ニ角此點ニ付キマシテ政府當局ハ如何ナル御考ヲ持テ居ラル、カト云フコトヲ、御伺シテ置キタイノデゴザイマス、尙ホ此點ニ付キマシテ今一ツ御伺シタイト思フノハ、團體又ハ個人ノ自由検査ヲ御許シニナル結果ハ、背ニ腹ハ代ヘラレヌト云フヤウナ場合ニ於テ、其蠶種製造家ガ動モスレバ不良蠶種ヲ販賣スルヤウナコトニナラヌ虞ガアルノデアリマス、現行蠶絲業法ノ嚴重ナル監督ノ下ニ検査ヲ受ケテ、之ヲ販賣セナケレバナラヌ今日デスラモ、往々ニ

シテ不正ノ手段ガ行ハレルノデアアル、況ヤ是ガ自由検査ト云フコトニ相成リマシタナラバ、不良蠶種ガ動モスルト販賣サレ、其蠶種ヲ飼育致シタ養蠶家ハ、非常ナ迷惑ヲ致シ又一面ニハ、病毒傳播ノ虞ガアルノデアリマスカラ、此點ハ大ニ考ヘナケレバナラヌコト、思フ次第デゴザイマスルガ、之ヲ政府ハ如何様ニ御考デアルカ、之ヲ御伺申上ゲテ置キタイノデアリマス、其次ハ養蠶組合法ニ付テ御伺申上ゲタイト思ヒマス、御案内ノ如ク養蠶業者ノ改善發達ヲ圖リマスルニハ、是非養蠶業者ノ共同動作ニ俟タナケレバナラヌコトハ、是亦言フ迄デモナイ話デアリマス此故ニ、養蠶組合ハ近時非常ナル所ノ長足ノ進歩ヲ致シマシテ、現ニ只今ニ於キマシテハ、全國ニ於テ二萬有餘ノ養蠶組合ガ組織セラレテ居ルヤウナ次第デアリマス、而シテ我ガ蠶絲業ガ今日斯ノ如ク長足ノ進歩ヲ致シタト云フコトハ、此養蠶組合ノ力ガ與テ大ナリト云フコトハ、爭ハレヌ事實デアルケレドモ、現在ノ養蠶組合ノ大部分ハ、法ノ準據スベキモノガゴザイマセヌ、法ニ準據スベキモノガゴザイマセヌカラ、動モスレバ堅實性ヲ缺キ、其發達上遺憾ノ點ガ多イ、現ニ昨年農林省ニ於テ五千萬圓ノ低利資金ヲ養蠶家ニ融通セラレ、是ガ爲ニ我ガ養蠶業者ハ非常ニ助カッタノデアアル、ケレドモ、養蠶組合ガ二萬有餘モアリナガラ、其低利資金ヲ旨ク利用スルコトガ出來ナイ、養蠶組合ノ手ヲ離レテ、此資金ノ融通ヲ受ケタト云フヤウナコトニ相成タノデ、非常ニ遺憾ニ思フタ者ガ尠クナカッタノデゴザイマス、斯ウ云フヤウナ次第デゴザイマスルカラ、本員ハ去ル大正十四年以來、通常議會ノ度毎ニ此養蠶組合法制定ニ關スル建議案ヲ出シマシテ、一日モ速ニ此養蠶組合法ノ制定セラレヌコトヲ希望シタノデアリマスガ、幸ニ滿場ノ御賛成ヲ得マシテ何時モ議會デハ通過致シテ居ルノデアリマスガ實ニ此養蠶組合法ノ制定ハ、今ヤ全國二百餘方ノ養蠶業者ハ大旱ノ雲霓ヲ望ムガ如ク速ニ制定セラレヌコトヲ熱望シテ居ルヤウナ次第デア

リマス、然ルニ未ダニ其制定ヲ見ルコトガ出来ナイノハ、果シテ何等ノ理由ニ依ルノデゴザイマセウカ、此點ニ付キマシテハ山本農林大臣、東政務次官、砂田參事官ノ方方ハ私ガ此建議案ヲ出シマスル際ニ於テハ御承認ヲ下サレ、或ハ御賛成ヲ下サレマシテ、御署名マデ戴イテ居ル次第デゴザイマスルカラ、無論本法ノ一日モ速ニ制定セラレンコトヲ御希望ニナシテ居ルモノト私ハ信ジテ居リマス、故ニ今此場合ニ此方ニ御説明ヲ伺ハナクモ宜シイカラ、私ハ特ニ茲ニ御出席ニナシテ居リマスル石黒蠶絲局長ニ御伺ヲ申上ゲタイノデアル、併シ此場合外ノコトヲ御伺申上ゲル必要ハゴザイマセウカ、今日ノ養蠶業者ハ只今申上ゲマスルヤウニ非常ニ之ヲ希望シテ居リ、殆ド養蠶界ノ輿論ト謂フモ宜イノデアリ、又院議ハ既ニ確定致シテ居ルノデアルカラ、局長ニハ何處迄モ此院議ヲ尊重シ、輿論ヲ尊重サルカ爲メザラナイカト云フコトヲ、唯一言私ハ此處デ御伺申上ゲレバ宜シイノデゴザイマス、其次ニ御伺申上ゲタイノハ、蠶絲維持ニ關スル所ノ質問デアリマス、御案内ノ如ク蠶相場ハ會テハ十二、三圓モ致シタノガ、現今ニ於テハ四、五圓乃至七八圓ト云フヤウナ狀態デアリマスガ、兎ニ角蠶價ガ暴落致シマシテ、其生産費ヲ償フコトガ出来ナイト云フヤウナコトデ、米ノ安イノニ關ガ安イ、是ガ爲ニ農村ハ一層荒廢ニ次グニ荒廢ヲ以テシ、農家ノ困憊ハ殆ド其極ニ達シテ居ルコトハ、今更謂フアデモナシ話デゴザイマスルガ、此蠶相場ヲ安定セシムルニ付キマシテハ色々方法モアリデゴザイマセウカ、取敢ヘズ私ハ此蠶價維持ノ爲ニ米穀法ニ準ジテ、蠶繭法ナルモノヲ設ケテ戴キタイト思フデアリマス、是ハ單リ私ノ希望ノミデハナイ、養蠶家一般ノ希望デアルガ、政府ハ果シテ此蠶繭法ナルモノヲ設定ナサル所ノ御考ガアルカドウカ、此點ヲ私ハ御伺申上ゲタイノデアリマス、今一ツ此蠶ノ價值檢定機關ナルモノヲ御設置ナサル所ノ御考ガナイカドウカ、現ニ埼玉縣其他數縣ニ於テハ此機關ヲ設ケマ

シテ、此蠶價ノ安定ニ資スル處方クナイヤウニ聞イテ居リマスガ、此點ニ付キマシテ政府當局ノ御考ヲ私ハ伺ヒタイノデアリマス、更ニ今一ツハ、養蠶業ノ延長トモ認ムベキ組合製絲其モノヲ極力御奨励ナサル御考ハナイカドウカ、之ヲ御伺申シタイ、ソレカラ其次ニ於キマシテハ、乾繭販賣ト云フコトニ付テ御尋申シタイノデアリマス、政府ハ此養蠶業ノ現狀ニ鑑ミマシテ、去ル大正十四年ニ農村振興ノ一部ト致シマシテ、六十万圓カラノ國費ヲ投ジテ、乾繭倉庫或ハ乾繭裝置ノ助成ヲセラレテ居ル次第デゴザイマス、其爲ニ今ヤ一府十一縣ニ於キマシテ二十八箇所ノ倉庫ノ設立ヲ見ルヤウナコトニナシテ居リマスガ、併ナガラ其倉庫ノ收容力ハ僅ニ十六万石ニ過ギナイノデアリマス、之ヲ全國ノ產額額ノ上カラ見マスト云フト、僅ニ一分八厘ニサハ當ラナイノデアリマス、乾繭賣買ト云フコトハ目下ノ急務デアリマスケレドモ、併ナガラ只今ノ狀態カラ申シマスト、如何ニモ日暮レテ道遠シト云フ憾ミガアルノデアリマス、是ニ於テカ何等カノ方法ヲ講ジテ、政府ハ極力之ヲ獎勵シテ、切メテハ全國產額額ノ過半數ニマデ乾繭賣買ノ出來ルヤウニナサル御考ハナイカ、是ガ一ツ、今一ツハ蠶ノ清算定期取引所ヲ御設ケナサル所ノ御考ハナイカ、乾繭賣買ヲ獎勵スルハ宜シウゴザイマスルケレドモ、是等ノ機關ヲ設クルニアラザレバ、速ニ其普及徹底ヲ期スルコトガ出來ナイト思フノデアリマスルガ、此點ニ於ケル所ノ政府ノ御考ハ如何デゴザイマセウカ、之ヲ御伺申上ゲタイノデアリマス、更ニ今一ツ御伺申シタイノハ、繭倉庫ノ建築費並ニ其運用資金デアリマス、之ニ付キマシテ特ニ低利資金――長期年賦償還ノ方法ニ依リマシテ特別資金ヲ御融通ナサル所ノ御考ハナイカ、乾繭賣買ノ普及ト云フ點ニ付テハ此三ツヲ御伺申シタイノデアリマス、更ニ第六ニ於キマシテハ、蠶業試驗場ノ統一ニ付テ御伺申シタイノデアリマス、只今蠶業試驗場ハ中央ニ國立蠶業試驗場ガアリ、地方ニ府縣立ノ蠶業試驗場ガアリマシテ、其數

ハ本場支場ヲ合セマシテ七十餘ニ及ンデ居リマス、併ナガラ是等ノ蠶業試驗場ハ何等聯絡モナクバラバラ統一モゴザイマセウカ、故ニ得テ手勝手ニ試驗ヲ爲シ、研究ヲ爲シ、調査ヲ爲シテ居ルモノ云フヤウナ次第デアリマスカラシテ、中ニハ重複シテ試驗ヲ致シテ居ルモノガアリ、或ハ無駄ノ調査ヲ致シテ居ルト云フヤウナコトデゴザイマシテ、實ニ是ハ國家ト云フ上カラ見マスト云フト、是程不都合ナコトハナイト思フノデゴザイマスルガ故ニ、中央ノ蠶業試驗場ト地方ノ蠶業試驗場ト、何等カノ方法ヲ以テ聯絡統一スルト云フコトハ、今日ノ急務ノヤウニ考ヘラレマスガ、此點ニ付キマシテ政府當局ノ御考ハ如何デアリマセウカ、以上數項ニ付キマシテ私ハ御説明ヲ得タイト思フ次第デゴザイマス（拍手）

（國務大臣山本錦一郎君登壇）
○國務大臣（山本錦一郎君） 只今ノ如藤君カラノ御尋ニ御答ヲ致シマス、第一ニ蠶絲業法ノ改正ハモット徹底底ノニヤル考ハナイカト云フ御尋デアリマスガ、加藤君ノ例證ニ舉ゲラレタガ如キ問題ニ付テハ、當局ハ折角研究致シテ居ル次第デアリマス、今回ノ改正案ハ、各種改正ヲスベキ問題ノ中ニ付テ成案ヲ得マシタ點クテ採擷マシテ、改正法律案トシテ之ヲ提出致シマシテモ成リマス、追々其他ノ問題ニ付キマシテモ成案ヲ得マシタラバ、之ヲ改正スルコトニ致シタイト云フ考ヲ持テ居リマス、次ニハ蠶種ノ自由檢査ヲ許スコトニシタノハ宜クナイデヤナイカ、在來ノヤウニ矢張強制的ニ檢査ヲシタガ宜クナイデヤナイカト云フ御尋デアリマスガ、蠶種業者ノ進歩、發展ニ鑑ミマシテ、其一部ノ檢査ノ解放ヲ致スコトヲ當局ハ時代ニ適應シタルモノト認メタ次第デアリマス、又營業資格ニ付キマシテハ、十萬蠶以上ニ制限スルト云フコトハ宜クナイデヤナイカト云フ御意見モアリマシタガ、是ハ此法律ヲ以テ規定スルモノデハナイノデアリマシテ、ドウセ施行細則ニ讓ル問題デアリマスガ、當局ノ考ト致シマシテハ、今日ノ蠶種業者ノ技術、經營ノ

進步ノ上カラ考察ヲ致シマシテ、先ヅ十萬蠶以上位ノ所ニ限定スルノガ宜クハナイカト云フヤウナ考ハ持テ居リマス、ケレドモ、未ダ決定ハ致シテ居リマセウカ、此法律ガ通過致シマシタラバ、施行細則ヲ出ス時ニ更ニ考慮致シタイト考ヘテ居リマス、次ニハ養蠶組合ヲモウシテ法制的ニ改良シテ、其經濟的活動ヲ許スヤウニシテハドウカト云フヤウナ意味ノ御質問ダシテ憶致シマスガ、是ハ當局ニ於テモ色々研究致シテ居リマスル、蠶業組合法ノ一部ヲ改正スルトカ、或ハ同業組合法ニ依ラシムルトカ、若クハ特ニ蠶業組合法ト云フヤウナモノヲ制定スルコト云フ、ソレ等ノ可否ニ付テハ、篤ト考究致シテ居ル次第デアリマスカラ、何等カソレニ付テ成案ヲ得マシタラバ、更ニ御審議ヲ願フ運ビニナルカモ知レマセウカ、次ハ蠶價維持ノ爲ニ米穀法ニ類似シタ法制ヲ設ケタラドウカト云フ御尋デアリマスガ、米穀法ト違ヒマシテ、蠶ニ付キマシテハ、斯様ナ法制ヲ作ルニハ非常ナ困難ガ多々横ツテ居ルノデアリマス、其事情ハ加藤君モ篤ト御承知ノコト、存ジマスガ、併ナガラ此蠶價ノ維持ハ極メテ必要ナ、極メテ大切ナ事柄ト考ヘテ居リマスカラ、之ニ付テハ何等カ方法ヲ得タイト今頻ニ研究最中デアリマス、ソレカラ組合製絲ヲモット獎勵スル意思ハナイカ、只今マデノ成績ニ依リマスレバ、組合製絲ノ成績ハ極メテ宜イノデアリマスガ、是ハ絶エズ獎勵致シテ居ルノデアリマスガ、將來ト雖モ此方面ニハ大ニ力ヲ用ヒタイト思フテ居リマス、又次ニハ乾繭販賣ヲモット擴張セシメテハドウカト云フ、是ハ御説ノ如ク當局モサウ考ヘテ居リマス、併ナガラ是ハ乾繭倉庫、乾繭裝置ト云フモノガ、先ヅ前提トナラナケレバナラヌヤウナ次第デアリマスノデ、之ニハ御承知ノ如ク政府ノ方ト致シマシテモ、此乾繭倉庫ノ建設、乾繭設備ノ新設ト云フコトニ對シテ與ヘル所ノ補助ノ財源、是ガ中ニ大變ナモノデ、一時ニヤラウト致シマスレバ、非常ナ金額ガ掛リマスルカラ、サウ一時ニヤレナイト云フ財政上ノ事

情モ政府ニハ有シテ居ルノデアリマス、又一面カラ申シマスレバ、ソレハ全部政府ガ建テルノデモナケレバ、拵ヘルノデモナイノデアッテ、民間ガ先ツ倉庫ヲ建設シ、若クハ乾燥設備ヲシタノニ對シテ、政府ガ補助スルト云フノデアリマスカラ、民間地方ノ經濟事情ガソレマデ進ンデ吳レマセヌケレバ、矢張俄ニ此乾燥倉庫、乾燥設備ト云フモノヲ一時ニ擴張スルト云フコトハ非常ニムヅカシイ問題ダト思ヒマス、併ナガラ出來得ル限リ政府モ此方面ニ豫算ヲ取りマシテ、サウシテ地方ヲモ勸誘シテ、乾燥倉庫、乾燥設備ノ益、進歩シテ行キヤウニ致シタイト云フ考ハ持ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ爾ノ取引所ヲ設ケテハドウカト云フ御尋デアリマスガ、是モ行クノハ問題トナリ得ルカモ知レマセヌガ、只今ノ所デハ非常ナ困難ナ狀態ニ在リハセヌカト考ヘマスルノハ、此爾ノ取引所ヲスル市場ト云フモノガ、御案内ノ通り八百八十箇所モ全國ニ在ルト云フ次第デアリマスカラシテ、ソレデ一ツノ大キナ取引所ヲ設ケテ、其處ニ取引ヲ集中シヤウト云フコトハ、何等カ此從來ノ細カイ取引市場ト云フモノ、統一、聯絡、整理ト云フヤウナコトカラ始メテ行カナケレバ、免ニ角モ考究問題トシテハ當ヒマス、免ニ角モ考究問題トシテハ當局ニ於テモ考究致シテ居リマス、今直ニ此取引所ヲ設立スルト云フマデニ考ハ運ンデ居ラナイ次第デアリマス、ソレカラ乾燥倉庫ニ向ッテ資金ヲモツト澤山融通スル方法ハナイカト云フ御尋ガアリマシタガ、是ハ乾燥倉庫ガ澤山ニ出來テ行ク、サウシテ之ニ對スル資金ノ需要ガ益、増大シテ來ルト云フコトデアリマスレバ、之ニ伴ウテ產業組合等ヲ通ジテ資金ヲ融通スルト云フ途ハ追ミニ立テ、行カナケレバナラヌト思ヒテ居リマス、現在有ル分ニ對シテ若シ資金ノ需要ガ必要デアルト云フコトデアレバ、其必要ダケノ分ハ出來ルダケ心配ヲ致シテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ蠶業試驗場ガ全國ニ散在ヲ致シテ統一聯絡ガナイガ、之ヲ中央ノ試驗場ト聯絡ヲ

取ラシテハドウカト云フ御尋デアリマスルガ、此中央ノ蠶絲試驗場ト云フモノト、地方ノ蠶絲試驗場ハ各其使命ノ違フテ居ル點モアリマスルノデ、之ヲ同一ノ性質ノモノニスルト云フコトハ無論出來マセヌケレドモ、此間ニ中央ト地方ノ聯絡ヲ取ラシメルト云フコトノ必要ハ、或ハアルデアラウト思ヒマス、私ハ其點ニ付テ今詳シイ事情ヲ承知致シテ居リマセヌガ、御尋モアルコトデアリマスカラ、是カラ取調ヲ致シテ、サウ云フ必要ガアルト見マスレバ、左様ナコトニ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス(拍手)

(栗原彦三郎君登壇)

○栗原彦三郎君 昨ハ只今日程ニ上テ居リマスル蠶絲業法改正案ニ付テ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、蠶絲製造業者及農民ニ取テ、重大ナル關係ヲ有シテ居リマスル點數ニ付テ、質問ヲ試ミタイト考ヘテ居ラナイデアリマス、蠶絲業ニ付テハ、專門ノ知識ヲ有セラレテ居リマスル所ノ加藤君ガ、該博ナル知識ヲ以テ細カイ點マデ質問ヲ爲サレマシタカラ、私ハ大體ニ於テ唯三點ダケノ質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、其第一點ハ本案ヲ一讀致シマスルト、農林大臣ノ御説明ノヤウニ、單ニ取締事務上ノコトノミノヤウニ見エルトデアリマス、其實際ニ於テ政府ノ目的トスル所ハ、政府ガ蠶絲業法施行規則第二條ノ改正ニ依ッテ、蠶絲製造業者ノ資格ヲ十萬蛾以上、框製三千枚以上ヲ製造スル者ニ限ルト云フノガ眼目デハナイカト私ハ思ハレルトデアリマス、加藤君ハ其結果ガ恐レベキモノデアルトダケ言ハレテ、大切ナ點ニ觸レルコトヲ御忌ニナツタヤウナ工合デアリマス、私ハ百尺竿頭一歩ヲ進メテ、端の二政府ニ質問ヲ致シタイトデアリマス、日本全國ニ於ケル七千二百餘名ノ蠶絲製造業者ノ中、十萬蛾以上、框製三千枚以上ヲ製造致シマスル者ハ、僅ニ二千數百名ニ過ギマセヌデ、其七割ト云フ者ハ、若シ政府ガ蠶絲業法施行規則第二條ヲ改正シテ、十萬蛾以上、框製三千枚以上ヲ製造ス

ルモノデナケレバ許サナイト云フヤウニ相成リマス、七割ノ製造業者ガ失業致スノデアリマス、其結果ガドウナルカト云ヒマスルト、サナキダニ年々減少スル傾向ヲ有シテ居リマスル所ノ蠶絲製造業者ハ益、減ル一方デアッテ、蠶絲ノ製造高ト云フモノガ激減致スノデアリマス、其結果トシテ、農村ニ於ケル蠶種ノ掃立ガ當然制限サレル結果ト相成ルノデアリマス、故ニ、現在ノヤウニ疲弊困憊ノ極ニ達シ、僅ニ養蠶ニ依テ生命ヲ維持シテ居ルト云フヤウナ農村ヲ、愈、益、窮地ニ陥レル結果ト相成ラナイカドウカ、此點ニ付テ政府ノ御意見ヲ承リタイトデアリマス、更ニ第二點ハ、我が日本帝國ハ皆様モ御承知ノ通り、蠶絲工業ヲ獎勵致シマシテ、蠶絲工業ニ依テ國民ノ生活ヲ充實シ、國民ノ生活ヲ安定シ、國民ノ好イ國狀ナノデアリマス、日本國民ハ先天的ニ蠶絲工業ニ付テハ他ノ有ユル民族、有ユル國民ヨリモ秀デタル所ノ能率ヲ有シテ居リマス、此先天的ノ特長ヲ利用致シマシテ、年々増加シテ行キマスル所ノ日本ノ蠶絲ノ生産高、即チ昨年ノ如キハ二百九十餘萬石ノ增收デアリマシテ、九千四百萬貫程ノ收穫ガアツタノデアリマス、桑園ガ改良セラレテ行キマスルノト、天然飼ガ非常ニ上手ニナツテ参リマシテ、非常ナ經費ト手數ガ省カレル結果ト致シマシテ、日本ノ養蠶業ハ是カラ非常ナ發達ヲ致シテ行ク傾向ガアルノデアリマス、恐ラク本年ノ如キハ九千六百萬貫以上、來年アタリニ至リマスルト、一億貫ト云フ生産額ニ達シヤシナイカト思ハレルノデアリマス、此爾ヲ以テ單ニ生絲ヲ拵ヘテ之ヲ外國ニ輸出スルト云フコトバカリニ政府ハ重キヲ置カナイデ、更ニ進ンデ蠶業ヲ獎勵致シマシテ、歐羅巴各國ノ嗜好ト流行トニ伴ヒ得ルダケノ製品ヲ造ッテ、其製品ヲ世界市場ニ賣出スコトニ依ッテ、始メテ惠マレナイ所ノ日本國民ノ生活ガ段々充實シテ行クノデアリマス、然ルニ蠶絲業者及生絲貿易業者ハ單ニ繭ノ價ヲ維持シタイト云フ

考ノミノ爲ニ、生産高ガ年々増加スルコトハ、市價ノ低落スル唯一ノ原因ナリト致シマシテ、成ベク繭ノ生産高ヲ少クシタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、今回ノ政府ノ爲サントスル所ガ、左様ナ動機ニ出デタカ、或ハ別ナ動機デアルカハ私ハ知リマセヌ、併ナガラ萬ガ一ニモ左様ナル動機ニ出デテ十萬蛾以下三千枚以下ヲ製造スル者ヲ許可シナイト云フヤウナコトニシテ参リマシテ、段々掃立ニ制限ヲ加ヘラレルト云フヤウナコトガアリマス、ソレナラバ、日本ノ國民ガ唯一ノ福音ト致シテ居リマスル所ノ此爾ノ增收及蠶絲工業ノ發達ニ依ッテ、國民ノ生活ガ安定セラレテ行カウト云フノニ、之ヲ打毀スル所ノ結果トナツテ、甚ダ忌ムベキ結果ヲ齎シヤシナイカト云フコトガ、私ノ御尋スル第二點デアリマス、更ニ私ノ御尋スル第三點ハ、政府ガ蠶絲業法施行規則第二條ヲ改正致シマシテ、十萬蛾以下、框製三千枚以下ノ製造業者ヲ許可シナイト云フコトハ、實際ニ當リマス、鹿兒島縣、佐賀縣、山口縣、大阪府、福井縣、石川縣、北海道、青森縣等ノ蠶絲製造業者ヲ全滅セシムルモノデアリ、其他日本全國ノ各府縣ノ蠶絲業者ノ半以上ノ營業權ヲ奪フモノデアリマス、斯ノ如キ重大ナル事情ハ、單ニ農林省令ニ依ッテ之ヲ許可サルコト、許可セヌコトト云フヤウナコトヲ爲サズニ、能ク本法ヲ提出スル際ニ當ッテ本法ノ中ニ加ヘテ、上下兩院ヲシテ、審議スベキモノデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、又斯クスルコトガ立憲ノ態度デハナイカト思フノデアリマス、然ルニ政府ガ單ニ農林省令一片ヲ以テ、從來有シテ居ラヌ所ノ、少クモ四千九百人以上ガ有シテ居ラヌ所ノ營業權ヲ奪ハントスルガ如キコトハ、甚ダ不將千萬ノコトデアルト謂ハナケレバナラナイデアリマス、尙ホ此機會ニ於テ、私ハ此演壇ノ上カラ強力ヲ説シテ置カナケレバナラナイト思フコトガアルノデアリマス、ソレハ何デアアルカト申シマスレバ、生絲製造業者及生絲貿易業者ハ、多年政治上ノ裏面ニ培タル所ノ勢力ヲ利用シ——決シテ

ノ内閣、ドノ政黨ト云フヤウナ、サモシイ考ハ持テ居ラナイガ、有ユル政府、有ユル政黨ノ後ニ隠レテ、我儘勝手ノ行ヒヲ爲サントシツ、アルノデアリマス、普選ガ實行セラレテ、民衆ノ勢力ガ、政界ニ於テ重大視セラル、今日ニ於キマシテ、單ニ彼等ノ利益ノミヲ擁護セントスルヤウナ行動ハ、私共斷ジテ許スコトガ出来ナイト思フコトダケヲ、強ク一力説シテ置キタイノデアリマス、私ノ此言ヲ爲スニ當リマシテ、御笑ヒニナル方ガアリマスルケレドモ、有ユル案ノ内容ヲ解明シ、少クトモ此案ノ内容ヲ解明シ、更ニ又製絲業者、生絲貿易業者及商工省ノ一部ニ於テ、蠶絲局、並ニ蠶種ニ關スル所ノ取締監督ノ權限ヲ、商工省ノ中ノ一部ニ移シタイト云フヤウナ運動ノアルコトモ、其主ナル原因ハ、蠶種業者、蠶絲貿易業者ノ目論ム所デアッテ、將來必ズ有ユル忌ハシイ問題ガ起ルト云フコトヲ、私ハ此席ニ於テ斷言スルコトガ出来ルノデアリマス、私ガ質問ヲ致シマシタ三點ニ付テ、十分ナル御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○副議長(清瀬一郎君) 山本農林大臣

(國務大臣山本第一郎君登壇)

○國務大臣(山本第一郎君) 栗原君ノ御尋ニ御答致シマス、蠶種製造業者ノ資格ヲ十萬蛾以上ニ制限スルト云フコトハ、非常ナ惡イ結果ヲ來シハセヌカト云フノガ、第一ノ質問デアッタヤウニ記憶致シマスルガ、ソレハ先刻加藤君ノ御尋ニ對シテモ答ヘマシタ通りニ、是ハ施行細則ニ依ッテ定メル積リデ居リマスルカラシテ、今マダ定テ居ラナイ、斯様ニ申上グルノガ最モ適當ダト思ヒマスル、併シ政府ノ考ハドウカト云ヘバ、十萬蛾以上位ノ所ニ限定スルノガ、今日ノ此蠶種業者ノ進歩ノ程度ニ應ジテハ適當デハナイカト云フ考ハ持ッテ居リマスル、ソレモ併シ今直ニサウ云フ制限ヲ實行シヤウト云フノデハナイノデアッテ、現在ノ營業ヲシテ居ル者ノ其一代ハ宜シイノデアアル、其次ノ代カラ初メテ新ニ認可ヲ要求スル場合ニハ、十萬蛾以上デナケンケレバ許

サスト云フコトニシタイ、マア斯様ナ考ヲ考トシテ持ッテ居ル譯デアリマス、ソレ故ニ今日左様ナ制限ヲ施行規則ノ上ニ設ケマシテモ、俄ニ今迄營業シテ居ル十萬蛾以下ノ營業ヲ直ニ潰滅ニ歸セシムルト云フ如キコトハナイノデアリマス、其ノ遠ガ營業ヲシテ居ルノハ、矢張ズッ其ノ人ノ死ヌ迄ノ間ハ營業ヲ繼續スルコトガ出来ルノデアリマシテ、其二代目ニナッテ初メテ問題ニナルノデアリマスカラ、斯様ナ制限ヲ設ケマシタ所ガ、ソレガ爲ニ俄ニ一種ノ社會問題デモ惹起スルガ如キ、左様ナ杞憂ハ斷ジテナイト政府ハ信ジテ居リマス、但シ此件ハ只今申上ダタ通りマダ未定デアリマス、何レ施行規則ヲ制定スル迄ノ間ニハ、尙ホ御意見ノアル所モアリマスカラ、熟考ヲ致シテ見タイト存ジテ居ル次第デアリマス、ソレカラ爾ヲ取ッテ、生絲ヲ造ッテ、ソレヲ唯外國ヘ出スバカリデハイクスデハナイカ、寧ロ機業ヲ獎勵シテ之ヲ織物ニ製造スルト云フコトニ依ッテ、此年々殖工行ク爾ノ生産ヲ過剩ナラシメザル方法ヲ執ル方ガ宜イデハナイカト云フヤウナ御意見ノヤウニ承リマシタガ、是ハ御尤デアリマス、年々歳々繭ノ生産ガ増加シテ行キマスルノデ、生絲モ同ジク増加シテ參リマス、需要先ニ於ケル消費モ増加シテ參ッテハ居リマスルケレドモ、尙ホ國內ニ於テ此生絲、即チ原料トシテ之ヲ外國ヘ出スト云フバカリデナクシテ、國內ニ於テ之ヲ相當ノ製品ニ造リ上ダテ、之ヲ自國ニ於テ消費スルカ、若クハ尙ホ進出デ外國ヘ輸出スルト云フ所マデ進マシメルト云フコトガ、是ガ理想デナクテハナラヌト、私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、其方面ニ付キマシテモ、ドウ云フ風ニ進メテ行ッテ宜シイカト云フコトニ付テ、目下考案ヲ致シテ居ル次第デアリマス、唯、一言申シテ置キマスガ、只今十萬蛾以上ノモノニ蠶種營業者ヲ限定スルト云フコトハ、此増加シテ行ク繭ノ生産ヲ抑ヘルガ爲ニ、左様ナ規則ヲ設ケルノデハナイカト云フヤウナ、御疑ガアッタヤウデアリマスルケレドモ、ソレハモウ全然左様ナ關

係ハナイノデアリマス、ソレダケノコトハ申シテ置キマス、ソレカラ斯様ナ蠶種業者ノ營業資格ヲ定メルガ如キコトハ、法律ニ於テ之ヲ定メタ方ガ宜シイデヤナイカト云フ御説モ、御説トシテ承ッテ置キマス、但シ從來斯ノ如キ場合ニ於テ、之ヲ法律ニ規定シタ場合ガ多イカ、或ハ施行規則ニ於テ之ヲ規定シタ場合ガ多イカト云ヒマスレバ、施行規則ニ於テ定メタ場合ガ多イノデアリマスカラ、私共ハ此途ヲ執ル方ガ寧ロ適當デハナイカト、斯様ニ考ヘテ、法律ノ上ニ之ヲ上セナカッタ次第デアリマス(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 別ニ通告モゴザイマセヌ——日程第十五、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第十五 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○原惣兵衛君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(清瀬一郎君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第十六、借地借家臨時處理法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——原司法大臣

第十六 借地借家臨時處理法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

借地借家臨時處理法中左ノ通改正ス

附則第三項中「大正十八年四月三十日」ヲ「昭和十四年四月三十日」ニ改ム

(國務大臣原嘉道君登壇)

○國務大臣(原嘉道君) 借地借家臨時處理法ハ大正十二年九月ノ大震災災ニ依リマシテ、直接間接ニ影響ヲ被リマシタ東京、横濱兩市ノ借地、借家關係ヲ整理スル爲ニ制定セラレタモノデアリマスルガ、此法律ハ昭和四年四月三十日迄其效力ヲ有スルコトニナッテ居タノデアリマス、所ガ兩市ニ於キマシテ、借地借家ノ關係ハ、未ダ靜狀ニ復セザルモノガアリマスルノデ、其有效期間ヲ昭和十四年四月三十日迄、即チ十年間延長スルノ必要ガアリト認メテ、本案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上協賛ヲ與ヘラレンコトヲ望ミマス(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 日程第十七、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第十七 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○原惣兵衛君 本案ハ日程第七ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(清瀬一郎君) 原君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第十八、大正十四年法律第二十九號中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——中橋商工大臣

第十八 大正十四年法律第二十九號中改正法律案(染料製造獎勵ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

大正十四年法律第二十九號中改正法律案

大正十四年法律第二十九號中左ノ通改正ス

第一條中「六年」ヲ「九年」ニ、「百方圓」ヲ「百六十方圓」ニ、「四百方圓」ヲ「七百四十方圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣中橋德五郎君登壇)

○國務大臣(中橋德五郎君) 此大正十四年法律二十九號改正ノ件ハ、從來カラシテ行ハレテ居リマスル我國ノ染料工業ノ補助獎勵ノ繼續デアリマス、二十九號ニ於テハ、五箇年ノ期限ヲ以テ毎年各種ノ染料工業ヲ補助シテ助長スルト云フコトニナッテ、只今實行中デアリマス、デ今回之ヲ改正致シマスノハ、豫テヨリ皆希望シテ居リマスル此人造藍デアリマス、人造藍ハ今日御承知ノ通りニ、殆ド其全額ヲ輸入致シテ居ッテ、我國ニハ殆ド出来ナイト申シテ宜シイノデアリ

マス、幸ニシテ長キ研究ノ結果、略、今日ハ完成ヲ致シテ居ルノデアリマス、ケレドモマダソレガ安ク出来ルト云フコトニハマダ相當ノ年月ヲ要スルト云フコトヲ見マスルデ、一昨年商工審議會ニ於テ、是ガ補助獎勵ヲ決議サレマシタ、デ今回ノ豫算ニ提出致シマシテ是ガ通過致シマスナラバ、四年ヨリシテ後五箇年間獎勵ヲシテ見タイ、サウスレバ大抵確立スルダラウト云フ見込ナノデアリマス、從來此二十九號法律、即チ染料製造獎勵ニ關スル法律デアリマスルガ、此法律ガ出テ居リマスルカラシテ、之ニ追加ヲ致シマシテ、同時ニ此法律ヲ三箇年間延長ヲ致シテ見タイ、斯ウ云フノデアリマス、金額ハ豫算ノ中ニ計上シテアリマス、ドウカ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ望ミマス(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 日程第十九、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第十九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○原憲兵衛君 本案ハ日程第十ノ委員ニ併託セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○副議長(清瀬一郎君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ—日程第二十、鐵道敷設法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス—小川鐵道大臣

第二十 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

鐵道敷設法中改正法律案

別表第九號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

九ノ二 岩手縣摺澤ヨリ大原附近ニ至ル鐵道

別表第二十九號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

二十九ノ二 福島縣野澤ヨリ柳津ニ至ル鐵道

別表第五十四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

五十四ノ二 群馬縣碓氷ヨリ長野縣中込ニ至ル鐵道

別表第七十五號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

七十五ノ二 三重縣鳥羽附近ヨリ長島附近ニ至ル鐵道

七十五ノ三 福井縣敦賀ヨリ滋賀縣鹽津ヲ經テ今津ニ至ル鐵道

別表第七十七號中「濱大津ヨリ高城」ノ下ニ「今津」ヲ加フ

別表第八十三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

八十三ノ二 兵庫縣關宮附近ヨリ濱坂ニ至ル鐵道

別表第八十八號中「若櫻」ノ下ニ「兵庫縣關宮」ヲ加ヘ「經テ」ノ下ノ「兵庫縣」ヲ削ル

別表第九十一號中「府中」ノ下ニ「上下」ヲ加フ

別表第九十一號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

九十一ノ二 廣島縣福山ヨリ鞆ニ至ル鐵道

九十一ノ三 廣島縣尾道ヨリ上下附近ニ至ル鐵道

別表第九十六號中「岩國ヨリ」ノ下ニ「廣瀬ヲ經テ」ヲ加フ

別表第九十六號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

九十六ノ二 山口縣德佐ヨリ廣瀬ニ至ル鐵道

別表第一百五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

百五ノ二 高知縣須崎ヨリ窪川ヲ經テ中村ニ至ル鐵道

別表第一百號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

百十ノ二 福岡縣添田ヨリ大分縣日田ニ至ル鐵道

別表第一百十一號中「久留米ヨリ」ノ下ニ「福岡」ヲ加フ

別表第一百十一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

百十一ノ二 福岡縣福岡ヨリ熊本ヲ經テ熊本縣宮原附近ニ至ル鐵道

別表第一百十三號中「分岐シテ」ヲ「分岐シ宮原ヲ經テ」ニ改ム

別表第一百五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

百十五ノ二 大分縣森ヨリ宇佐ニ至ル鐵道

別表第二百二十二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

百二十二ノ二 宮崎縣高富ヨリ田出原附近ニ至ル鐵道

別表第二百二十三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

百二十三ノ二 宮崎縣西都城ヨリ外浦附近ニ至ル鐵道

別表第二百二十六號中「福島」ノ下ニ「外浦」ヲ加フ

別表第二百二十九號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

百二十九ノ二 渡島國江差ヨリ後志國瀨棚附近ニ至ル鐵道

別表第二百三十一號中「喜茂別」ノ下ニ「三階瀧」ヲ加フ

別表第二百三十一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

百三十一ノ二 膽振國三階瀧附近ヨリ石狩國定山溪ニ至ル鐵道

別表第二百三十四號中「鶴川ヨリ」ノ下ニ「占冠ヲ經テ」ヲ加フ

別表第二百三十四號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

百三十四ノ二 膽振國占冠附近ヨリ十勝國新得ニ至ル鐵道

百三十四ノ三 後志國余市ヨリ余別ニ至ル鐵道

別表第二百三十五號中「石狩」ノ下ニ「厚田、濱益」ヲ加フ

別表第二百三十六號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

百三十六ノ二 石狩國岩見澤ヨリ厚田ニ至ル鐵道

百三十六ノ三 石狩國龍川ヨリ濱益ニ至ル鐵道

別表第二百四十二號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

百四十二ノ二 天鹽國士別ヨリ石狩國添牛內附近ニ至ル鐵道

百四十二ノ三 天鹽國士別ヨリ似峠附近ニ至ル鐵道

別表第二百四十七號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

百四十七ノ二 北見國美幌ヨリ釧路國美留和附近ニ至ル鐵道

〔國務大臣小川平吉君登壇〕

○國務大臣(小川平吉君) 本案ハ豫定鐵道線路北北福岡久慈間外二十餘線ノ鐵道線路ヲ追加スルガ爲ニ、鐵道敷設法ヲ改正致シタイト云フ案デアリマス、是等ノ線路ハ産業ノ開發、國防ノ充實、又鐵道系統ノ完成上極メテ必要ナル線路デアリト認メマシテ改正ヲ企テマシタノデゴザイマス、何卒御協賛アラント希望致シマス(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 質問ガアリマス—工藤鐵男君

〔工藤鐵男君登壇〕

○工藤鐵男君 只今議題トナッテ居リマスル鐵道敷設法中改正法律案、即チ現内閣ハ動モスルト此鐵道問題ヲ提テ黨勢ヲ擴張スルノデアリマスルガ(拍手)「ノー」ハ斯様ナ疑ハ天下悉ク之ヲ信ゼザル者ハナイ、若シアルトスレバ政友會ノミ疑ハザルニ過ギナイノデアアル(拍手)斯様ナ萬人疑感ノ間ニ於テ、茲ニ現内閣ハ初メテ此鐵道政策ニ對シテ假面ヲ脱シテ國民ノ前ニ現ハレ來タノデアリマス、故ニ私ハ現内閣ノ鐵道政策ニ關スル政策其モノニ對スル所ノ幾多ノ疑點ヲ舉ゲ、更ニ今回此敷設法中改正法律案ヲ出シタニ付キマシテ「色」ヲ疑フ、當局大臣タル小川平吉君ニ御尋ヲ申上ゲルノデアリマス、若シ一國ノ交通ハ其國ニ對シテ種々ナル所ノ影響ヲ與フルモノデアルト致シマシタナラバ、斯ノ如キ交通上ニ關スル所ノ鐵道敷設問題ノ如キモノハ、其動機ト手段トシテ正シキ道ヲ歩ムナラバ、吾々ハ手ヲ舉ゲテ賛成ヲスルノデアリマス(拍手)然レドモ國家ニ必要デアリ、且又地方民ハ之ニ對シテ種々ナル要求ガアル、之ヲ奇貨トシテ以テ黨勢擴張ノ具ニ供スルガ如キハ、立憲政治ノ根柢ヲ破壞スルモノニ非ズシテ何デアリマス、故ニ鐵道ノ敷設ニ付キマシテハ、私共ハ必ズシテ反對ヲスル者デハナイ、但シ之ヲ以テ黨勢擴張ノ具ニ供スル疑アルモノハ、斷ジテ許サベカラザルモノアルコトヲ茲ニ聲明スルノデアリマス(拍手)斯ノ如キ結論ニ對シマシテ、私ハ事實ヲ列舉シテ小川鐵道大臣ニ伺ヒマス、是ハ

日本全國到處二行ハル、コトデアリマスルガ、政友會ノ鐵道大臣、政務次官、並ニ參與官、揃ヒモ揃テ地方民ニ對シ此鐵道ヲ餌トシテ、黨勢ヲ擴張ニ浮身ヲヤツシタ事實ガアルノデアリマス、新聞紙上之ヲ傳ヘザルハナク、幾多ノ集會ニ於テ之ヲ發表セザルハナイ、サウシテ鐵道ヲ延バス處ニ政友會ノ黨勢ヲ伸バシテ、甚シキハ政友會ノ鐵道建設積極政策ハ海ニマデ鐵道ヲ架シテヤルト放言シタモノマデガアルデアリマセヌカ(拍手)斯ノ如キコトヲ以テ地方民ヲ釣出シ、選舉ノ際ニ利用シタ例ハ歷々トシテ算ヘラレノデアリマスガ、私ハ茲ニ其一二ヲ舉ゲテ鐵道政策ニ付テ當局ニ大ナル反省ヲ促サントスル者デアリマス(拍手)小川鐵道大臣ハ、一個人ト致シマシテハ私共ハ尊敬スル友人デアリマス、然レドモ一度政友會ニ...

〔此時發言スル者多シ〕

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○工藤鐵男君(續) 入り、——一度政友會ニ入ッテ鐵道大臣トナルヤ、昔ノ所謂小川國士ノ面影ハ何時ノ間ニカ消エ去ッテシマタルデアリマス(拍手)此小川君ノ足跡ノ印スル所、常ニ鐵道問題ヲ吹聴致シテ、我黨ニ入ルト云フト此鐵道ヲ數イテヤルガ、我ラナレバ鐵道網ノ中カラ此ノ方ノ方面ノ線路ヲ削除シテヤルカラドウダナドト言ウテ、直接ニハ少シ遠慮ヲナサルガ、間接ニハ可ナリヤルノデアリマス、私ハ青森縣デアリマスルガ、此縣下ニ於ケル事情ヲ中上ダテ、其疑團ヲ解決ノ一ツニ供シマス、現内閣ガ出來マシテカラ我が青森縣ニ於テモ斯様ナ例ガアッテ、地方民ハ今現ニ苦シムツアルノデアリマス、現内閣ガ成立致シテ、東北方面ニハ小川鐵道大臣ヲ始メ、上陸政務次官並ニ志賀參與官、殆ド役所ノ仕事ヲ後ニ黨勢擴張ノ爲ニ、官憲ヲ利用シテ歩イタ事實ガアルノデアリマス(拍手)即チ今期議會ニ於テ問題ニナリマス青森縣下北郡田名部ヨリ大間ニ至ル所ノ鐵道、此距離ハ約二十九哩デアリマス、此二十九哩ノ半島ノ一角ニ結付ケラレテ、而モ其半島ニ

ハ津輕海峽ヲ中心ト致シマシテノ我が帝國ニ極メテ大切ナル國防網ガアルノデアリマス、故ニ多年此問題ハ國防上ヨリ、交通上ヨリ、産業上ヨリ、而シテ又國有鐵道トナシテ居リマスル所謂大湊線、此モノヲモ有效ニ働カシムル爲ニハ是非共國有鐵道トシテ敷設シナケレバナラヌトシテ、元田議長ハ嘗ツテ鐵道大臣タリシ時、鐵道敷設法別表ノ第一號ニ掲ゲタ位ノ位置ヲ持ッテ居ルノデアリマス、然レニ政友會ハ餘リニ黨勢擴張效能ガナイ爲ニ、十年間之ニ對スル豫算ヲ組マナカッタノデアリマス、地方人ノ切ナル要求、帝國鐵道ノ系統ノ整理、産業交通上ニ有ユル點カラ考慮致シマシテ、我黨内閣ニ於テ茲ニ昭和六年ヨリ著手スベク豫算ニ計上致シ諸君ノ御協賛ヲ得タノデアリマス、然ルニ現内閣ガ出來マシテカラ、志賀參與官ハ遙々大間ト云フ所マデ參リマシテ、村民ヲ集メテ演說ヲシタノデアリマス、演說ノ速記モ是ニ在ルノデアリマス、何ヲ言フタカト云フト、憲政會ノ鐵道政策ハシミツタレデアアルカラ、政友會ニ頼ルコトガ宜シイ、政友會ハ之ヲ必ズ早く敷設シテヤルト言フテ、公々然入黨ヲ勸メ演說シタノデアリマス(其通りト呼フ者アリ)洵ニ其通りノ演說ヲシテ傍若無人デアッタノデアリマス、然ルニ其年ノ本豫算ヲ計畫スル際ニ、憲政會ノ計畫ハ餘リニ消極デアリトシテ、昭和六年著手ヲバ二箇年間繰上ゲ、更ニ又大間マデ第一期ノ豫算ヲ計上シテ居タモノニ對シ更ニ大間マデモ計上スルコトニナリマシタカラ、地方民ハ之ニ對シ非常ニ喜ンダノデアリマス、所ガ諸君、昭和三年ノ豫算ハ何人ガ見マシテモ不成立ニナルコトハ豫期シテ居タノデアリマス、政友會内閣ノ豫算ハドウデ成立タナイカラ、ドウデモ宜シイトシテ豫算ニ計上シタノデアリマス(拍手)豫算ニ計上シタカラシテ、若シアノ議會ニ於テ首尾宜ク通過致シマスレバ、二年繰上ゲテ以テ此鐵道ハ或ハ案外早く完成シタルノデアリマセウガ、其後ニ至ッテ縣會議員ノ選舉ヲ行ヒ、衆議院議員ノ選舉ヲ行ヒ、豫定ノ收穫ヲ得タ後ハ、今回ハ之ヲ削除シ

テ以テ諸君ニ協賛ヲ求メタノデアリマス(拍手)政府ハ本案ニ對シ必要デアリ、且ツ地方ノ便利、即チ交通上國防上、産業上ナクテハナラヌモノデアルト云フコトガ、此鐵道最初ノ計畫、豫算ヲ計上シタ際ニ發表シタル所ノ理由書ニ依ッテモ明瞭デアリ、即チ一個人ノ力ヲ以テ所謂政友會ノ放漫政策トハ出來ナイ、隨テ之ヲ政友會ノ放漫政策トシテ、政友會御自身デハ申サヌガ、吾等ノ使フ言葉デアリマスガ、積極政策ニ依ッテ之ヲ架ケテヤルト云フノデアリマス、架ケテヤルノト云フノデアアルカラ、地方民ガ成程政府ガ其位親切ニヤッテ呉レルノグダラ、政友會ハ本當ニヤッテ呉レルグダラウト云フノデ投票ヲ澤山與ヘテ賛成ノ意ヲ表シタノデアアル、不成立豫算ガ不成立ニ終リタ、而モ直ニ之ヲバ削除シ、サウシテ此鐵道線路ヲバ私設鐵道會社ニ許スト云フコトデアリマス、此私設問題ハ決シテ一兩年以來起リタ問題デアアリマセヌ、十數年前カラ問題ニナッテ、私設會社ヲ以テ經營シ得ルナラバ、國有鐵道ニ關スル地方民ハ團體的運動ヲスル必要ハナカッタノデアリマスルガ、遂ニ現内閣ハ此線路ヲ削除シテ豫算ヲ取上ゲテ、而シテ之ヲバ一私設會社ニ許スト云フ計畫ヲ樹テ、居ルノデアリマス、而シテ其中ノ幾分ハ既ニ會社ニ許シマシタ、政友會ハ買収ニナルノグダラ、其時ハタンマリシタ選舉費ガ出ルノデアルト云フノデアリマス、吾々ハ國有鐵道ノ普及ハ、眞ニ我國ノ帝國ノ狀態カラ見テ大切ナル仕事デアルト云フコトハ知ッテ居リマス、然レドモ殊更ニ此線路ニ對スル所ノ豫算ヲ削除シテ、其基礎ノ十分鞏固ナラザル會社若クハ資力乏シキ人ニ之ヲ委ネントスルガ如キ態度ヲ示シテ、遂ニ地方民ヨリ多大ナル期待ヲ以テ迎ヘラレタル鐵道ハ國家ノ恩惠ニ依ラズ却テ之ヲ奪取ッテ恬然トシテ顧ミザルガ如キハ、現内閣ハ果シテ鐵道政策ニ對スル確固タル所ノ政策アリヤ否ヤヲ私ハ第一ニ伺ヒタイノデアリマス(拍手)獨リハ田名部ノミデハアリマセヌ、三重縣四日市町、四日

市町カラ阿下喜、此間ノ鐵道モ是ト同様ノ運命ヲ遂ゲテ居リマス、即チ此間ノ鐵道ハ十六哩九分デアリマスルガ、三百八十二万七千圓ノ豫算ヲ、而モ不成立豫算ノ中ニ入レテ置イタノデアリマス、而モ之ニ依ッテ選舉ヲ行ッテ大ニ黨勢ヲ張ッタノデアリマス、斯ノ如ク此問題ト云ヒ、田名郡大間間ノ問題ト云ヒ、苟モ帝國鐵道ニ對シテ一定ノ政見ヲ持チ、眞ニ帝國鐵道ノ普及ヲ志シ、積極政策ヲ持ッテ行クト云フ現内閣ノ態度トシマシテハ、朝ニ與ヘテタニ奪フ、實ニ朝令暮改ノ甚シキモノニアラズシテ何デアリマスカ(拍手)事柄ハ僅ニ此二ツデアリマスガ、一事ヲ以テ萬事ヲ知り得ルデアアリマセヌカ、即チ斯ノ如キ所ノ態度ヲ以テ鐵道政策ヲ確立シ、積極政策ヲ行フモノナリト致シマシテモ、其裏面ニハ實ニ不純ナル所ノ動機ガアルト云フコトヲ、何人カ之ヲ疑フ餘地ガアルデアリマセウカ、事、一地方ノ問題デアアッテモ、政友會ノ政策ニ直チニ關係ガアルガ爲ニ申スノデアリマス、朝令暮改ハ固ヨリ欲セザル所デアリマセウケレドモ、此二ツノ線路ヲ私設會社ニ許シタ爲ニ、政府ハ責任ヲ追レタ茲ニ一千万圓近イ所ノ財源ガ出來ルノデアリマス、國民負擔ヲ加重シ、遺算段ヲ以テ公債ヲ増募シ、而シテ鐵道計畫ヲ樹テ、居ル今日、一千万圓ノ財源ヲ以テ黨勢擴張ヲスルニハ決シテ不足デナイガ爲ニ、彼等ハ斯様ナ事ヲ採ルノデアリマス(拍手)而シテ斯ノ如クシテ此鐵道ニ對スル豫算ヲ削ッテ、出來上ッテ財源ヲ何所ヘ持ッテ行タノカト申シマス、是ハ新タニ黨勢擴張ヲスル方面ニ使フノデアッテ、恰モ支那人ノ手品師ガ様々ナ「カラクリ」ヲシテ、多クノ人ヲ瞞著スルト同様ナル方法ヲ以テヤッテ居ルノデアリマス

〔拍手起リ「質問デヤナイ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○工藤鐵男君(續) 即チ私が申上ゲタノハ、現内閣ノ鐵道政策ハ斯ノ如ク朝令暮改デアルカラシテ、國民ノ多數ハ之ヲ信用スルコトハ出來ヌ、隨テ僅カニ二ノ例デアリ

マスルケレドモ、現内閣鐵道政策ノ破綻ヲ示スモノト疑ガアル故ニ、此點ヲ申上ゲテ同テ居ルノデアリマス、此處デ私ハ大體ニ於テ小川鐵道大臣ニ伺ヒマス、不成立豫算ガ不成立ニ終ラ——豫定ノ如クデアリマス、併ナガラ若シ政府ハ眞ニ責任ヲ重シ、從來ノ主張ニ對シテ忠實デアッタナラバ、必ズヤ不成立豫算ニ計上セラレタモノハ、本期議會ニ提出セラレマシテ、政治案トシテモ、政黨トシテモ、政府トシテモ、其德義ヲ果スコトハ當然ナル任務デハナイカ、朝ニ與ヘテタニ奪フ、斯ノ如クニシテ千變萬化シテ、殆ド顧ミザルガ如キコトハ、決シテ鐵道政策ニ對スル國民ノ信賴ヲ繋グ所以デナイト云フコトヲ私ハ考ヘマスルガ、此點ニ關スル所ノ鐵道大臣ノ所見如何、第二ニハ田名部、大間ノ線ハ國防上固ヨリ大切デアリ、本土ト北海道ト連絡スル上ニモ、産業上ニモ極メテ大切ナル線デアルカラ、憲政會内閣ハ之ニ對シテ豫算ヲ取リ、更ニソレデハ少ナイ、且ツ長イカラト云フノデ二箇年線上下デテ、更ニ大間迄全部ノ豫算ヲ取ツタノデアリマス、爰ニハ國防上交通ノ産業上重大ナル故ニ國策トシテモ此鐵道ヲ國有トシテ實現シナケレバナラヌト迄天下ニ吹聴シ、參與官ノ如キモ態々御苦勞ニモ大間迄參テ大宣傳ヲシタ事實ガアルデハナイカ、シテ見ルト此鐵道ハ國防上、産業上、交通上、更ニ又大湊ノ枝線ヲ培養スル上ニ於テ、鐵道連絡上或ハ體系上必要アリトシテ立テタモノヲ、半年經タザルニ更ニ改メナケレバナラヌ鞏固ナル根柢ガアルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、又此線路ハ斯ノ如クニシテ今日ニ於テハ其一部ハ私設鐵道ニ許シマシタガ、更ニ殘レル部分モ恐クハ此豫算ガ成立致シマシタナラバ私設鐵道會社ニ許スデアリマセウ、尠クモ政府ノ調査ニアルガ如ク、田名部、大間間ハ大體ニ於テ工事ハ困難デアリマスマイケレドモ、更ニ進ンデ約二十哩バカリノ間ト云フモノハ非常ナル難工事ニナルノデアリマス、國家ノ力ヲ以テスラモ躊躇シテ居、タ此線路ニ對シテ、一私立會社ガ果シテ

之ヲ遂行シ得ルノ御見込ガアルカト云フコトヲ、何カ據ル所ガアツテ根據ガアル御答ガ出來レバ伺ヒタイト思ヒマス、即チ若シ利益アル線路デアッタナラバ、今日ニ起ル迄モナク、屢、過去ニ於テ起リタケレドモ、採算上不能ナリトシテ、政府ノ許サズ遂ニ國家ノ力ニ依リテ之ヲ完成セントスルニ至リ各方面ノ人ガ努力シタノデアリマス、即チ鐵道政策ニ對スル大臣ノ意見ノ朝令暮改ハ果シテ何ノ爲デアルカ、此點ヲ伺ヒタイ、更ニ之ヲ私設鐵道會社ニ許シテ、果シテ政府ガ計畫シタ如ク立派ナル鐵道ヲ完成シ得ルノ鞏固ナル確信アリヤ否ヤ、若シアリト致シマシタナラバ、此意味ニ於テ確ニ成功シ得ルト云フコトノ明カナル根柢ヲ示サレンコトヲ御願致シマス、尙ホ本問題ニ關シマシテハ、豫算委員會若クハ分科會ニ於テ具體的ニ事實ヲ申上ゲテ、現政府ノ鐵道政策破綻ノ狀況ニ在ル所以ヲ國民ノ前ニ私ハ懇ヘタイト思ヒマスカラ、此點タケハドウカ……

〔國務大臣小川平吉君登壇〕

○國務大臣(小川平吉君) 工藤君ノ御質問ニ御答致シマス、鐵道ノ黨勢擴張ノ爲ニ建設ヲスルカノ如キ意味ノ御質問デゴザイマシタガ、決シテ黨勢擴張ノ爲ニ建設スルノデアリマセヌ、産業ノ開發或ハ國防ノ充實、又ハ鐵道ノ系統ノ完成上、先刻モ申上ゲマシタ通り其必要ナルモノヲ順次ニ建設ヲスルノデアリマス、併ナガラ此鐵道政策ニ國民ノ或者ガ共鳴ヲ致シ、是ガ爲ニ黨勢擴張ト云フ結果ハアルカモ知レマセヌ、併ナガラ吾々ハ鐵道當局トシテ、黨勢擴張ノ目的ヲ以テ鐵道ノ線路ヲ選擇スルナド、云フガ如キコトハ毫頭ゴザイマセヌカラ、是ハ御安心ヲ願ヒタイ、ソレカラ只今青森縣ノ大間ノ鐵道ノコトニ付テノ御質問デアリマス、是モ黨勢擴張デモナケレバ、又此線路ヲ豫算ヨリ削リマシタノモ、何等千變萬化ナドト云フ變々意味ノアル次第デモナイノデアリマス、大體ハ既ニ工藤君モ御承知ノ通り、吾々ハ成べく速ニ全國樞要ノ地ニ鐵道ヲ建設致シタイト云フノガ年來ノ主

張デアリマス、今回モ即チ此主張ヲ實現スルコトニ努メテ居、タノデアリマス、是ガ爲ニ只今モ御話ノ如ク、此大間ノ鐵道ノ如キハ線路ヲ延長ヲ致シ、加フルニ其建設ノ年限ヲモ線路上デマデ致シタノデアリマス、然ルニ偶野村龍太郎氏外多數ノ有力ナル人ガ、此線路ノ私設ヲ許可シテ貰ヒタイ出願ガアツタノデアリマス、其計畫ニ依リマスレバ、政府ノ建設致スヨリモ速ニ連ニ、數年早く完成スルコトニナルノデアリマス、政府ノ計畫ニ從テ參リマスレバ、全國多數ノ線路ヲ順次ニ建設致スノデアリマスカラ、大間鐵道ノ如キモ甚ダ遺憾ナガラ其建設ノ完成スルコトハ餘程ノ年限ヲ要スルノデアリマス、只今御話ノ如ク、昭和六年度ニ漸ク著手ヲスルト云フノデアリマス、完成ノ年度ハ、私ハ忘レマシタガ、兎ニ角餘程數年ノ後デナケレバ完成ヲ致サナイ、然ルニ此私設鐵道ニ之ヲ委ネルコトニ致シマスレバ、之ニ比較シテ非常ニ速ニ、建設ニ從事スルコトハ直ニ今年度ニモ著手致シテ、其完成ノ年月モ餘程早イノデアリマス、即チ私ハ速ニ全國各地ニ鐵道ノ建設ヲ完ウ致シタイト云フ、此主張ヲ實現スル意味カラ申シマシテ、此會社ニ其建設ノ許可ヲ致スコトガ適當デアルト考ヘタノデアリマス、之ニ付キマシテ只今ノ御質問ノ中ニ、果シテ此會社ガ此鐵道ヲ仕終フセル所ノ能力ガアルカドウカト云フヤウナ御尋デアリマスガ、是ハ十分調査致シマシタガ、御承知ノ通り野村龍太郎氏ハ、我國鐵道界ノ泰斗デアリ、又最も有力ナル人デアリ、唯徒ニ權利ヲ得テ、之ヲ振廻ハシテ一時ノ利益ヲ貪ルト云フヤウナ人デハアリマセヌ、其關係者モ亦其資力ニ於テ、其知識經驗ニ於テ、我國ニ於テ十分信用ヲ置キ得ルト認メマシタカラ、之ニ許可シタノデアリマス、即チ平素吾々ノ主張スル所ヲ實現シタノデアリマス、工藤君ニシテ若シ此地方ニ御關係ガアリマシタナラバ、此許可致シタニ對シテ、私ハ感謝ノ意ヲ表明サレテ宜イ位ニ思フ、又四日市ノ鐵道モ其通りデアリマス、矢張四日市ノ鐵道モ昭和

六年度ヨリ始メルト云フ計畫デアッタノデアリマス、是ガ完成ハ餘程後デナケレバ出來ナイ、然ルニ幸ニモ同地方ノ最も有力ナル者ガ、私立ノ會社ニ依リテ此鐵道ヲ架ケヤウト云フノデアリマスカラ、吾々ハ願ヒタリ叶ッタリ、地方ノ人民モ亦願ヒタリ叶ッタリデアリマス、速ニ鐵道ヲ架ケルト云フ見込ガ付キマシタカラ、此鐵道會社ニ其建設ノ許可ヲ致シタ次第デアリマス、既ニ之ヲ許可致シマスル以上ハ、政府ノ鐵道建設豫算ヨリ之ヲ削リタフノハ當然ノ結果デアリマシテ、何等千變萬化デモ、一變一化デモナイ、當然ノ結果デアルト私ハ考ヘテ居ル

〔工藤鐵男君登壇〕

○工藤鐵男君 只今小川鐵道大臣ノ流石ニ法律家ノ說辯的ノ答辯ガアツタノデアリマス、國務大臣ノ答辯トシテハ、如何ニモ穩當ヲ缺イタ所ノ答辯ト拜聽致シマシタ、私ハ必ズシモ鐵道ノ目的ハ全然黨勢擴張ニ使フト申シタノデアリ、民政黨、憲政會ハ眞ニ國家ノ爲ニ鐵道ヲ計畫シ建設シマスガ、政友會ニ限リテハ國家ノ名ニ於テ鐵道ヲ建設シテ、而シテ黨勢擴張ヲ致シテ居ル、例ヘバ小川君ガ青森ニ參リテ宿屋ニ著クト、地方ノ人ガ皆行ッテ、而シテ鐵道ニ付テノ請願ヲスルト云フト、其處ニ政友會ノ代表ノ幹部ガ集ッテ、入黨スルナラバ鐵道大臣ノ所ヘ會ハシテヤラウト云ッテ、ヤッテ居ルデハナイカ、是ハ結果デハナイノデアリマス、是ハ原因デアツテ、結果ト原因ヲ間違ヘレヤウナ鐵道大臣ガアルカラ、茲ニ朝ニ吳レタニ奪フガ如キ、眞ニ信義ノナイ所ノ政治ヲ行フノデアリ、是ハ事實デアリマス、此點ヲ明ニ辯明致シテアタタ方ノ御參考ニシテ置キマス、第二ニハ早く出來タラバ宜カラウト云フノデアリマス、若シ早く出來タナラバ宜カラウ、國家ノ爲ニ必要デアルナラバ、鐵道敷設法ノ第一號ノ線路ニナツテ居ルノデアリカラ、新ニ黨勢擴張ニ使フ線路ヲ第二號致シマシテモ、一旦約束シタル所ノ鐵道ヲ遂行スルノガ、即チ立憲政治家ノ態度デハナイノデアリマス、早く出來ルカラ宜イノデアリマセヌ、國有鐵

道トシテノ使命ヲ完ウスル所ニ、鐵道建設ノ目的ガアルノデハアリマセヌカ、今日迄屢、此線ニ關シテ、一部デハアリマセヌカ、敷設請願ヲ致シタケレドモ、國有鐵道トシテデナケレバナラヌトシテ、政府ハ之ヲ許サナカッタノデアリマセヌカ、殊ニ又大間ノ要塞モ既ニ築造ガ成テ、大切ナル地點デアリマセヌカ、其基礎薄弱ナル所ノ個人若クハ會社ニ委ネテ、果シテ當初之ニ關スル豫算ヲ要求シヌハ年限ヲ繰上ゲタト云フ所ノ趣旨ヲ貫徹スルコト云フヤウナコトハ、木ニ縁テ魚ヲ求メルヨリ尙ホ難イデハアリマセヌカ、故ニ之ニ對シテ感謝コトスレトハ、即チ之ニ依テ縣會議員ノ選舉ノ投票ヲ集メ、衆議院議員ノ投票ヲ集メタル人ハ感謝ヲシナサルガ宜シイガ、小川君ノ言フヤウナ向ヘノ感謝ハ少シ御門違デアリハシナイコト云フコトヲ申上ゲマシテ、茲ニ私ノ質問ヲ打切テ委員會ニ譲リマセ（拍手）

〔國務大臣小川平吉君登壇〕

○國務大臣（小川平吉君） 只今御話デゴザイマスルガ、青森縣ニ於テ多數ノ人ニ面會ヲ致シテ居リマスルカラ、人ノ記憶ハゴザイマセヌカ、少クトモ鐵道ヲ架ケテヤルト云フコトヲ條件ト致シテ面會シタナドト云フコトハ、左様ノ事ノアルベキ道理モナシ、又斷ジテナイ、ソレカラ只今ノ工務君ノ御話デハ、一旦國有ニ國家ニ於テ建設スルコトヲ決メタ以上ハ年限ガ延ビテモソレヲ最初ノ通りニ實行スル方ガ宜シト云フヤウナ御意見ヲ承リマシタガ、ソレハ御意見デアリマス、私ハ鐵道ヲ早く架ケタイト云フ希望デアリマスカラ、必ズシモ一旦國家ガ建設スルコトニ決定ヲ致シマシテモ、之ニ拘泥スル必要ハナイ、早く立派ナ鐵道ガ出來ルナラバ、之ニ許スト云フコトガ、私ノ考デアリマス、此點ハ工務君ト私トハ意見ノ相違デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

〔政府委員上松安太郎君登壇〕

○政府委員（上松安太郎君） 只今大臣ヨリ御答ガアリマシタカラ、私カラ申上ゲル必

要ハゴザイマセヌケレドモ、私ノ名ヲ指シテ工務君ガ、東北ニ來テ何カ黨勢擴張ヲ致シタヤウナ御話ガゴザイマシタカラ、一言辯ジテ置ク必要ガアラウト思ヒマス、私ハ東北ニ參リマシテ、旅行致シマシテ、左様ナ人ヲ宿ニ寄セテ、左様ナ事ヲシタコトハゴザイマセヌカ、サウシテ又只今工務君ノ事實ニ付テ御話ニナリマシタ大間、大畑間、アノ邊ハ旅行致シテ居リマセヌカ、ソレカラ四日市、阿下喜ノ邊ヘモ參リテ居リマセヌカ、事實ニ於テ此處ニ行ッテ斯様ナ事ヲシタコト云フ御話ガゴザイマセヌカ、御答ヲスルコトハ出來マセヌケレドモ、今御話ニナツタ所ヘ旅行ハ致シテ居リマセヌカ、併ナガラ私ノ此問題ニ賛成致シマシタノハ、大臣ガ今御話ニナリマシタ通り、是ガ早く出來テ、サウシテ年々皆様カラ請願、建議ガ多大ニ議會ニ現ハレルコトハ、皆様ノ御承知ノ通りデアリマス、其線路ガ早く出來テ、サウシテ此方デ又皆サンノ希望ノ線ガ順次ニ出來得ルコトナラバ、國家ノ爲メ非常ニ宜シイコト、思ウテ、私ハ賛成シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ又此數段豫定線ヲ決メマスルニモ、慎重ノ審議ヲ致シマシテ（政黨カラ「ト呼フ者アリ」）ソナナ事ハアリマセヌカ、皆サンモ御承知ノ通り、權威アル鐵道會議ニ大臣カラ諮問ヲサレテ、サウシテ慎重審議ヲ經テ提出シテ居ルノデゴザイマシテ、決シテ私共ハ局ニ當テ黨勢擴張ノ用ニ供スルヤウナコトハ斷ジテゴザイマセヌカ、只今名ヲ指シテ（都ノ城ハドウウシタ）ト呼フ者アリ其他發言スル者多シ（御答致シマス、都ノ城ノ御話ヲ致シマス、嘘デアリマセヌカ）

〔發言スル者多シ〕

○副議長（清瀬一郎君） 靜肅ニ願ヒマス

○政府委員（上松安太郎君）（續） 御答致シマス、御聽キナサイ、今都ノ城ノ御話ガアリマシタカラ御話ヲ致シマスガ、都ノ城ハ志布志線カラ（ソナナコトハ議題ニナツテ居ナイヨ）其他發言スル者多シ（斯ウ云フ必要ガアツテ架ケタト云フコトヲ言フノデス、聽カヌト云フナラバ話ヲシマセ

ヌカ、架ケタ線路ノ必要デアルト云フコトハ、委員會デ詳シク話ヲシマスガ、黨勢擴張ナドハ斷ジテ致シテ居リマセヌカ（拍手）

○副議長（清瀬一郎君） 日程第二十一、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員選舉ヲ議題ト致シマス

第二十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○原惣兵衛君 本案ハ議長指名、特二十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○副議長（清瀬一郎君） 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長（清瀬一郎君） 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二十二、電話事業公債法中改正法律案——第一讀會ヲ開キマス

第二十二 電話事業公債法中改正法律案（政府提出） 第一讀會

電話事業公債法中改正法律案 第一讀會

電話事業公債法中左ノ通改正ス

第一條中「三億二千八百萬圓」ヲ「五億三千百三十萬圓」ニ改ム

〔國務大臣三土忠造君登壇〕

○國務大臣（三土忠造君） 只今日程ニ上リマシタル電話事業公債法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ說明致シマス、電話事業擴張ノ計畫ハ、大正六年及同九年ノ改訂ノ際、財源ノ大部分ヲ公債ニ依ルコトニ致シマシタ所、大正十二年關東地方大震災以後、該事業費ニ對スル公債支辨ヲ打切りマシテ、大正十四年度以來ハ加入者ノ設備負擔金ヲ課シ、自給自足ノ方法ニ依リ擴張ヲ遂行スルコトニ計畫ヲ改訂サレマシタガ、今般時勢ノ進運ニ伴ヒ、擴張計畫ヲ樹ツルト共ニ、一面加入者ノ設備負擔金ヲ漸次減免スルコト、致シマシテ、其財源トシテ此電話擴張ニ伴フ收入ヲ充當スル外、一部ヲ公債ニ依ルコトニ致シタル爲メ、電話事業公債法中發行制限額ヲ改正スルノ必要ガ生ジマシタ、是ガ改正法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒速ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希

望致シマス

○副議長（清瀬一郎君） 質疑ヲ許シマス

——川崎克君

〔川崎克君登壇〕

○川崎克君 只今御提出ニナリマシタ電話公債事業法中改正法律案ニ對スル大藏大臣ノ簡單ナル御説明ヲ承リマシタガ、其御説明ノ要旨ハ、從來電話公債ハ震災ノ直後ニ於テ公債ヲ以テ一部財源トシテ電話事業ヲ遂行シテ參ッタガ、大正十二年カラ電話公債ヲ打切テ、自給自足ノ方針ニ依ッテ今日迄ヤッテ參ッタルデアアルガ、今後架設費ヲ漸次減シテ行ク意味ニ於テ公債ノ募集ヲ必要トスルコト云フ理由デアッタヤウニ拜聴ヲ致シタルデアリマス、架設費ヲ減ラシテ行カケレバナラヌガ爲メ、電話公債ヲ募集シタケレバナラヌト云ハレル御趣意ハ、電話事業計畫全體ノ上カラ見マシテ、左様ナ議論ハ立テ得ナイノデアリマス、何故ニ左様ニ申スカト申シマスレバ、電話ノ擴張計畫ト云フモノハ、大體計畫ノ財源トシテ今日ノ所ニ於テ之ヲ補ツテ居ルモノハ、一ツハ既設ノ電話收入ヨリ生ズル所ノ益金ト、一ツハ電話ヲ架設セラル、人ニ對シテ其受益者ニ負擔セシムル意味ニ於テ納付金、寄附金ヲ取立テ、此「一ツ」財源ニ依ッテ電話計畫ト云フモノガ成立ツテ居ルノデアリマス、而シテ此電話計畫ハ、大體ニ於テ今日ノ所四萬八千、或ハ四萬八千五百ト云フ箇數ヲ目當ニ組立テラレテ居ルノデアリマス、今度御提出ニナツテ居リマスル所ノ此電話公債ノ起テ居リマスル事業計畫モ、昭和五年カラ昭和十五年ニ至ルマデ、此間ニ於テ矢張電話ノ數ハ五萬箇ヲ標準ニ見テ建築計畫ヲ樹テラレテ居ルノデアアル、此點ニ付テ過日ノ本會議ニ於テ三土大藏大臣ハ、私ノ質問ニ對シテ電話公債ノ金額ガ年ヲ追ウテ殖エテ行クト云フコトハ、是ハ架設費ノ遞減ヲ行ウテ行ク程電話ノ金額ヲ殖ヤシテ居ルノデアッタ、其處ニカラクリガアルト云フコトヲ、ハッキリ私ガ言ウテ居ルノデアリマス、之ヲ辯解スルノニ電話事業ハ段々先ニナツテ擴張テ行ッテ財源ガ多ク要スルカ

ラ、公債ノ募集ガ殖エルトト言ハレテ居
リマス。コレドモ、是ハ電話計畫全體ヲ御承
知ナク、誤リテ居ル見解アルト謂ハナ
ケレバナラヌ。デアリマス、此數字ノ間違
ダケハ、三土君ノ御考ガ間違デアラウト思
ヒマス。ルカ、敢テ追究ハ致シマセヌガ、
五万箇ノ標準ニ立テラレタル此電話計畫ニ
於テ、既設ノ電話收入ノ利益ト云フモノガ、
現在ニ於テ幾アルカト云ヘバ、大正十三
年マデハ大體電話計畫ニ對スル所ノ收入ト
支出ト分ケテ、是ダケノ利益ガアルト云フ
コトガ見テ居ラヌ。デアリマス。コレドモ、震
災後ニ於テ此關係ガハッキリシテ居ナイ爲
ニ、今日電話ヨリ生ズル利益ハドレダケア
ルカト云フコトハ明確ニハナクテ居ナイ。
ナクテ居ナイケレドモ、大體ニ於テ約三千万
圓以上ノ利益ガアルト云フコトハ、私共在
職中ニ於テモ此數字ガ間違ナイ數字デア
ラヌ。デアッテ、其後電話ノ殖エテ居ルダケ
レダケ、其收入ガ餘計ニ殖エテ居ルト云フ
コトハ、是ハ爭ノナイ所ノ事實デアルト謂
ハナケレバナラヌ。茲ニ三千万圓ノ利益ガ
アル、三千万圓ノ利益ガアルノデアレケレ
ドモ、三千万圓ノ利益全部ヲ今日ハ提供シ
テ居ルノデアリナク、此豫算ニ現レテ
居ルヤウニ其内ノ一部、大部分ト申シテモ
宜シイガ、二千二百万圓ヲ出シテ居ル、二
千二百万圓ノ事業收入ノ利益ヲ繰入レテ居
ル、此事業收入ノ二千二百万圓ノ利益ト、
受益者デアル所ノ電話ノ架設ヲ受クル者カ
ラ納付金及寄附金ニ依テ取立テル所ノ一
千八百万圓、乃至或時ハ二千二百万圓ト云フ此
二ツノ收入ヲ併セテ自給自足ノ方針ヲ樹
テ居ラヌ。然ルニ昭和六年カラ後ハ公債ヲ
募集ナサルト云フノデアルガ、此二千二百
万圓ト云フ利益ハ何處ヘ飛ンデシマタン
デアアル、二千二百万圓ト云フ利益ハ永久ニ
モウ既設ノ電話カラ生ズル利益デアリマス
カラ、永久ニ此利益ガ後年度ノ財政計畫ニ
這入ラヌ、一般會計ニ這入レテ利益トシテ永
久ニ連ナクテ居ルモノデアリマス、其二千
二百万圓ノ利益ハ何處カヘ隱シテシマ
テ、サウシテ茲ニ公債ヲ募集シヤウト

云フノデアレカラ、即チ二千二百万圓
ノ利益ヲ公債ト云フモノデ「カムフラ
ージュ」、即チ胡麻化シテ、サウシテ公債
財源ヲ以テ明ニ地租、營業收益兩稅
ノ委讓財源ニ充テタト云フコトガ明白
ナリト云フコトハ、一點ノ疑ヲ容レザルモ
ノト謂ハナケレバナラヌ、隨テ此事ニ對シ
テハッキリ御答ヲ願ヒタイノハ、既設ノ電話
ノ事業收入ト云フモノ、三千万圓ト云フ
收入、其中デ二千二百万圓ノ收入、其收入
ハ將來ドウナクテ行クノデアルカ、私ノ計
算ニ依レバ昭和十五年マデノ間ニ約二億七
千万圓程收入ガ勘定サレル譯ニナル、茲ニ
貴方ノ公債ヲ募集ナサルヲスルノハ二億
三百三十万圓デアリマス。ルガ、事業收入ヲ
今迄ノ儘ニイデラズニ置イテ行クナラバ、
此處ニ公債ノ募集ヲスル必要ハ何モノイ、
公債ノ募集ハスル必要ハナイノミナラズ、
七千万圓内外ノ金ガ餘ルト云フ計算ガ出
來ルノデアッテ、之ニ付テハ明ニ公債ノ募集
ノ必要ノナイト云フコトダケハ明白ニナル
ノデアルガ、此點ニ付テハ大藏大臣ハ「キ
リシテ御答ヲ願ヒタイ、又事業ノ關係カラ私
ガ今申上ゲマシタ所ノ數字ガ間違テ居ル
カ居ラナイカト云フコトニ付テハ、通信大
臣カラ御説明ヲ願ヒタク存ジマス」(拍手)
〔國務大臣三土忠造君登壇〕
○國務大臣(三土忠造君) 今度ノ電話ノ擴
張計畫ト云フモノハ、前ノ計畫ノ後ノ繰延
モアリマス。ルシ、新規ノ計畫モ這入ッテ居
リマス、ソレカラ電話ノ公債ノ元利拂モ考ヘ
ナケレバナリマセヌシ、維持費モ含ンデ居
リマス。デ、相當複雑ハ致シテ居リマス。ル
ガ、大體ニ於テ此電話事業計畫ノ立前ト致
シマシテハ、電話ノ架設ニ關シマシテハ、
電話加入者ガ大體負擔スベキモノ、斯ウ云
フ立前デアアルモノデアリマス。ルガ、是迄ノハ
一時ニ實費ヲ支辨サセテ居ラヌ。デアリマ
スガ、今度ハ漸進シテ二年度仕舞マデニ負擔
ガ掛テ來ルヤウナ組織ニナルノデアリマ
ス、ソコデ先達テ私ガ申シマシタヤウニ、
各電話架設者ノ毎戸ノ人モカラ實費ヲ取
テ居リマシタノヲ、實費ヲ段々取ラナク

ル、實費ガ遞減シテ行クニ從テ公債ハ殖
エルトデアリマス、而シテ實費ト今度ノ公
債ト合セマシテ、電話ノ擴張計畫ノ財源ニ
ハ足リナイノデアリマス、其足リナイ所ハ
架設スルニ從テ生ズル利益ヲ以テ之ヲ填
補スル、斯ウ云フ計畫ニ出來テ居ルノデア
リマシテ、即チ新シキ計畫ハ自給自足ニ出
來テ居ルノデアリマシテ、吾々ハ電話ノ事
業ト云フモノハ、是ノ申込者ハ相當ノ資産
ノ有ル人モデアリマス。ルガ、斯様ナ人ニ自
賄デ以テヤラスト云フコトガ本當デアアル、
斯ウ云フ立前デ考ヘテ居ルノデアリマシテ、
是迄ノ計畫ニ屬スル、即チ既往ノ電話ノ架
設ニ依ル收入ト云フモノハ、將來ノ財源
會計ノ中ニハ元カラ這入ッテ居ルノデアリ
マス、即チ二千何百万圓デアリマス。ルガ、私
ハ精密ニ覺エマセヌガ、ソレハ計畫ニ這
入ッテ居ルノデアリマス、今度ノ計畫ハソ
レト切離シテヤアルノデアリマス。ルガ、吾
々ニハ電話ノ擴張ノ計畫ヲ、左様ナ財源ヲ他
ノ租稅收入等ニ依テ賄フベキモノデアナイ、
斯ウ云フ考カラ此計畫ヲ樹テタノデアリマ
ス、故ニ前ノ電話其他ノ通信收入ト云フモ
ノハ「ツニナクテ居リマシテ、是ハズト後
年度ノ財政計畫ニ這入ッテ居リマス。ルガ、此
關係ニ於キマシテハ、新ナ計畫ハ少シモ地
租委讓トカ、營業稅撤廢ノ財源トハ無關係
デアリマス、即チ實費ト公債ト架設ニ依
テ出來ル益金トヲ以テヤタノデアリマス
カラ、他ノ財源トハ少シモ關係ナイト云フ
コトヲ申上ゲテ置キマス
〔國務大臣久原房之助君登壇〕
○國務大臣(久原房之助君) 電話ノハ色
錯雜シテ居リマシテ、今仰シヤルヤウニ、
ハッキリシテ數字ハ分ケテ居リマセヌデゴザ
イマス、何レ……
〔此時發言スル者アリ〕
○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス
○國務大臣(久原房之助君) (續) 大體ノコ
トデゴザイマス。ルガ、サウハッキリ分
ラヌヤウニ今ナクテ居リマス。ルガ、直
グ明瞭ニ御進事ハ出來マセヌデゴザイマス
〔川崎克君登壇〕

○川崎克君 私ハ三土大藏大臣ニ極メテ分
リ好ク御答ヲ出來ルヤウニ御願ヲ致シタ
ノデアリマス。ケレドモ、全ク願ミテ他ヲ言
ハレテ居ルノデアリマス、先ヅ第一電話事
業ノ收入ト云フモノハ、後年度ノ財政計畫
ノ中ニ這入ッテ居ルノデアアル、ソレハ貴方ガ
サウ云フヤウナ計畫表ヲ近頃御作リニナ
タノデアリマシテ、昭和四年度、昭和
四年度デ二千二百有餘万圓ト云フ電話カラ
生ズル利益ノ收入ガ繰入ラレテ居ル、ソ
レガ昭和五年度ニナクテ失張同ジク電話收
入デ、此電話ノ仕事ヲ遂行シテ行クノ必要
ナル財源トシテ繰入ラレラナケレバナラ
ナイノヲ、繰入ラレラズニ六百八十幾万圓シカ
繰入ラレテ居ラヌ、更ニ昭和六年ニ
ナリマス。ト云フ、僅ニ七十幾万圓シカ繰入
ラレラナイ、此七十幾万圓シカ繰入ラレナ
イト云フ此數字ハ、何ヲ説明シテ居リマス
カト云ヘバ、即チ新シキ出來テ利益ノ收入ガ
昭和六年カラ始メテ利益ヲ生ンデ來ル收入
ガ七十幾万圓アル、今日マデ電話ノ建設ニ要
シタル三億八千六百万圓ト云フ巨額ノ金ヲ
投ジテ計畫ヲ樹テタル電話ノ仕事カラ生ズ
ル利益ト云フモノハ二千二百万圓以上アリ
マスガ、其收入ト云フモノハ外ノ財源ニ持
テ行ッテ居ル、是ハモウハッキリ分ル、之ヲ
貴方ハ胡麻化シテ御答ヲニナルコトガ間違
デアアル、又三土大藏大臣ノ説明ヲ本ト盆
自家擧著ナコトヲ仰シヤル、先ヅ第一電話
ヲ架設シテ實費ヲヤウナ人ハ中産階級、若
クハソレ以上ノ階級ノ人デアルカラ、其者
ニ對シテ負擔ヲサセルガ宜イ、ソレナラバ
現在ノ受益者標準ニ依テ、現在ノ通り納
付金給付金ハ半分ダケハ架設スル者ニ與ヘ、
負擔サセルト云フ此方針コソ貴方ノ言ッ
テ居ル所ニ合致スベキモノナラヌ。デアリ
マス。斯ウ云フコトハハッキリ正直ニ仰シヤ
タ方ガ明白デアアル、何ト仰ヘテモ數字ダ
ハ嘘ハ言ヘナイノデアアルカラ、貴方ダレ
ダケ強辯サレマシテモ、此計畫ハ何時カラ
行ハレルカト云ヘバ、昭和五年カラ行ハレ
ル、此昭和五年カラ行ハレルト云フ計畫ハ

太郎君

○横山勝太郎君登壇
本員ハ過日議事進行ノ名
ノ下ニ國務大臣ノ演説ノ甚ダ不親切デア
テ、甚ダ要領ヲ得ザルコトヲ申上ゲテ、丁
寧親切ニ御答辯アルコトヲ要求致シタ
デアリマス、爾來其態度ガ餘リ改マラヌ
云フコトハ、洵ニ遺憾千萬デアリマス、只
今議場ノ模様ヲ見マスルノニ、川崎君ガ電
話事業公債ニ關スル質問ヲセラレテ、其答
辯ハ吾々トシテ満足スルコトガ出來ナイト
云フコトハ申スマデモアリマセウガ、吾々
ハ答辯ノ不十分ナリヤ否ヤニ付テ只今ハ申
スノデハアリマセウガ、最後ニ川崎君ガ電
話事業公債ノ内容ニ關シテ、事業ノ基礎ニ
關シテ所管大臣タル久原遞相ノ答辯ヲ要求
セラレタノデアリマス、然ルニ私之ヲ承
テ居リマスルト、自分ニハ能ク分ラヌカラ
大藏大臣ニ開イテ吳レト云フ答辯デア
ヤニ拜聴致シマシタ、多少言葉ハ間違
テ居ルカモ有ジマセウガ、其趣旨ハ間違
違ヒナイト確信ヲ致シテ居ル、苟モ内閣官
制ヲ設ケテ各省大臣ノ所管事務ヲ定メテ、
而シテ責任ヲ以テ提案ヲセラレタル以上
ハ、假令議員ノ質問ナシト雖モ、其事業公
債ノ數字或ハ内容ニ關シテ詳細ナル説明ヲ
セラレルト云フ事柄ハ、國務大臣トシテ當
然ノ責任デアルト私ハ考ヘマス(拍手)議員
ノ質問ニ對シテ答辯スルコトヲ欲セズ、
若クハ答辯スルコト能ハズ、自分ハ能ク知
ラヌカラ大藏大臣ニ之ヲ問イタラドウカト
云フガ如キ放言ヲ爲スニ至テハ、此衆議
院ノ議場ヲ侮辱シタルモノナリト私ハ斷言
スル(拍手)又如何ニモ自分ノ職責ニ對シテ
不忠實千萬デアルト謂ハネバナラヌ、此自
分ノ所管事務ニ對シテ甚ダ不忠實デアリ、
又吾々此衆議院ニ議席ヲ持テ居ル者ニ對
シテ侮辱ノ態度ヲ執ルト云フ事柄ハ、取
モ直サズ帝國議會ヲ侮辱スルコトニ依
テ、吾々國民ヲ侮辱スルモノデアルト私ハ斷言
シテ置ラス、此案ハ諸君ノ御覽ノ通りニ、
公債三億二千八百萬圓デアルモノヲ五億三
千百三十萬圓ト云フ巨額ノ公債ヲ募ルト云

フコトニスルノデアリマスカラ、公債ノ數
字タテヲ見テモ二億圓以上ノ公債ノ増募ニ
ナルト云フ最も重大ナル問題デアルノデア
ル、斯ノ如キ重大ナル問題ニ對シテ、其所
管大臣ガ其主管ノ事務ニ關シテ、此帝國議
會ノ議場ニ於テ答辯スルコトガ出來ナイト
云フニ至テハ、無能モ亦極マレルモノデア
ルト私ハ思フノデアル(拍手)遞信大臣ハ無
能ニシテ答ヘルコトガ出來ナイノデア
ル、若シ答フルコト能ハザルモノトスレバ
國務大臣タルノ資格ノナイ者デアリマス
カラ、直ニ閣下ニ辭表ヲ提出スルノガ當然
デアルト私ハ考ヘル(拍手)若シ答辯スルコト
ハ出來ルケレドモ、之ヲ大藏大臣ニ讓
テ答辯ヲシナイト云フノデアラナラバ、先刻
申シマス通り甚ダ無責任千萬ナル態度
アル、無責任デアラデモ無能デアラデモ、何
レニシテモ久原遞相ハ到底國務大臣トシテ
輔導ノ重責ヲ全スルコト能ハザルモノ
デアルト私ハ斷言スルノデアル(拍手)隨テ吾
君ハ今後成ベク丁寧親切ナル答辯ヲ要求
シマスルト同時に、久原遞相ハ本日川崎君
ノ質問ニ對シテ(詳細ナルコトハ委員會
開イタル宜イデハナイカ)ト呼フ者アリ)之
ヲ自分ヨリ答フルコト能ハズシテ、大藏大
臣ニ開イテ吳レト云フコトノ答辯ヲ致シタ
ル趣旨ハ一體何處ニ在ルカ、諸君ハ過日來
議長ノ御注意モアリマシテ、議事ノ圓滑ニ
進捗センコトヲ希望セラレテ居ル答デア
ル(拍手)吾々モ何トカシテ議事ノ進行ガ圓滿
ニ行クヤウニ致シタイト云フコトヲ考ヘテ
居ル者デアリマス、ケレドモ……

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス
○横山勝太郎君(續) 國務大臣自ラガ重大
ナル提案ヲ爲シナガラ、之ニ對シテ吾々議
員ノ満足スルヤウナ答辯ヲシナイト云フガ
如キ態度ヲ執ルカラ、益々議場ガ混亂ニ陷
テ、議事ノ進行ヲ阻ルコトガ出來ナイノ
デアリマス(拍手)即チ久原遞相ハ國務大臣ト
シテ資格ノ無イモノデアルト同時に、議場
ノ混亂ニ陷ルト云フ責任ヲ持タネバナラヌ
ト云フコトヲ私ハ茲ニ述ベルノデアリマ
ス、何卒久原遞相ハ堂々ト此席ニモウ一
遍御出ニナッテ、何ガ故ニ斯ノ如キ侮辱ノ態
度ヲ執タカ、何ガ故ニ斯ノ如キ無責任ナ
ル態度ヲ執タカト云フコトヲ、此席ニ於テ
辯明セラレンコトヲ私ハ切ニ希望スル者
デア
○(此時發言スル者多ク議場騒然)
○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマ
ス——青木精一君ヨリ議事進行ニ關シテ
發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許シマ
ス——青木精一君
○(此時發言スル者多ク議場騒然)
○青木精一君 只今横山勝太郎君ヨリシテ
議事ノ進行ニ名ヲ藉リテ、先程ノ遞信大臣
ト川崎君トノ質問應答ノ經過ニ付テ何カ御
意見ヲ御述ニナッテヤウデアリマスルガ、遞
信大臣ガ本案ニ對スル所ノ財源關係ヲ大藏
大臣カラ御聴キ下サイト云フノハ當然デア
ル(拍手)大藏省所管デアラデ、大藏大臣三
忠造氏ノ提案デハナイカ、左様ナ横車ヲ押
シテ、徒ニ議場ヲ混亂セシメントスル諸君
ノ方ガ惡イノデアル、諸君ニ注意ヲ致シマ
スガ、議事ノ進行ヲ阻ラントスルナラ
バ……

○(此時發言スル者多ク議場騒然)
○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマ
ス
○青木精一君(續) 國務大臣若クハ政府委
員ニ質問シタトキニ於テハ、質問者ノ側ニ
於テハ宜シク騒擾ヲ避ケテ清聴ヲ致シ、サ
ウシテ答辯ノ趣旨ヲ徹底セシメルヤウニス
ルノガ、之ガ議場ノ道德デハナイカ(拍手)
殊更ニ事ヲ構ヘテ見當外レノ質問ヲ致シ
テ、ソレニ對シテ大藏大臣ノ所管デア
ラシテ、大藏大臣ノ答辯ヲ聴ケト云フ返事
ヲシタノニ、何ノ理窟ガアッテ、議會生活
ヲ何年カシテ居ラレテ、議會生活ニハ老練
ナル所ノ横山勝太郎君ガ、左様ナル所ノ見
當違ヒノ事ヲ言ウテ、民政黨ノ諸君ハ御互
ニ議事ノ進行ヲ阻止セントスルコトハ、是
ハ議場ノ道德ニ違反スルモノデア
ル、此一言ヲ申上ゲマシテ、斯ル見當違ヒノ發
言ヲシテ、議事ノ進行ヲ故意ニ阻止スルヤ
ウナコトガナイヤウニ御互ニ努メテ行キタ
ス
○(國務大臣久原房之助君登壇)
○國務大臣(久原房之助君) 是ハ財源問題
デゴザイマシタカラ、大藏大臣ニ御聴下サ
イト申シタ次第デアリマス……
○(此時發言者多シ)
○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマ
ス
○國務大臣(久原房之助君)(續) 其内容ニ
付キマシテハ、何レ委員會ノ方デ能ク説明
致シマスル(拍手)
○副議長(清瀬一郎君) 日程第二十五、右
議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議
ト致シマス
第二十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ
委員ノ選舉
○原憲兵衛君 本案ハ議長指名特二十八名
ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
○(賛成ニ贊成)ト呼フ者アリ
○副議長(清瀬一郎君) 原君ノ動議ニ御異
議アリマセウカ
○(異議ナシ)ト呼フ者アリ
○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認
マス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程
第二十六昭和三年勅令第二百二十九號、承
諾ヲ求ムル件ヲ議題ト致シマス——原司法大
臣
第二十六 昭和三年勅令第二百二十九號
(治安維持法中改正ノ件)(承諾ヲ求
ムル件)
朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ
諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ
治安維持法中改正ノ件ヲ裁可シ之ヲ公布
セシム
御名 御璽
昭和三年六月二十九日
内閣總理大臣兼 男爵田中 義一
外務大臣 小川 平吉
鐵道大臣 岡田 啓介
海軍大臣 白川 義則
陸軍大臣

商工大臣 中橋徳五郎
大藏大臣 三土 忠造
農林大臣 山本悌二郎
內務大臣 望月 圭介
司法大臣 原 嘉道
逓信大臣 久原房之助
文部大臣 勝田 主計

勅令第二百九十九號

治安維持法中左ノ通改正ス

第一條 團體ヲ變革スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シタル者又ハ結社ノ役員其ノ他指導者タル任務ニ從事シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ五年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ情ヲ知リテ結社ニ加入シタル者又ハ結社ノ目的遂行ノ爲ニスル行爲ヲ爲シタル者ハ二年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シタル者、結社ニ加入シタル者又ハ結社ノ目的遂行ノ爲ニスル行爲ヲ爲シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

前二項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス
第二條中「前條第一項」ヲ「前條第一項又ハ第二項」ニ改ム
第三條又第四條中「第一條第一項」ヲ「第一條第一項又ハ第二項」ニ改ム
第五條中「第一條第一項」ヲ「第一條第一項又ハ第二項」ニ改ム

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（國務大臣原嘉道君登壇）

○國務大臣（原嘉道君） 諸君、大正十四年法律第四十六號治安維持法第一條が、團體ノ變革ヲ目的トスル秘密結社ヲ組成スル者ニ對シマシテ、科刑ノ宜シキヲ得ナイモノガアリマシテ、我が帝國ノ治安ヲ維持スルニ足ラナイト云フコトハ、曩ニ第五十五議會ニ於キマシテ政府ガ治安維持法中改正法律案ヲ提出スルニ當リテ述べタ通りデアリマスルガ、今茲ニ其要旨ヲ申上ゲマスレバ、抑、大日本帝國ハ萬世一系ノ 天皇之ヲ統治セラレマスルヲ以テ、萬代不易ノ國體ヲ

アルコトハ申ス迄モナイ所デアリマス（拍手）此國體ノ變革ヲ企テマスルノハ、即チ我が國家ヲ滅亡セシメントスルニ外ナラナイモノデアリマス（拍手）是レ帝國トシテ最も恐ルベキ所ノモノデアリマシテ、現行刑法ガ大逆罪叛逆罪ニ對シ、殊ニ極刑ヲ科シテ居リマスルノモ亦之ガ爲デアリマス、併ナガラ國體變革ノ計畫ハ、單リ此種直接ノ暴力的行爲ヲ手段トシテモ、ミニ此ハ止マラナイノデアリマシテ、秘密結社ノ組織ニ依リ、國民ノ思想ヲ腐蝕惡化シ、一兵ニ劔ヲザルモ尙ホ國體ノ瓦解ヲ惹起スベキ手段ニ依ルモノモアルノデアリマス、是ハ思想的內亂罪トモ謂フベキモノデアリマシテ、其恐ルベキコトハ決シテ前者ニ讓ラナイノデアリマス（拍手）而シテ此種ノ結社團體ハ國際的革命ヲ目的ト致シマスル外國團體ト氣脈ヲ通ジマシテ、其隨使ニ甘シ、金匱無缺ノ我が國體ノ崩壞ヲ策畫スルモノデアリマス（拍手）斯ル團體ノ行動ハ實ニ恐ルベキマシテ、又最も惡ムベキ賣國奴ノモノデアリマシテ、其危險ナルコトハ刑法所定ノ外患罪ニ讓ル所ハアリマセヌ（拍手）是ハ即チ思想的外患罪ト謂フテモ宜シイノデアリマス、然ルニ刑法ガ大逆罪、內亂罪及外患罪ニ對シテ極刑ヲ科シテ居リマスルニモ拘ハリマセズ、治安維持法ガ國體變革ヲ目的トスル結社ニ對シテ、僅二十年以下ノ有期刑ヲ以テ致シテ居リマシタノハ、權衡ヲ失スルノ甚シキモノデアリマシテ、斯ノ如クシマシテハ到底我が帝國ノ治安維持ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイノデアリマス、殊ニ未ダ結社ニ加入致シマセヌデモ、結社ノ目的ヲ知ッテ之ガ遂行ノ行爲ヲ爲シマスル者モ、亦加入者ト等シク處罰致シマセヌケレバ、到底斯ル不逞ノ企畫ヲ防止スルコトハ出來ナイノデアリマス、是レ政府ガ治安維持法第一條ノ改正ヲ必要トシタ理由デアリマス、然ルニ第五十五議會ニ於キマシテハ、政府ガ該法律案ノ通過ヲ切望致シマシタルニモ拘ハリマセズ、遂ニ本院ニ於テ審議未了ニ終リマシタ、爾來政府ハ我が國體ノ變革ヲ目的トスル秘密結社ニシテ、第三「インター

ナシヨナル」ノ日本支部デアリ日本共產黨員中、未ダ縛ニ付カヌ者等ノ行動如何ヲ注視シテ居リマシタ所、彼等ハ多數黨員ノ檢舉後ナルニモ拘リマセズ、依然トシテ不逞ノ計畫ヲ遂行セント致シマシテ、黨員以外ノ同主義者ヲ相呼應シテ、益、我が國民中ニ危險ノ思想ヲ普及シ、且ツ其企畫ヲ實行セントスルノ狀況顯然タルモノアルヲ認メマシタ、加フルニ第三「インターナシヨナル」ハ日本共產黨員ノ大檢舉アリタルヲ見マスルヤ、「モスコ」ニ於ケル東洋勤勞者共產大學ノ日本留學生ヲ續々歸朝セシメ、黨ノ組織、整備、擴大ニ努メシムルトノ信ズベキ情報ガアツタノデアリマス、斯ノ如ク現ニ我が國家ノ基礎ヲ破壞スル企圖ヲ實現センルガ如キ場合ニ於キマシテハ、一日モ速ニ適當ナル刑罰法規ヲ定メ、汎ク國民ヲシテ事態ノ重大ナルヲ知ラシメ、苟モ彼等不逞ノ徒ノ煽動誘惑ニ陷ルガ如キコトナカラシメマスルト共ニ、彼等不逞ノ徒ニ對シマシテモ亦一大警戒ヲ與ヘ、反省自覺スル所アラシムルニアラザレバ、國家ノ治安ハ維持出來ナイノデアリマス、特ニ昨午ノ下半期ハ、我が帝國ガ最も嚴肅ニシテ且ツ最も靜謐ナル秩序ヲ要スル時機デアッタト云フコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデアリマシテ、有ユル手段ニ依リマシテ國家ノ治安ヲ維持スルヲ相當トシタノデアリマス、而シテ當時帝國議會ハ開會中デアリマシタカラ、政府ハ憲法第八條ニ依リ、公共ノ安全ヲ保持スル爲メ、緊急ノ必要アル場合ナリト認メマシテ、法律ニ代ルベキ勅令ノ御裁可ヲ得テ、昭和三年六月二十九日其公布ヲ見タノデアリマス、是ガ即チ茲ニ議題トシテ帝國議會ノ承認ヲ求ムル勅令デアリマスカラ、何卒御審議ノ上承諾ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス（拍手）

○副議長（清瀬一郎君） 質問ヲ許シマス

——武富濟君

○武富濟君登壇）
（武富濟君） 諸君、緊急勅令ヲ以テ死刑ヲ科スルトノ我國空前ノ立法ガ吾々ヲ驚カシ

タノデアリマス、世論囂々トシテ此問題ニ付テ論議ヲ繰返サレタノデアリマシタガ、結局緊急勅令ト相成テ發布セラレテ、本日其承諾ヲ求ムベク提案セラレタニ付キマシテハ、只今原法相ノ長々シキ御説明ヲ伺ヒマシタガ、吾々未ダ承服シ難キ點ガ多クアルノデアリマス、諒解ヲ得ベキ程度ニ質問ヲ致シマスルカラ、何卒御親切ナル御答辯ヲ煩シタイノデアリマス、若シ事ガ總理大臣ニ關係スル問題デアリマシタナラバ、願クハ首相ニ於テモ御答辯ヲ願ヒタイト存ジマスル、第一點ト致シマシテ、實質の方面ヨリ觀察シタル質疑ヲ試ムルノデアリマスルガ、此治安維持法ト刑法第七十七條並ニ七十八條ノ關係ガドウナルノデアリマス、刑法第七十七條ノ第一項ハ御承知ノ通り「政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝廷ヲ紊亂スルコトヲ目的トシテ暴動ヲ爲シタル者ハ內亂ノ罪ト爲シ」云々而シテ其第二號ニ「謀議ニ參與シ又ハ群衆ノ指揮ヲ爲シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ禁錮」云々ト規定サレタデアリマス、此內亂罪ニ於ケル所ノ邦土ノ僭竊ト云ヘルコト、又朝廷ノ紊亂ト云ヘルコト、是ハ即チ治安維持法ニ謂フ國體ノ變革ト全ク同一ノ性質ノモノデアリカ、相違點ガアルカ、先ヅ伺ヒタイノデアリマス、若シ其內容ガ同ジモノデアリマスルナラバ、刑法ノ上ニ於テ「刑罰ノ上ニ於テ甚ダ不均衡ナル結果トナリハセヌカト御尋ヲシタイノデアリマス、即チ內亂罪ノ謀議參與若クハ群衆指揮ノ如キモノハ、最モ重クシテ、無期デアリマス、治安維持法ハ死刑デアアル、此處ニ此區別ヲ設ケタルコトガ私共了解ニ苦シム點デアリマスルカラ、此點ニ付テ御説明ヲ煩シタイ、次ニ刑法第七十八條トノ關係デアリマス、七十八條トノ均衡如何ヲ考ヘマスルノハ、即チ「內亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス」トアル、一年以上十年以下、最長十年デアリマス、併ナガラ言論ナリ、文書ナリ、或ハ對談ナリ、秘密ノ往復ナリ、意見ノ交換ナリト云フコトニ依リテ、國體ヲ破壞セントスル結社ヲ組織スル

ト云フト、直ニソレガ死刑ト云フコトハ、内亂ノ豫備陰謀十年デアリ、コナラノ言論文書ヲ以テスルノハ死刑デアルト云フ、其區別ガ餘リニ懸ケ難レテ居リマシテ、吾ニハ成程御尤ト納得ガ出来ヌノデアリマスルカラ、此點十分ノ御説明ヲ煩シタイノデアリマス、内亂罪ニ於テハ暴動ガ手段デアル、治安維持法ニ於テハ言論文書ガ普通ノ手段デアリマセウ、暴動ヲ以テ手段トスルモノ、謀議ニ與テ方ハ十年デアルガ、言論、文書、集會、相談決定シタ者ハ死刑デアルト云フコトノ根本ノ理由ハ、甚ダ私ニハ不明瞭デアリマス、而シテ治安維持法ノ團體變革ノ目的ヲ以テスル結社ト云フコトハ、團體ノ變革其レ自身デナコトハ申スマデモナシ、團體ノ變革ヲ目的トシテ結社ヲ造ルト云フコトデアリマシテ、團體ノ變革其モノデナコトハ申スマデモナシ、即チ團體變革ノ既遂デハナイ、團體變革ノ手段デアリテ、其階梯デアルニ過ギマセヌ、ソコデ内亂ノ豫備陰謀ト云フモノハ、法律上ヨリ見テ全然性質ガ同一デアルト断定スルコトハ差支ガナカラウト考ヘル、即チ内亂罪ノ謀議以上——無期懲役ニ當テ居ル所ノ内亂罪ノ謀議以上ニ出ル所ノ犯罪行為デハナイト申サナケレバナラス、之ニ極刑ヲ科スルト云フコトハ、私共甚ダ理解ニ苦ミマス、只今思想の外患罪デアルトカ、或ハ思想的内亂罪デアルトカ、新シキ形容サレタル巧ナル言葉ヲ以テ其邊ヲ説明ナサラント御試ミニナリマシタケレドモ、言葉ガ巧デアレドモ、形容ガ上手デアレドモ、ソレハ言葉ノ上ノ技術デアリマシテ、法律根本ヲ解釋シテ居ル所ノ説明トシテ、吾等ハ之ヲ受取ル譯ニ參ラヌノデアリマス(拍手)若シ團體ヲ變革致ス者ガ、ソレヲ目的トスル者ガ兵糧ヲ集メル、鐵砲ヲ集メル、或ハ火藥ヲ集メル、彈丸ヲ集メル、斯ノ如キ用意ヲシテ、準備ヲシテ、豫備ヲシタト云フ場合ハ、即チ内亂罪ニ據リマスノデアリマスカラ、懲役十年デアリマセウ、此兵器彈藥ヲ集メタ所ノ大ソレヲ行爲、ソレハ豫備デアルガ故ニ、是ハ懲役十年デアル、併ナガ

ラ兵糧モ集メズ、兵器彈藥モ集メズニ、言論、文書、集會ノ秘密ノ會合ニ依テ之ヲヤルト云フト、直ニ是ガ死刑トハ、學識上吾ニハドウシテモ受取ルコトガ出来ヌ議論デアリマス(拍手)此釋明ヲ求メタイノデアリマス

〔此時發言スル者アリ〕
○副議長(清瀬一郎君) 靜ニ願マス
○武富濟君(續) 次ニ陪審法ニ於ケル本件——治安維持法ト他ノ法律トノ關係如何ト云フ點デアリマス、刑法ノ第二編第一章乃至第四章並ニ第八章、是ハ大逆罪、内亂罪、外患ニ關スル罪、國交ニ關スル罪、是ハ申ス迄モナク大審院ノ特別權限ニ屬シテ居ル所ノ犯罪デアル、隨テ是ハ陪審ニ付スルコトガ出来ヌコトニ定メラレテアリマス、司法大臣ハ此團體變革ヲ目的トスル結社ヲ組織スルコト、是等ノ罪ト比較シテ、決シテ輕クハナイ、同等ノ罪質デアルカラ云々ト仰セニナリマシタ、然ラバ何故ニ刑事訴訟法ヲ改正シテ、大審院ノ特別權限ニ付セシメナイノカ、其理由ガ不明瞭デアリマス、大審院ノ特別權限ノ事件ハ陪審ニ付セラレマセヌ、併ナガラ治安維持法ノ方ハ、普通ノ手續ニ依テ三年以上ノ罪デアリマスカラ、是ハ當然陪審ニ付セナケレバナラスコトニナル、然ラバ治安維持法ノ目的トセラレタ所ノ團體變革スル目的ヲ以テスル結社行為ハ大逆罪ヨリ輕イノデアリマスカ、内亂罪ヨリ輕イノデアリマスカ、外患ニ對スル罪、國交ニ關スル罪ヨリ輕イト思召サレテ居ルノデアルカ、陪審ニ付スルコトヲ許シテ居ル所ヲ見ルト、輕ク取扱ハレテ居ルヤウデアル、然ルニ死刑ヲ以テ臨マレル所ヲ見レバ、同等ニ取扱ハレテ居ルヤウデアル、此邊ノ區別ガ甚ダ不明瞭デアル、其區別ハ何デアルカ、御説明ヲ煩シタイ、第二點ニ於キマシテハ、形式的ノ方面ヨリ質疑ヲ試ミタイ、嚴格ニ考ヘマスルト、此緊急勅令ハ憲法違反デハナイカト存ズル疑ガアリマス、憲法違反ナリト斷定ハ致シマセヌガ、憲法違反ナリト疑ハ餘地ガ十二分ニアル、ソコデ伺ヒタイ第一點ハ、緊急勅令ハ

議會開會中ニ臨時緊急ノ必要ガ突發シタル特殊ノ場合ニノミ發シ得ル所ノ、非常例外ノ立法デアルト云フコトハ、申ス迄モナシ、然ルニ臨時緊急ノ必要トハ何デアルカ、是ハ即チ其必要ナルコトガ目前焦眉ノ急ニ迫テ居リマシテ、議會ノ開會ヲ待ツ餘格ガナイ場合デアル、第二ハ、前議會ノ開會後ニ豫期セザリシ所ノ突發事件ガ發生シタル場合デアル、所ガ本件ノ場合ニ於キマシテハ、此二ツノ要件ガ全然備テ居ラナイ、政府ハ故ラニ誇大ニ之ヲ吹聴致シマシテ、新聞ナドニ盛ニ宣傳ヲシテ、國家ガ今ニモ滅亡スルガ如キ大宣傳ヲ試ミテ居ラナイデアリマス、然ラバ其目前焦眉ノ突發事件トハ何デアリマセウ、ドウ云フコトガアリマシタカ、一向ニ革命ガ起リサウニモナシ、團體變革ノ烽火ガ揚テ居ルト云フ譯デモナイ、竹槍旗ノ暴徒ガ各所ニ徘徊シテ居、タト云フ事態モナシ、豫期シテ居ラヌ突發事件ト云フモノ、認ムベキモノハ一モ無イデハアリマセヌカ、昨年六月中ニ於ケル內務省ノ聲明書ニ依ルトス様ニナテ居ル議會開會後各地デ發見セラレタル證據ニ依レバ、共產黨員ハ議會開會中ヨリ今日ニ至ル迄、全國革命ナル不逞ノ企圖ヲ遂行スル爲メ、各種ノ恐ルベキ行動ヲ續ケ居ルコトハ確實デアル、爲ニ第三師團ノ出兵ニ際シテモ、直接ニ帝國ノ軍隊ヲ攪亂セントスル不逞ノ行爲ヲ敢テスル者ヲ出スニ至テタノデアル」初メノ言出シガ甚ダ大衆ヲ驚カシマシテ、具體的ノ例證ハ貧窮極マルデハアリマセヌカ、全國革命ナル不逞ノ企圖ヲ遂行スル爲メ、各種ノ恐ルベキ行動ヲ續ケ居ルコトヲ呼號シナカ、他面第三師團ノ出兵ニ際シ、軍人ニ「ボスター」ヲ配タ者ガアル、宣傳「ビラ」ヲ配タ者ガアルト云フニ至テハ、何ゾ初メニ人ヲ驚カスノ甚シクシテ、結論ノ證據ガ餘リニ貧窮デアルト言ハザルヲ得ヌ、實ニ滑稽千萬ノコトデアリマス、軍隊ニ社會主義者等ガ、不逞ノ輩ガ、宣傳「ビラ」ヲ撒クナドト云フ事柄ハ、二十年モ前カラ盛ニ行ハレテ居ルコトデアリマシテ、何モ原若ガ司法大臣トナラレタ後、特別議

會ガ終タ後、通常議會ガ来ナイ中ニ、天カラ降テ湧イタト云フヤウナ問題デモ何デモナイ、——デ、普通巡査ガ……
〔——トハ何ダニ怪シカラヌコトヲ言フナ——ト呼フ者其他發言スル者アリ議場騷然〕

○副議長(清瀬一郎君) 靜ニ願マス
○武富濟君(續) 社會主義者等ガ……
〔發言スル者多ク議場騷然〕
○副議長(清瀬一郎君) 此際一言致シマス、今質疑者ノ演說中ノ言葉ニ付テ、各方面ヨリ異議ガ起テ居ルヤウデアリマス、言葉ハ前後ヲ通ジテ見ナケレバ分リマセヌカラ、議長ハ速記ヲ調べタ上然ルベク處理致シマス、又演說者ハ續イテ其言葉ノ意味ニ付テ釋明シツ、アル際デアリマス、冷靜ニ御聽キヲ願ヒマス

〔此時發言スル者多ク議場騷然〕
○副議長(清瀬一郎君) 尙ホ一言致シマス——尙ホ一言致シマス
〔退場ヲ命ジロ——ト呼フ者其他發言スル者多ク議場騷然〕
○副議長(清瀬一郎君) モウ一言致シマス——諸君若席ヲ願ヒマス——諸君——尙ホ一言致シマス、議長ノ宣告ヲ御聽キナサ

イ
〔帝國議會ヲ何ト心得ル「宣傳ビラヲ撒イタコトガ——トハ何ダニ退場ヲ命ジロ——ト呼フ者アリ議場騷然〕
○武富濟君(續) 釋明ヲスルカラ御靜ニ願ヒマス、釋明ヲシマス……
〔發言スル者多ク議場騷然〕
○副議長(清瀬一郎君) 尙ホ私ヨリ一言致シマス(此時發言スル者多シ)本案ハ國家ノ爲ニ……(發言者多ク議場騷然)本案ハ國家ノ爲ニ實ニ重要ナル案件デアリマス、故ニ冷靜ニ御審議ヲ願ハナケレバナラスト考ヘ

議會開會中ニ臨時緊急ノ必要ガ突發シタル特殊ノ場合ニノミ發シ得ル所ノ、非常例外ノ立法デアルト云フコトハ、申ス迄モナシ、然ルニ臨時緊急ノ必要トハ何デアルカ、是ハ即チ其必要ナルコトガ目前焦眉ノ急ニ迫テ居リマシテ、議會ノ開會ヲ待ツ餘格ガナイ場合デアル、第二ハ、前議會ノ開會後ニ豫期セザリシ所ノ突發事件ガ發生シタル場合デアル、所ガ本件ノ場合ニ於キマシテハ、此二ツノ要件ガ全然備テ居ラナイ、政府ハ故ラニ誇大ニ之ヲ吹聴致シマシテ、新聞ナドニ盛ニ宣傳ヲシテ、國家ガ今ニモ滅亡スルガ如キ大宣傳ヲ試ミテ居ラナイデアリマス、然ラバ其目前焦眉ノ突發事件トハ何デアリマセウ、ドウ云フコトガアリマシタカ、一向ニ革命ガ起リサウニモナシ、團體變革ノ烽火ガ揚テ居ルト云フ譯デモナイ、竹槍旗ノ暴徒ガ各所ニ徘徊シテ居、タト云フ事態モナシ、豫期シテ居ラヌ突發事件ト云フモノ、認ムベキモノハ一モ無イデハアリマセヌカ、昨年六月中ニ於ケル內務省ノ聲明書ニ依ルトス様ニナテ居ル議會開會後各地デ發見セラレタル證據ニ依レバ、共產黨員ハ議會開會中ヨリ今日ニ至ル迄、全國革命ナル不逞ノ企圖ヲ遂行スル爲メ、各種ノ恐ルベキ行動ヲ續ケ居ルコトハ確實デアル、爲ニ第三師團ノ出兵ニ際シテモ、直接ニ帝國ノ軍隊ヲ攪亂セントスル不逞ノ行爲ヲ敢テスル者ヲ出スニ至テタノデアル」初メノ言出シガ甚ダ大衆ヲ驚カシマシテ、具體的ノ例證ハ貧窮極マルデハアリマセヌカ、全國革命ナル不逞ノ企圖ヲ遂行スル爲メ、各種ノ恐ルベキ行動ヲ續ケ居ルコトヲ呼號シナカ、他面第三師團ノ出兵ニ際シ、軍人ニ「ボスター」ヲ配タ者ガアル、宣傳「ビラ」ヲ配タ者ガアルト云フニ至テハ、何ゾ初メニ人ヲ驚カスノ甚シクシテ、結論ノ證據ガ餘リニ貧窮デアルト言ハザルヲ得ヌ、實ニ滑稽千萬ノコトデアリマス、軍隊ニ社會主義者等ガ、不逞ノ輩ガ、宣傳「ビラ」ヲ撒クナドト云フ事柄ハ、二十年モ前カラ盛ニ行ハレテ居ルコトデアリマシテ、何モ原若ガ司法大臣トナラレタ後、特別議

會ガ終タ後、通常議會ガ来ナイ中ニ、天カラ降テ湧イタト云フヤウナ問題デモ何デモナイ、——デ、普通巡査ガ……
〔——トハ何ダニ怪シカラヌコトヲ言フナ——ト呼フ者其他發言スル者アリ議場騷然〕
○副議長(清瀬一郎君) 靜ニ願マス
○武富濟君(續) 社會主義者等ガ……
〔發言スル者多ク議場騷然〕
○副議長(清瀬一郎君) 此際一言致シマス、今質疑者ノ演說中ノ言葉ニ付テ、各方面ヨリ異議ガ起テ居ルヤウデアリマス、言葉ハ前後ヲ通ジテ見ナケレバ分リマセヌカラ、議長ハ速記ヲ調べタ上然ルベク處理致シマス、又演說者ハ續イテ其言葉ノ意味ニ付テ釋明シツ、アル際デアリマス、冷靜ニ御聽キヲ願ヒマス

〔此時發言スル者多ク議場騷然〕
○副議長(清瀬一郎君) 尙ホ一言致シマス——尙ホ一言致シマス
〔退場ヲ命ジロ——ト呼フ者其他發言スル者多ク議場騷然〕
○副議長(清瀬一郎君) モウ一言致シマス——諸君若席ヲ願ヒマス——諸君——尙ホ一言致シマス、議長ノ宣告ヲ御聽キナサ

イ
〔帝國議會ヲ何ト心得ル「宣傳ビラヲ撒イタコトガ——トハ何ダニ退場ヲ命ジロ——ト呼フ者アリ議場騷然〕
○武富濟君(續) 釋明ヲスルカラ御靜ニ願ヒマス、釋明ヲシマス……
〔發言スル者多ク議場騷然〕
○副議長(清瀬一郎君) 尙ホ私ヨリ一言致シマス(此時發言スル者多シ)本案ハ國家ノ爲ニ……(發言者多ク議場騷然)本案ハ國家ノ爲ニ實ニ重要ナル案件デアリマス、故ニ冷靜ニ御審議ヲ願ハナケレバナラスト考ヘ

議會開會中ニ臨時緊急ノ必要ガ突發シタル特殊ノ場合ニノミ發シ得ル所ノ、非常例外ノ立法デアルト云フコトハ、申ス迄モナシ、然ルニ臨時緊急ノ必要トハ何デアルカ、是ハ即チ其必要ナルコトガ目前焦眉ノ急ニ迫テ居リマシテ、議會ノ開會ヲ待ツ餘格ガナイ場合デアル、第二ハ、前議會ノ開會後ニ豫期セザリシ所ノ突發事件ガ發生シタル場合デアル、所ガ本件ノ場合ニ於キマシテハ、此二ツノ要件ガ全然備テ居ラナイ、政府ハ故ラニ誇大ニ之ヲ吹聴致シマシテ、新聞ナドニ盛ニ宣傳ヲシテ、國家ガ今ニモ滅亡スルガ如キ大宣傳ヲ試ミテ居ラナイデアリマス、然ラバ其目前焦眉ノ突發事件トハ何デアリマセウ、ドウ云フコトガアリマシタカ、一向ニ革命ガ起リサウニモナシ、團體變革ノ烽火ガ揚テ居ルト云フ譯デモナイ、竹槍旗ノ暴徒ガ各所ニ徘徊シテ居、タト云フ事態モナシ、豫期シテ居ラヌ突發事件ト云フモノ、認ムベキモノハ一モ無イデハアリマセヌカ、昨年六月中ニ於ケル內務省ノ聲明書ニ依ルトス様ニナテ居ル議會開會後各地デ發見セラレタル證據ニ依レバ、共產黨員ハ議會開會中ヨリ今日ニ至ル迄、全國革命ナル不逞ノ企圖ヲ遂行スル爲メ、各種ノ恐ルベキ行動ヲ續ケ居ルコトハ確實デアル、爲ニ第三師團ノ出兵ニ際シテモ、直接ニ帝國ノ軍隊ヲ攪亂セントスル不逞ノ行爲ヲ敢テスル者ヲ出スニ至テタノデアル」初メノ言出シガ甚ダ大衆ヲ驚カシマシテ、具體的ノ例證ハ貧窮極マルデハアリマセヌカ、全國革命ナル不逞ノ企圖ヲ遂行スル爲メ、各種ノ恐ルベキ行動ヲ續ケ居ルコトヲ呼號シナカ、他面第三師團ノ出兵ニ際シ、軍人ニ「ボスター」ヲ配タ者ガアル、宣傳「ビラ」ヲ配タ者ガアルト云フニ至テハ、何ゾ初メニ人ヲ驚カスノ甚シクシテ、結論ノ證據ガ餘リニ貧窮デアルト言ハザルヲ得ヌ、實ニ滑稽千萬ノコトデアリマス、軍隊ニ社會主義者等ガ、不逞ノ輩ガ、宣傳「ビラ」ヲ撒クナドト云フ事柄ハ、二十年モ前カラ盛ニ行ハレテ居ルコトデアリマシテ、何モ原若ガ司法大臣トナラレタ後、特別議

會ガ終タ後、通常議會ガ来ナイ中ニ、天カラ降テ湧イタト云フヤウナ問題デモ何デモナイ、——デ、普通巡査ガ……
〔——トハ何ダニ怪シカラヌコトヲ言フナ——ト呼フ者其他發言スル者アリ議場騷然〕
○副議長(清瀬一郎君) 靜ニ願マス
○武富濟君(續) 社會主義者等ガ……
〔發言スル者多ク議場騷然〕
○副議長(清瀬一郎君) 此際一言致シマス、今質疑者ノ演說中ノ言葉ニ付テ、各方面ヨリ異議ガ起テ居ルヤウデアリマス、言葉ハ前後ヲ通ジテ見ナケレバ分リマセヌカラ、議長ハ速記ヲ調べタ上然ルベク處理致シマス、又演說者ハ續イテ其言葉ノ意味ニ付テ釋明シツ、アル際デアリマス、冷靜ニ御聽キヲ願ヒマス

マス、而シテ演説者又ハ答辯者ノ言葉ト云フモノハ、前後ヲ通ジテ含味シナケレバナラヌノデアリマス

〔此時發言スル者多ク議場騷然〕

○副議長(清瀬一郎君) 故ニ議長ハ速記録ヲ調査シテ上デ然ルベク措置致シマス

〔演説ノ全體ヲ聴カナクテモ其文句自體ガ惡イシトハ、トモヘ何ダ〕「取消セ」(取消セ)ト呼ヒ其他發言スル者多ク議場騷然

○武富清君(續) 諸君ノ誤解ヲ招イタヤウデアリマスガ...

〔議場騷然〕

○武富清君(續) 議長ノ注意ガアリマシテ、誤解ヲ招ク如キ言葉デアリカラ取消シテ然ルベシト云フ注意ガアリマシタ、異議ナク取消シマス(拍手)又其當時ノ原法相ノ聲明書ニハ斯様ニアル「彼等ハ急ニ國體ノ變革ヲ目標トシテ大膽不敵ノ賣國ノ運動ヲ繼續シ、我國ノ治安ヲ根本的ニ破壊セシメト努ムル虞アルコト明ナリ」我國ノ治安ヲ根本的ニ破壊セシメト云フヲ努ムルコトノ虞ガアルコトガ明ダト云フ、甚ダ最後ガ微温的デアリマセヌカ、一體僅ナ無政府、共產主義者ガ蠢動シテ居ルコトカ、宣傳ビラヲ撒キ散ラストカ、各所ニ秘密ナル行動ヲスルコト云フコトハ、固ヨリ之ヲ根絶スルノニ努力スルノハ當然ノ事デアリマスケレドモ、左様ニ神經過敏ニナツテ、今ニモ國體ノ治安ヲ根本的ニ破壊サレルコトカ、容易ナラザル國難來デアルトカ御考ニナルト云フコトハ、政府自身ガ我が尊嚴ノ宇内ニ冠絶シテ居ル我が國體ヲ侮辱スルモノデアリマス(拍手)日本ノ國體ハ左様ニ貧弱ナモノデハナイ(拍手)一體斯様ナ聲明書ヲ新聞ニ發表シテ仰々シク天下ニ呼號致シマスノハ、我が國家ノ威嚴ヲ外國ニ失墜スルコトニ御氣ガ付カヌデアリマス(拍手)昨秋ノ御盛儀タル御大典ヲ御覽ナサイ、極度ニ日本國民ハ、尊皇愛國ノ熱誠ヲ傾ケ盡シテ居ル、彼ノ有様ヲ見マシテハ、到底斯様ナル彈壓ノ惡法ヲ行フガ如キ必要ト、理由ハ何處ニアルカト吾々ハ考ヘル(拍手)特別ノ

重大事變ガ突發致シテ居ラヌノニ、緊急勅令ニ依テ人ノ生命ヲ奪フ死刑ヲ行フト云フガ如キコトヲ決定サレルノハ、寧ろ皇室ノ尊嚴ト云フモノヲ冒瀆シテ、我が日本國家ノ國體ノ光輝ト云フモノヲ無ニシテ、日本ノ國威ヲ諸外國ノ間ニ失墜スルノ愚ナル結果ニナルト存ズルノデアリマス、斯ノ如ク考ヘマスト云フト、特別ノ突發事變ガナキニ拘ラズ、緊急勅令ヲ發布シタト云フコトハ、形式上ハ兎ニ角ト致シマシテ、實質的ニ之ヲ見ルナラバ、明ニ憲法ノ違反デアリテ、憲法ノ精神ニ違反デアリテ、國家ノ大典ヲ蹂躪スル所ノ立法デアルト存ズルノデアリマス、諸君ハ憲法義解ヲ御一讀ニナツタコトガアラウト存ジマスガ、憲法義解ニハ明ニ此點ニ付テ嚴重ナル解釋ヲ注意ヲ給シテ居リマス「政府ニシテ此ノ特權ニ託シ容易ニ議會ノ公議ヲ回避スルノ方便トシテ又以テ容易ニ既定ノ法律ヲ破壞スルニ至ルコトアラハ憲法ノ條規ハ亦空文ニ歸シ一モ臣民ノ爲ニ保障ヲ爲スコト能ハサラムト云フモノハ、法律ノ光ト云フモノハ、法律ノ値打ト云フモノハ、國民多數ノ代表者ガ國民多數ノ意見ニ依テ決定シタル所ニ存在シテ居ルノデアリテ、特別ノ少數者ガ自分ノ得手勝手ニ考ヘテ作タヤウナモノデアリマシタナラバ、日本國民ハ斷ジテ之ニ信頼ハ致サナイノデアリマス、デアルカラ私ガ聞イタノハ、何故ニ臨時議會ノ召集モ爲サラズ、特別議會ノ延會ノ奏請ヲモ總理大臣ヨリ爲サラナカッタコト云フ點デアリマス、特別議會ニ於テ法相ハ斯様ニ申シテ居ラレル、共產黨ノ活動ハ今熾ニヤツテ居ルガ、將來モ續クデアラウ、又宣傳ビラナドモ撒クデアラウ、デアルカラ之ヲ取締ル爲ニ此治安維持法ナルモノヲ制定セントシテ提案シタノダト言ハレル、將來モ彼等ノ行動ハ續クデアラウ、宣傳「ビラ」ヲ撒クデアラウ、デアルカラ之ヲ取締ラナケレバナラヌ、即チ事實ガ將來ニ繼續スルコトアルベキヲ豫見シテオキデニナル、共產黨ノ事件ト云フモノガ起タバカリデナク、將來ニ

斯様ナル共產黨事件ノ行爲ガ繼續スルコトデアラウト云フ豫見ヲ致シテオキデニナツタナラバ、何ガ故ニ議會延會ノ奏請ヲスルコトガ出來ナカッタノデアルカ、甚ダ異様に存ズル、之ヲ奏請ヲ爲サラズニ二週間ノ議會ヲ六日之間停會ノ奏請ヲ爲サツテ置イテ、其議會ガ開ダテ後ニ急ニ緊急勅令ヲ發布スルコト云フヤウニ奏請ヲ爲サツテ置イテ、コトニ付テハ、非常特別ナル原因ノ存在スルコトヲ必要トシマス、ドウ云フ原因ガ生ジマシタ、先刻、原法相ハ聲ヲ高クシテ昨秋一代ノ御盛儀タル問題モアッタノデアリマスカラト仰セニナリマシタガ、是ハ寧ろ、聖德ヲ傷ケルモノデアッテ

天皇陛下ノ御大典御即位ノ大禮ガ行ハセラル、爲ニ、國民ヲ威嚇シテ秘密結社ヲスレバ死刑ニサレルト云フコトヲ發布スルノハ、上御一人ノ聖德ヲ傷ケル所以デアルト謂ハナケレバナラヌ、緊急勅令ヲ以テ警察取締ノ具ニ供シテハ相濟マスノデアリマス、ドウ云フ事實ガアル、議會ノ延會ノ奏請モ出來ナイ、スル必要ガナイ、而シテ行爲ハ將來ニ繼續スルデアラウト知リナガラ、一向延會ノ奏請ガナカッタ、而シテ臨時議會ヲ召集スル程ノ必要モナイ、ソコデ議會ガ濟ンデカラ急ニ緊急勅令ヲ云フ特別ノ非常立法手段ニ依ツテ、甚ダ狡猾ナル手段ヲ執ラレタト云フコトヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、原法相ノ聲明書ノ記載事實ト云フモノヲ見マシテ、突發的ノ急變事アルヲ見ラレタノデアリ、第三師團ノ兵士ニ宣傳「ビラ」ヲ配ツ、普通アリ勝チノコトデアラ、アレハ突發事變ト認メタノダ、ソレガ大問題デアルト御認ニナツタナラバ、臨時議會ヲ何故ニ召集セラレナカッタト云フコトヲ承ラザルヲ得ナイノデアリ、事件ガ繼續シテ居ルト見レバ議會ハ延會スベシ、突發ノ急變事ガ發生シタトシタナラバ臨時議會ヲ召集スベシ、頗ル明瞭デアリマセヌカ、第二前例モアルコトデアリ、僅カ十日間モスレバ議會ノ召集ガ出來ルノデアリマス、イト易イコトデアリ、此手段ヲ執ラナカッタト云フコトガ甚ダ異様に感ズル、御説明ヲ

承リタイノデアリマス、次ニハソレ程ノ重大事ト見テ緊急勅令デナケレバナラヌ程ノ事件デアルトスルナラバ、何ガ故ニ議會開會後數十日ノ間、時間ヲ經過セラレタノデアルカ、モトモ急遽迅速ニ取計ルベキ筈デアリ、五十日モ六十日モ打チヤラカシテ置イテ、後ニナツテ緊急突發ノ事件ガアルノダト云フ號令ヲ掛ケテ居ルバカリデアッテハ、吾ハ承服ガ出來ナイノデアリマス、眞偽ハ固ヨリ存ジマセヌガ、世間傳アル所ニ依レバ、原氏ハ頗リニ早く出シタイト云フタノデアルガ、折惡ク縣會議員ノ選舉ガアツテ、六月十日ガ選舉デアッテ、十一日ガ開票日デアルカラ、ソレノ濟ンダ後ニシテ貴ヒタイト云フ諸君ガ要求シタ爲ニ、已ムヲ得ズ原君ガ延シタト云フコトデアリマス、果シテ是ガ事實ナラバ奇怪千萬デアリマス、政友會内閣ハ國家ヨリ政友會ヲ重シトシテ居ルモノト言ハナケレバナラヌ、天下ノ治安ヨリハ政友會ノ治安ノ方ヲ重シテ居ルモノト言ハナケレバナラヌ、サウ云フ事實ガアルノカナイノカ承リタイノデアリマス、ソコデ議會ヲ召集セズ、緊急勅令ヲ數十日ハ後ニ發布ノ奏請ヲスル位ノ暇ガアルナラバ、五十日、六十日ノ暇ヲ潰シテ宜イ程緩漫ナル狀態デアッタナラバ、何故六ヶ月先キノ僅カ半年先キノ通常議會迄待タナカッタノデアルカ、待ナイ理由ハナイデアリマセヌカ、甚シク其點ガ不明瞭デアリマス、一體政府ハ議會ヲ甚ダ恐レラレルノデ、議會ヲ恐レルコト虎ノ如シト言ハナケレバナラヌ、曩ニハ議會否認ノ聲明ヲ爲シタ時代錯誤ノ大臣ヲ持ツテ居ル、僅ニ二週間ノ會期ヲ定メラレタル議會ノ奏請ヲシテ、其間六日間停會ヲ命ジテ居ラレル、何故ニ議會ヲ斯様ニ回避サレルノデアリマス、怪獸ハ日光ヲ恐レル、能ク暗夜ヲ走ルモノハ、暗闇ヲ走ル事ノ上手ナモノハ光ヲ恐レマス、弱點ナルモノハ天下ノ正義公論ノ府ヲ恐レルト言ハナケレバナラヌ、弱點ガアルカラ、素破抜カレルカラ、完膚ナキ迄ノ攻撃ヲ恐レルカラ、成ベク觸ラヌ神ニ崇リナシト卑怯ニモ逃去シテ居ルニ相違ナイ其現レ

治安維持法ノ緊急勅令ノ發布ニナリタニ
相違ナシト思ヒマス、次ニ斯ル嚴罰主義ヲ
以テ——斯ル嚴罰主義ヲ以テ、人ノ生命ヲ
奪フト云フガ如キ立法ノ手段ニ依リテ、
治安維持ノ目的ガ達セラレカドウカト云
フコトヲ何テ見タイ、一體餘リニ壓迫ヲス
ルト人間ノ感情ハ反撥スルモノデアリマ
ス、堰ケバ溢ル、モノデアリマス、殊ニ昨
秋御大典ノ時ニ畏クモ恩赦ノ恩命サヘ下サ
レマシテ、既決ノ犯罪人ニ對シテサヘ減刑
ノ恩典ガアツタト云フ年柄デハアリマセヌ
カ、然ルニ何ゾヤ爲政者ハ聖恩ト背馳スル
行動ニ出テ嚴罰主義ヲ以テ、七千万民衆ニ
臨マントシテ居ル、彼等無政府共產主義者ノ
心事ナリ態度ナリガ怪カラヌト云フコトハ
私モ認メルノハ勿論ノ話デアリマス、併ナガ
ラ唯結社ヲシタト云フタケデ、懲役十年ノ
モノヲ急ニ死刑ニスルト云フコトニナリマ
スルト、壓迫スレバ、壓迫スル程反撥シテ來
ルト云フ、此人間ノ感情ト云フモノ、働
解セザル迂闊ナル立法デアルト申サナレ
バナラス、一體原嘉道氏ハ多年民間ニ居ラ
レタル辯護士デアル、人權擁護ノ急先鋒シ
一人トシテ検事局ニ向テ其權力ニ反撥シ、
例ノ豚箱事件ニ就テハ、友人ヲ救フベク大
阪ニ走り、朴烈問題ニ就テハ、唯寫眞ノ問
題位ニ餘力ヲ入レラレテ、民權擁護、官
權ノ壓迫排撃ト云フコトニ向テハ十二分
ニ努力セラレタ人デアアル、然ルニ地位ガ變
テ司法當局ノ首班者トナラレト云フト、
長年ノ民權擁護論、所謂其一枚看板ヲ直ニ
擲テ、彈壓政策ヲ執テ國民ニ向ハントス
ルノハ、一體ドウ云フ心理的變化デアアルカ、
甚ダ諒解ニ苦ミマス(拍手)惟フニ原
法相御自身ノ頭カラ出デタニ非ズシ
テ、言フニ言ハレヌ他ノ壓迫ガ加ハ
タノデアアラウカト御察シテ申上デタイ
ト、斯ウ考ヘルノデアアリマス(拍手)而シテ
此緊急勅令案ニ對スル世間ノ非難ト云フモ
ノハ、驚々タルモノデアアルガ、原氏ハ一體
之ヲ何ト御解釋ニナシテ居ルノデアアリマ
スカ、各政黨ハ皆反對シテ居ル、各政黨ハ皆
其當時ハ反對ヲシテ居タ、政友會モ大反

對デアツタデアリマセヌカ(拍手)現ニ彼
處ニ居ラレル前田法制局長官ハ、法制局ノ
審議ノ結果ヲ齎シテ、原法相ヲ往訪シテ、
連モアノ治安維持法ハ通過致シマセヌカラ、
御撤回ニナタラト申込シデ居ラレル事實
ガアルデアアリマセヌカ(拍手)是ハ政友會
ノ諸君ハ辯解ガ出來マスマイ、ソコデ小川
鐵相ガ與黨取鎮メ方ノ鎮撫役トナッテ、大
童ニナッテ働カレタト云フ事實ガアル、田中
首相ハ自ラ樞密院諸公ニ向テ諒解ヲ求メ
ラレタト云フ事實モアル、貴族院ハ大部分
反對ヲシテ居ル、天下ノ新聞雜誌ハ悉ク反
對ノ意見ヲ掲ゲテ居ル、代表的學者モ悉ク
反對ノ意見、初メハ樞密院ニ於テモ、最モ
險惡ナル空氣デ、此案ノ運命ト云フモノハ
豫測スベカラザル反對ノ氣勢ガ濃厚デア
タノガ事實デアアリマス、ソレヲ無理無理ニ
押分ケテ、無理無性ニ何デモ彼デモ力ヲ入
レテ之ヲ通過セシムベク努力シナレバナ
ラヌト云フ理由ト原因ガ甚ダ不明デアリマ
ス(拍手)如何ニモ分リ兼ね、ソコデ頗ル嚴
シイ所ノ警告ヲ附ケラレテ、漸ク樞密院ヲ
通過致シマシタケレドモ、是ハ御前會議
ガ前後七時間以上ニ亙リ、一日ヲ以テ決定
サレズ、翌日ニ涉リマシテモ、數時間ヲ要
シタト云フ程ノ大論戰ヲ試ミマシテ、エン
ヤラヤト通過シタト云フヤウナ事情デア
ル(拍手)而シテ樞密院ノ空氣ハ、由來政友
會ニ良イト云フ次第デモアリマスマイガ、
例ノ平沼氏ト鈴木喜三郎氏トノ關係ト云フ
モノガアツテ、伊東巳代治ナル人ガ參加シ
テ、或ル政治的陰謀ヲ企ラシタカ、企ラ
マントシタト云フ以來、何トナク政友會
ト親善關係ノアルノハ爭ハレナイ、ソコデ
此政友會内閣ハ、樞密院與シ易シト初メハ
考ヘタニ相違ナイ、與シ易シト考ヘタ、所
ガ反對ノ氣勢ガ頗ル濃厚デアリマシタ爲ニ、
平沼樞密院副議長ハ妥協案ヲ立テマシテ、
妥協案ヲ立テ、僅ニ樞密院ノ反對ノ氣勢
ト云フモノヲ緩和シテ、雙方ノ顔ヲ立テル
ベク努力セラレタ、平沼君ノ好意ニ依リテ、
平沼サント云フ人ガ產婆役トナッテ、此治
安維持法ト云フ、ヒヨハイ所ノ……

(此時發言スル者多シ)
○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス
○武富濟君(續) 子供ガエンヤラヤト生
レタト云フ事實ニ相違ナイ(拍手)此平沼氏
ノ案ト云フモノハ、精査委員長トシテ委員
會デ報告ヲシテ居ラレマスルケレドモ「政
府ハ治安維持法案ヲ特別議會ニ提案シナガ
ラ法案ノ説明ニ當リ緊急ナルコトヲ言明セ
ズ、會期ガ終了セントシテモ會期延長ヲ奏
請シテ、右法案通過ヲ期スルノ誠意ヲ示
サズ、遂ニ審議未了ニ終ラシメ、議會終了
ノ今日ニ於テ緊急勅令案トシテ御諮詢ノ手
續ヲ執ツタコトハ、明ニ政府ノ失態ト認ム
ベキモノニシテ、頗ル遺憾トスル所デア
ル」ト言ハレテ居ルデアアリマセヌカ(拍手)樞
密院カラ猛烈ニ詰責ヲ喰フテ居ルデアアリ
マセヌカ、餘程好意ヲ寄セテ居ルと思
居ル其樞密院カラ、斯ル御小言ヲ受ケテ居
ルノハ、一體ドウ云フ譯デアリマスカ、元
來「向ホ平沼委員長ノ報告デアリマスガ
「元來過激思想ノ撲滅防遏ノ事タル、單
ニ刑罰法規ノミヲ以テ能ク其目的ヲ達成スベ
キモノニアラズシテ、必ズ其根本對策ト
シテ各般ノ施設、即チ教育制度ノ改善、檢
察制度ノ充實、國民生活ノ安定、貴族富豪
階級ノ自省等ト相待テ、其成果ヲ期スベキ
デアアルカラ、政府ハ此點ニ十分留意シテ遺
憾ナキヲ期セラレタイトノ意見ヲ附スルコ
ト、シタ」ト云フコトノ報告ヲ受ケテ居ル
デアアリマセヌカ、殆ド此瀕死ノ狀態デア
テ、僅ニ此警告附デ助ケラレタト云フヤウ
ナ結果ヲ見タ程ニ、樞密院ニ於テモ反對ガ
アツタ、ソコデアリマスカラ、結論ハ樞密
院ニ於テ決議ヲ附サレテ居ル、其決議ト致
シマシテハ「檢察制度ヲ完備シテ犯罪ノ發
生ヲ未然ニ防止スル方策ヲ講ズベシ、國際
警察ノ施設ヲ改善シテ思想取締上ニ遺憾ナ
キヲ期スベシ、教育施設ヲ改善ヲ計リ思想
善導上深甚ノ注意ヲ拂フベシ、各般ノ社會
施設ヲ完備シテ國民生活ノ安定ヲ計ルベシ」
ト云フ四箇條ノ警告ヲ附シタデアアリマセ
ヌカ、ソコデ伺ヒタイ、總理大臣ニ伺ヒタ
イ、同時ニ司法大臣ニ伺ヒタイ、此四箇條

ノ決議ニ付テ、如何ナル施設ヲ爲サレ、ド
ウ云フ御取計ガアツタカ、將來又何トスル
考カ、詳細ニ承リタイ、檢察制度ヲ完備ス
ルト云フコトハ、ドウ云フ完備ニ近イ事ガ
出來マシタカ、思想取締ヲ全國ニ置イタト
云フ位ノ事デアリマスカ、ソレ以上ニ具體
的ノ事實ガアリマスカ、將來ノ計畫ガアリ
マスカ、或ハ西洋ニ留學生ヲ多く出シテ、
向フノ思想取締等ニ付テ研究サセルト云フ
意思ガ有ルノカ無イノカ此點ヲ承リタイ、
國際警察ノ施設ヲ改善シテ云々、サウ云フ
施設ノ改善ガ出來マシタカ、出來マセヌカ、
出カサントスルノデアアルカ、將來何トスル
ノデアアルカ承リタイ、教育施設ノ改善ガ
出來テ居リマスカ、思想善導上深甚ノ注
意ヲ拂フベシ、如何ナル思想善導ノ注
意ガ拂ハレテ居リマスカ、各般ノ社會
施設ヲ完備シテ、國民生活ノ安定ヲ圖ルベ
シ、之ニ酬ユルニ如何ナル政策ガ立ッテ、ド
ウ云フ實行ガ出來テ居ルデアリマスカ、
伺ヒタイト存ズル、若シ吾々が満足出來ル
ダケノ御答辯ガナカッタナラバ、即チソレハ
樞密院ヲ行ハレテ居ラヌデアアル、諸公ハ
樞密院ヲ欺イテ僅ニ此法案ノ通過ヲ圖
ト云フ責任ヲ負ハナケレバナラス(拍手)次
ニ私が熱心ニ聞カントスル第三點デアリマ
シテ、之ヲ以テ私ノ質問ヲ終ルノデアアリ
マスルケレドモ、是ハ司法大臣ニ於テ十分ニ
御聽取ノ程ヲ願フ點デアリマス、若シ私ノ
質問ガ疑ニ終始シテ居ラナラバ、甚ダ喜バ
シイ、十分ナル御明答ガナケレバ、其疑ハ
疑トシテ殘ルト斷定シテ憚ラザルヲ得ヌ、
我レ人共ニ迷惑ノ點問題デアリマスカ
ラ、責任ノアル御親切ナル御答辯ヲ煩シタ
イ、抑、此本法ノ緊急勅令ノ發布ト云フモ
ノハ、動機ガ甚ダ不純デアツテ、政略的ノ立
法デアナイカト云フコトヲ私ハ疑フ、其疑
ノ理由ヲ申述ベナケレバナラス、理由ガア
ルカラ疑ハザルヲ得ヌ、ソコデ其理由ヲ茲
ニ並ベテ釋明ヲ求メタイノデアリマスカレ
ドモ、一體彼ノ恐ルベキ共產黨事件ト云フ

モノヲ、何ガ故ニ昨年ノ四月十日ニ全國ノ新聞ニ同時ニ發表ヲ爲サタカト云フ點デアル、此秘密結社ノ大檢舉ハ昨年ノ三月十五日ニ行ハレテ居ル、一道三府三十縣、檢舉者ガ千餘名、四月十日ニ起訴サレタ者ガ百六名、此時ニ労働農民黨、日本労働組合評議會、全日本無産青年同盟ノ結社禁止處分ガアツタ、是ハ政府トシテハ當然ノ處分デアリマセウ、毫末モ私ハ異議ハ唱ヘナイ、併ナガラ此四月十日ニ卒然トシテ天下ニ此事實ヲ發表セラレタト云フコトノ意味ガ私ニハ了解ガ出來ヌ、丁度ソレハ議會ノ開會前デアル、議會直前ノ四月十日デアリマス、議會ガ開カル、ヤ四月二十五日ノ秘密會ニ於テ、聲ヲ大ニシテ鈴木内相並ニ原法相ガ吾々ニ報告サレタ、ドウ云フ理由デス様ナ事ヲ爲サレタカ、其發表ノ動機ガ甚ダ不純デアルヤウニ考ヘル、是ハ總理大臣ニ於テモ御答ヲ煩シタイノデアリマス、何ガ故ニ斯ウ云フ時ニ發表ヲシタカ、惟フニ是ハ丁度總選舉ノ結果デアル、總選舉ノ結果ガ一二名ノ差ヲ以テ頗ル政府ニ利害ガ分ル、所デアリマシタノデ、一名ト雖モ、二名ト雖モ、味方ニ馳參ズル者ガアレバ政府ノ壽命ハ保ツ、敵ニ趨ル者ガアレバ政府ハ倒レナケレバナラヌト云フ死活ノ分ル、境目デアリマシタ爲ニ、即チ此問題ヲ利用シテ政局ノ展開策ニ供セントノ、惡意ヲ藏シテノ御發表デアラウト存ズル(拍手)此共產黨ト最モ密接ナ關係ノアツタト云フ労働農民黨ノ支持ヲ受ケテ當選セラレタル水谷長三郎君、山本宣治君、此兩君ハ——殊ニ此兩君ハ共產黨ニ最モ密接ナル關係ガアル労働農民黨カラ出ラレタモノデアルト、鈴木内相ガ兩君ノ方ニ指ヲ指示シテ、聲ヲ大ニシテ絶叫シタノハアレハ何デスカ、何ノ必要ガアリマスカ、ソレハ政友會ノ幹部諸君ニ於テ、此問題ヲ利用シテ山本、水谷兩君ト云フ者ニ引責處決ヲ爲サシメテ除名ヲ決議スレバ二名ト云フモノガ無クナル、即チ野黨ガ少クナル、政友會ハ萬歲ト云フ所カラ來タニ相違ナイ、之ヲ私ハ疑フ(ソレハ邪推ダト呼フ者アリ)邪推ナラバ邪推ト云フ

コトノ釋明ヲ煩シタイノデアリマス、丁度其當時ニ於テハ水谷君ニ向ッテモ、或人ノ手ヲ通シテ買収ノ魔ノ手ガ延ビタト云フ事實ガアル、水谷君ニ御聞キナサイ、事實ガアル、又民衆黨ノ鈴木君、龜井君、西尾君等ニ向ッテモ其魔ノ手ガ延ビタト云フ事實ガアル、デアリマスカラ丁度無産黨ノ人ナリ或ハ其外ノ人ナリヲ、政府ガ魔ノ手ヲ延シテ買収ヲシヤウトシテ居ル眞、最中デアツタカラ、共產黨ノ事件ヲ聲ヲ大ニシテモ天下ニ呼號シテ、實ニ共產黨事件ハ容易ナラヌモノデアル、無産黨ト云フモノハ恐ルベキモノデアル、左様ナモノダト云フ風ニ國民ノ思想ヲ引摺ッテ來タ、感情ヲ引摺ッテ來タ、其民政黨ガ無産黨ト握手ノ出來タヤウニ離間ヲシテ置イテ、大勢ヲ左右セントノ策謀ニ出デタモノニ相違ナイ、ドウダ、サウ云フ疑ヲ私ハ持ッテ居ル、デアリマスカラ御釋明ヲ煩シタイノデアリマス、一體只今法相モ申サレタ通りニ、今日ニ於テハ共產黨事件ノ被告人ハ五百名以上、私ノ取調ベタル所ニ依レバ一月十日現在ニ於テ五百二十三名デアリマス、而シテ昨年ノ四月十日ニ政府ガ發表シタル時ノ起訴人員ハ百六名、即チアノ當時ヨリ今日マデ四百七十七名ト云フモノガ殖エテ居ルデアリマセヌカ、此五倍ノ數ニ殖エタト云フ程ニ彼等不逞ノ輩ハ、連絡ヲ取ッテ大規模ノ行爲ヲ行ッテ居ッタト云フ事實ガ明瞭デアル、而シテ先日首相ハ當議場ニ於テ申サレノニハ、首領株デアツテ、マダ捕ヘラレザル所ノ者ガ多數アルト申サレテ居ル、法相モ昨年ノ委員會ニ於テ其事實ヲ言ウテ居ル、頭株ノ者ガ大分逃ゲテ居ルト言ウテ居ル、一體幾人逃ゲテ、マダ捕ヘラレズニ居ル首領株ノ者ガ居ルノデアリマス、其數ヲ承リタイノデアリマス、之ヲ此四月十日ニ發表セズニ置イテ、二十五日ニ報告ヲセズニ置イタナラバ一綱打盡ニ捕ヘラレテ五百二十三名ト云フモノガ六百名、七百名、八百名トナッタデアラウト思ヒマス、ソレヲ早く發表セラレタ爲ニ、彼等ハ證據ヲ煙滅シ逃走シタノデアル、法相ノ言ハレル通り、總理大臣

ノ認メラレル通り、首領株ガ二十名モ居ナクナツタト云フ事實ハ、逃ゲト言ハンバカリノ遣方デアリマセヌカ、證據ヲ煙滅セヨト言ハンバカリノ遣方デアリマセヌカ、甚ダ以テ怪シカラヌコトデアリマセヌカ、殊ニ刑事訴訟法ニ於テハ、搜查ハ之ヲ秘密ニシナケレバナラヌト規定サレテ居ル、又豫審モ之ヲ密行シナケレバナラヌト云フコトガ原則デアリマス、其搜查中デアリ、豫審中デアル所ノ、アノ共產黨ノ事件ト云フモノヲ、司法大臣自ラガ法律違反ノ行爲ヲヤツテ、天下ニ發表シタリ報告シタルスルト云フコトハドウ云フ譯デアルカ、其理由ガドウシテモ分リマセヌカラ、結局先程申シタル私ノ疑ノ方面ニ落ナテ來ナケレバナラヌノデアリマスカラ、此點モ釋明ヲ求メタイノデアリマス(拍手)私共ハ嘗テ在職中自ラ取扱ヒマシタル幸徳傳二郎ノ大逆事件ノ如キ、アレハ檢舉ニ從事スルコト六箇月間、丁度滿六箇月間檢舉ニ從事シマシタガ、一言半句モ天下ニ之ヲ發表シテ居ラヌ、豫審モ二、三箇月掛リマシタガ、一言半句モ發表ハシテ居ラヌ、豫審ガ終結決定シテ大審院ノ公判ニ移サレテ後ニ、只今檢舉總長ヲシテ居ラレル小山松吉氏ガ自ラ筆ヲ執ッテ、其梗概ヲ始メテ天下ニ公表シタノデアリマス、是ガ刑事事件ヲ取扱フ上ニ於テ最モ重視スベキ忠實ナル遣方デアリマスケレドモ、原法相ニ至リテハ僅ニ檢舉シテカラ二十五日目ノ四月十日ニ、大架築ニ天下ニ呼號シテ、共產黨事件ハ斯様ナモノデアル、國民ガ不安ニ打タレテ居ルノデアルカラ教ヘテヤルノデアルト云フコトヲ、天下ニ呼號シテ發表シテ居ル、即チ逃ゲル者ハ逃ゲロ、證據ヲ煙滅シタイ者ハ煙滅セヨト云フ態度ヲ執ラレタカラ、僅カ五百二十三名シカ捕ヘラレテ居ラヌ、首領ト云フ者ハ逃ゲタト云フ結果ニナツテ居ルデアリマセヌカ、即チ檢舉能率ヲ犧牲ニシ、國家ノ利益ヲ犧牲ニシテ、我黨ノ利益ヲ圖シテ居タノダト云フコトヲ申シマシテモ辯解ノ餘地ハナイト存ジマス(拍手)殊ニ私ガ滑稽ニ感ズルコトガ一つアル、甚ダ滑稽

ニ感ズルコトハ、總理大臣ノ聲明書デアル、總理大臣ノ其四月十一日ノ聲明書ト云フモノハ、最高級ノ形容詞ガ使テアル、今回ノ大不祥事ヲ出シタコトハ痛恨骨ニ徹シ熱淚ノ滂沱タルヲ禁ジ得ヌノデアル(中略)事件ノ顛末ヲ奏上シ奉ルニ臨ミ、宸襟ヲ惱マセ給フコトノ畏レ多キニ身モ心モ打戰キテ九腸寸斷ノ思ヒニ堪ヘナカッタ一種ノ美文トシテハ價值ガアリマセウ、一種ノ美文の響ハアリマスケレドモ、是ダケ大架築ニ熱淚ガ滂沱ダ、九腸ガ寸斷ダ、痛恨骨ニ徹シタト云ヒナガラ辭表ヲ出サヌ(拍手)平然トシテ今日マデ總理大臣、頗ル滑稽デヤアリマセヌカ、言行ガ不一致デアリマセヌカ、無責任デアリマセヌカ、斯様ナ聲明書ヲ發シタ眞意ハ一體ドウデアル、眞面目ニ恐懼シテ居ラレルノデアルカ、天下ノ人心ヲ共產黨事件ニ引張ッテ來テ、私ノ疑ノ如ク我黨ノ便利ヲ圖ラントスル惡意ニ出デタ聲明書デアナカッタカト私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)ソコデアリマスルナラバ、更ニ問ハントスル點ハ、此前ノ特別議會ニ治安維持法ヲ原法相ガ提案セラレタノハ、一體眞面目ニ通過ヲ圖ルベキ誠意ガ有ツタカ無カッタカヲ疑フ、僅ニ二週間ノ會期デアツテ、アノヤウナ重大法案ガ兩院ヲ通過シサウニモナイト云フコトヲ豫見シナガラ、提案セラレタモノデアナイカ、ソコデアルカラ初メカラドウセ帝國議會ハ通過セヌ、據潰シニナル、サウスレバ樞密院ニ緊急勅令デ行クカラト云フノデ、議會ヲ愚弄シテ初メカラ樞密院ニ擔ギ出ス下腹ヲ決メテノ仕事デアリハセヌカト私ハ疑フ(拍手)ソレハ何トナレバ私ガ初メニ疑ッタイヤウニ——寧ロ觀察シタイヤウニ、政局打開ノ爲ニ我黨内閣ノ萬歲ヲ圖ランガ爲ニ、共產黨事件ヲ素破抜イタト言ハレテハ困ルカラ、サウ云フ疑ヲ國民カラ受ケテハ困ルカラ、眞面目ニ取扱ッテ居ルノデアル、即チ治安維持法ヲ出サナケレバナラヌ程ノ大事件デアルト云フコトヲ思ッテ貴ヒタイト云フ邪念カラヤッタ仕事デアナイカト思フ(拍手)偽ヲ言フ者ハ、一度偽ヲ言ヒマス其偽ヲ糊塗センガ

爲二十モ百モ嘘ヲ言フ、初メガ嘘デアリマスカラ第二ガ嘘ニナリ、第三ガ嘘ニナル、共產黨ノ發表ガ不純ノ動機ヲ藏シテ居ル、隨テ特別議會ニ提案シタ時ガ不純デアアル、極密院ニ廻シタ時ガ不純デアアル、不純ヲ以テ一貫シテ居ルノデアリマス、國家ヲ思ヒ、皇室ヲ思ヒ、國家ノ治安ヲ考ヘルナドト云フコトハ表面デアッテ、矢張自分ノ非ヲ蔽ウテ惡腹ヲ探ラレテハ困ルト云フ手段デアタモノトシカ私ハ考ヘラレナイノデアリマス、此點ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイ、若シ誠意ガアツタラバ、前ニ申シマシタル通りニ議會延會ノ奏請ヲスレバ宜シ、必死ニ努力スレバ宜シ、極密院ニ於テ警告ヲ附ケラレルヤウナ様ナ、誠意ノナイ、努力ヲセヌ違方ハ何デアリマス、何デ特別議會ニ於テ、是ガ通過ヲ圖ラナカッタカト云フ點ニ付テ御答辯ヲ煩シタイノデアリマス、私ノ最モ深キ疑ハ國體ノ變革ヲ目的トスル所ノ不逞ノ徒ヲ取締ル爲ノ緊急已ムヲ得ザル非常立法ニハアラズシテ、選舉後ニ於ケル所ノ政局ヲ打開シテ、其形勢ヲ政府ニ有利ニ進展セシメンガ爲ノ緊急已ムヲ得ザル非常手段デアッタト考ヘルノデアリマス(拍手)以上ノ點ニ付テ首相並ニ法相ノ、納得ノ行キマスヤウナ御深切ナル答辯ヲ煩シマス(拍手)

〔國務大臣原嘉道君登壇〕

○國務大臣(原嘉道君) 武當君ハ死刑ニ處スルヤウナ緊急勅令ハ、是ガ初メテダト云フ前提ノ下ニ、大變長イ御演說ガアリマシタガ、是ハ武當君ノ御調達ヒデアッテ、明治三十七年ニ既ニ死刑ヲ緊急勅令デ公布シタ例ガアルノデアリマスカラ、是ハ能ク御調達ベニナッタ宜カラウト存ジマス(拍手)國家ニ重大ナル事件ガアリマス時ニハ、即チ緊急勅令ノ公布ガ必要ナノデアッテ、死刑ヲ科スル如キ重大ナ事態ガアレバコソ、緊急勅令ノ必要ガアルノデアリマス(拍手)質問

ニ這入ッテカラノ第一ノ御問ハ、刑法ノ七十七條ノ一項、刑法七十八條ト治安維持法トノ關係デアリマスガ、是ハ實ハ刑法理論ニ關スルコトデ、委員會デ詳細御説明シタ方ガ宜イト存ジマスカラ、一言ダケ申上ダテ置キマス、舊來ノ刑法デハ内亂ト云フモノハ、必ズ暴動行爲ヲ伴フモノト思ッテ規定シテアルノデアリマス、所ガ社會狀態ガ變遷スルニ從ッテ、暴動行爲ニ代ルニ團體行爲ヲ内亂罪ノ手段トスルモノガ出テ來タノデアリマス、ソコデ新刑法理論ニ於キマシテハ、此團體行爲ヲ處罰スルノデアリマス、決シテ貴方ガ言ハレルヤウナ文書ヤ言論ヲ處罰スルノデハナイノデアリマス、團體行爲ニ依ッテ國體ヲ破壞セントスル者ヲ處罰スル、是ガ近代ノ此國體變革ヲ取締ル上ニ於テ最モ大切ナコトデアアル(拍手)是ガ刑法ノ内亂罪ト違フ點デアリマス、第二ニ他ノ法律トノ關係、即チ裁判所構成法ノ大審院ノ特別權限ニ屬スル事項ニナリハシナイカト云フコト、又陪審法ノ適用カラ何故除外セナカッタト云フ御問、是ハ海ニ御尤ナ御問デアアル、故ニ政府ハ此點ニ付キマシテ只今裁判所構成法ノ改正案モ立案シ、陪審法ノ改正案モ立案シテ本議會ニ提出ノ準備中デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス、第三ニ憲法第八條ノ適用ニ付テノ御問デアリマス、而シテ其前提トシテ武當君ハ憲法第八條ノ公共ノ安全ヲ保持スルト云フコトハ、議會開會後ニ突發シタ事件ニ限ル、斯ウ云フ前提ヲ置カレタ、此前提ガ既ニ間違ッテ居ル、議會開會中カラ事態ハ存在シテ居ッテモ、其事態ガ議會開會後ニ重大ニナリマスレバ、茲ニ國家ノ治安ノ維持ノ必要ト云フモノガ出テ來ルノデアリマス、是ガ即チ緊急勅令ヲ發布スル理由ナノデアリマス、而シテ本件ニ付テハ既ニ屢言ウテアル通り、特別議會ニ於テ治安維持法改正案ノ理由ヲ説明スル時ニ申シテ置イタ通り、其

當時ハマダ首領株ヲ縛ニ就カナイ者ガアルカラシテ、依然不逞ノ企畫ヲ遂行セントシツ、アルノデアラウト云フ推測ヲ述ベタノデアリマス、然ルニ議會開會後ニ於キマシテ、續々眞ニ行動シテ居ルト云フ事實ガ現レテ來テ、茲ニ事態ノ重大ニシテ一日モ拾置クベカラザルコトヲ認メタカラ、茲ニ緊急勅令ヲ發布スルニ至ッタノデアリマス、ソレカラ第二ニハ若シ議會開會後ニ緊急勅令ヲ發布スルヤウナ必要ガアルナラバ、何故ニ臨時議會ヲ召集セザルヤト云フ御問デアッテ、是ハ貴方ノ先程御讀ニナリマシタ憲法義解ヲ能ク御覽ニナレバ分ル、即チ憲法ノ八條ト憲法ノ七十條トハ、全ク明文モ精神モ異ニシテ居ルノデアアル、而シテ憲法八條ノ場合ニ於テハ、議會開會ノ場合ニ於テト云フノデアッテ、議會ガ開會シテ居ッテ、サウシテ通常議會迄ハ待テヌト云フ時ニハ、憲法八條ニ依ッテ緊急勅令ヲ發布スルノデアアル、而シテ之ニ牽聯致シマシテ、斯ノ如キ緊急勅令ヲ發布スルコトハ我が國體ノ尊嚴ヲ汚スモノデアルトカ、或ハ我國ノ威嚴ヲ外國ニ失フモノデアルトカ云フコトヲ申サレマシタガ、是ハ私ハ如何ナル理由デアアルカ少シモ分ラヌ、苟モ一國ノ治安ヲ維持スル必要ガアル場合ニ於テハ、刑法的規定ヲ設ケルノハ當然ノコトデアアル、現ニ我國ノ刑法ニ於テモ、其當時別ニ大逆行爲ヲ企テ、居ル者モナカッタ拘ラズ、御承知ノ通り大逆行ニ關スル規定ヲ設ケテ居ルノデアアル(拍手)若シ大逆行ノ規定ヲ設ケルナラバ、其國ハ既ニ大逆行ヲ犯ス者ガアルダラウト思ハレルコトガ國ノ威嚴ヲ失スルト云フヤウナコトナラバ、刑法ノ中カラ大逆行ノ規定ヲ除イテ置カナレバナラヌ(拍手)故ニ國家治安ノ必要アル場合ニ於テ相當ノ刑罰法規ヲ設ケルト云フコトハ、何モ國ノ威嚴

ニモ、信用ニモ關シハシナイノデアアル(拍手)却テ斯ノ如キ大逆行ニ等シイヤウナ事ヲ企テル者ニ對シテ、何カ遠慮ヲシテ刑罰規定モ設ケズニ置クト云フヤウナ弱イ國家デアリマシタナラバ、國ノ信用ヲ失墜シ「ヒヤ」(拍手)威嚴ヲ失フコト甚シイモノデアルト思フ、又武當君ハ御大禮ノ行ハル、ヤウナ機會ニ於テ、恩赦モ行ハレルト云フ際ニ、嚴罰ヲ以テ國民ニ臨ムガ如キハ甚ダ不都合デアルト云フヤウナコトヲ言ハレマシタガ、善良ナル國民ニハ刑罰ト云フモノハ必要ナイノデアアル(拍手)國家ノ基礎ヲ破壞セントスルヤウナ不逞ノ徒ハ、如何ナル場合ニ於テモ、之ヲ處罰セナケレバナラヌノデアアル(拍手)陛下ノ大典ニ基ク恩赦ト云フコトハ、陛下ノ御仁慈ノ結果デアッテ、國家ノ刑罰法規トシテ、陛下ノ恩赦ガアルカラト云ッテ、不逞ノ企畫ヲ遂行セントスル者ヲ見通シテ置カウナドト云フコトハ、出來ベキ性質ノモノデハナイノデアリマス(拍手)又緊急勅令ヲ發布スル程ノ事態ガアルナラバ、何故ニ特別議會ヲ延長シナカッタカ、又若シ其必要ガアルナラバ、臨時議會ヲ召集シナカッタカト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ先程申シマシタ通り、特別議會ノ開會中ニ於キマシテ、私ハ此法律ガ成ベク速ニ成立スルコトヲ必要ト感ジマシタカラ、屢、委員長ニ交渉シテ、或ハ委員會ノ開會ヲ請求シ、又殊ニ御懇談シテ議事ノ進行ヲ速カナラシメンコトヲモ御頼ミシタノデアアル、然ルニ拘ラズ是ガ遂ニ審議未了ニ終ッタノデアアル……

〔此時發言スル者多シ〕

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス
○國務大臣(原嘉道君)(續) 而シテ其當時ハ先程申ス通り、共產黨員中未ダ縛ニ就カザル者ガ依然不逞ノ行動ヲ續ケルデアラ

ウト云テ推測タケデアッテ、其具體的事實ト云フモノハ未ダ舉テハ居ラナカタナデアル、故ニ其時ニ於キマシテ是非共議會ヲ延長シテ、此法律ヲ通過セシメナケレバナラヌカドウカト云フ事ハ、決テ居ラヌノデアル、然ルニ其後ニ至ッテ、先程カラ申ス通り各種ノ證據ガ現レテ參リマシテ、到底一日モ之ヲ看過スルコトガ出來ナイト云フ事ニナリマシタカラ、茲ニ緊急勅令ノ公布ヲ奏請スルニ至ッタノデアル(拍手)而シテ臨時議會ヲ召集シナカタ理由ニ付テハ、先程述べタ通り憲法ノ解釋上之ヲ必要トセザルガ爲デアル(拍手)ソレカラ次ニ治安維持法制定ノ目的ハ達セラレタリヤト云フ御問デアリマスガ、私ハ勿論之ヲ達シテ居ルモノト思フテ居リマス、勿論既ニ病膏肓ニ入ッテ到底遷善改過ノ望ナキ者ハ、如何ナル法律ヲ制定致シマシテモ、之ヲ自覺反省セシムルコトハ出來ナイ、併ナガラマダ其主義ニカブレタ程度ガ少イ者、或ハカブレサウナ傾向ノアル者等ニ對シマシテハ、此法律制定ノ效果ハ至大ナモノデアッタラウト考ヘルノデアル(拍手)餘計ナ事デアリマスルガ、先程何カ私ノ個人的ノ事ニマデ言及サレテ、民間ニ在ッテ民權ヲ擁護シナガラ、國務大臣ニナルト直ニ彈壓政策ヲ執ルトカ云フ御話ガアリマシタガ、私ハ民間ニ於キマシテ犯罪擁護ノ手段ヲ執ッタ事ハ一度モアリマセヌ(拍手)治安維持法ハ犯罪ヲ取締ルノ法規デアッテ、民權ヲ壓迫スル法規デアアリマセヌ(拍手)善良ナル國民ハ此法律ノ施行ニ依ッテ、初メテ我が國家ガ泰山ノ安キニ在ルモノトシテ枕ヲ高ウシテ眠ルコトガ出來ルノデアル(拍手)何等之ニ依ッテ威嚇ヲ感ズル者デハナイノデアリマス(ヒヤヒヤ)拍手)次ニ樞密院ノ議事ニ論及セラレマシテ云々セラレマシタガ、私ハ法律家

タル武富君ノ言論トシテハ甚ダ惜ムベキ事デアルト思フ、樞密院ノ議事ハ申ス迄モナク絕對秘密デアアル、之ヲ斯ウ云フ議事ガアッタナド、云フ事ヲ、民政黨ノ諸君ガ言ハレルノハ私ハ奇怪千萬ニ思フ(拍手)樞密院ノ議事ニ付テハ樞密院以外ニ於テ論議スルト云フ事ハ絕對ニ許スベカラザルモノデアアル、斯ノ如キ事ハ即チ我國ノ法制ノ破壞スルモノデアアル(拍手)故ニ斯ノ如キ樞密院ノ議事ニ對シテノ質問ノ如キハ、全然御答スベキ限デアアリマセヌ(拍手)最後ニ四月十日ニ日本共產黨事件ノ梗概ヲ發表シタ動機ハ不純デハナイカト云フヤウナ御尋ガアリマシタ、凡ソ色眼鏡ヲ以テ物ヲ觀マシレバ悉ク色ガ著イテ見エル(拍手)日本共產黨事件ハ既ニ屢ニ申シマシタ通り國際革命ヲ目的トスル、莫斯科ニ本部ヲ有シテ居ル國際革命黨ノ日本支部デアッテ、日本ノ萬代不易ノ國體ヲ破壞シテ、第三「インテナーショナル」ノ指揮ノ下ニ置カウトスルヤウナ不逞ノ企畫ヲ有スル者デアリマス、斯ノ如キ事件ガ發生致シマシテ、而シテ新聞紙ノ掲載ハ搜查ノ必要上之ヲ禁ジタ、併ナガラ之ガ爲ニ先程武富君ガ言ハレタ通り、是ガ全國ニ互ッテ、其當時ハ無論マダ犯罪者ガ誰デアアルカト云フ個々ノ罪跡ハ分リマセヌカラ、全國ニ互ッテ殆ド千名以上ノ檢束者ヲ出シタ、其事態ノ重大ナルコトハ國民悉ク之ヲ感ズルノデアル、併ナガラ其内容ノ如何ナルモノデアアルカト云フコトニ付テハ、非常ニ不安ノ念ニ襲ハレタ、故ニ政治家モ或ハ實業家モ、其他ノ者モ、是ハ日本國ニ如何ナル事態ガ發生シタカト云フコトニ付テハ、非常ニ心配ヲセラレマシテ、一日モ速ニ其公表ヲ求メラレタト云フコトハ、實際ノ事實デアリマス、故ニ政府ハ我が國民ニ、日本共產黨事件ナルモノハ

如何ナル輪廓ヲ有スルモノデアアルカト云フコトヲ知ラシメデ、國民ノ不安ノ念ヲ除カシメルト云フコトヲ、政府ノ義務ト信ジタノデアル、即チ此考ノ下ニ此事件ノ梗概ヲ發表シタノデアル、而シテ其時ニ於テハ、檢事局ノ搜查ノ進行ヲ妨ダナイ意味ニ於テ、檢事局ノ意見ヲ徵シ、被告人ノ氏名、住所等ノ外又豫審ノ内容ニ觸ル、モノ、外ハ、記事ノ禁止ヲ解イタノデアル、其範圍ニ於テ事件ノ梗概ヲ發表シタノデアル、何モ法律ニ違反スルコトモ何モナイノデアル、諸君ハ又此事件ノ發表シタ梗概ヲ見テ、之ヲ見ナイ方ガ宜カタト御思ヒニナツタカ知レヌガ、私ハ全國民ハ此發表ヲ見テ非常ニ喜ンダモノデアルト信ジテ居ルノデアリマス(拍手)其他ノ事柄ハ先程モ申シマシタ通り、武富君ガ何レモ自分ノ色眼鏡ノ上カラ見ラレテ、或ハ治安維持法ガ特別議會ヲ通過スルコトヲ餘期シテ居ツタカ、或ハ緊急勅令ヲ出シタコトモ前ノ發表ノ結果トシテ眞意ニ出ズシテ之ヲ爲シタノデハナイカト云フヤウナコトヲ申サレマシタガ、私ハ特別議會ニ於テ忠良ナル國民ノ代表者タル諸君ハ、必ズ之ヲ通過サセルデアラウト云フコトヲ確信シテ居タノデアル、然ルニ議事ノ進行遲タトシテ進マザリシガ爲ニ、此議決ヲ見ルニ至ラナカタノデアッテ、甚ダ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、而シテ先程申上デマシタ通り特別議會ニ議セラレナカタ爲ニ、其後ニ新ナル事實證據ガ出テ參リマシテ、事態重大ニシテ捨置タカラザルモノガアルカラシテ、茲ニ緊急勅令ノ公布ヲ奏請スルニ至ッタノデアリマス、此間何等武富君等ノ申サレルヤウナ政略ノナ意味ナドハ無イノデアリマス、是ダケ御答致シマス

○國務大臣(男爵田中義一君) 只今武富君ノ御尋ニ依ッテ私が御答スベキ事柄ハ、議會ヲ何故何期ノ延長ヲセナカタカ、何故緊急勅令ニシタカ、而シテ最後ニ何故臨時議會ヲ召集セナカタカ、此三點が私ノ御尋デアアルガ、私ニ代ッテ今司法大臣ガ御答辯ヲ致シタノデアリマスカラ、私が重ねテ再ビ之ヲ繰返スコトハナイノデアリマス(拍手)

○武富君登壇

○武富君 只今原法相ヨリ御答ヲ得マシタガ、大體ニ於テ……

(此時發言スル者多シ)

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○武富君(續) 諒解ノ出來マコトガ多イノデアリマス、一々議論ヲ繰返シマセヌガ唯、一點ノ議論ジマスルノハ、四月十日ニ共產黨事件ヲ發表シタコトハ一向差支ナイデハナイカ、國民ノ不安ヲ除ク爲デアアル、國民ノ各方面ニ於テ如何ナル事件ガ突發シテ居ルカ聽カシテ欲シイト云フ切望ガアツタカラ、其不安ヲ除カンガ爲ニ發表シタノデアルト云フ御答デアリマス、ソレヲ發表シタノ國民ハ満足シタデアラウト仰セニナリマシタガ、私ハ最も満足セザル一人デアリマス、ト云フノハ、アノヤウナ事件ヲ發表スルト云フコトハ國民ノ不安ヲ除クト仰セニナリマスケレドモ、國民ノ不安ノアツタ場合ニハ何時デモ御發表ニナリマスカ、近頃問題ニナッテ居ル事柄デアリマシテモ、國家ニ不利益トアレバ御發表ニナッテ居ラヌ(拍手)如何ナル大事件デモ、大事件ニナレバナル程人ハ聽キタガルモノデアアル、是ハ國民ノ好奇心デアリマス、國民ガ聽キタイト云フ度毎ニ司法省ガ發表シテ居ツタナラバ、檢舉ノ能率ハ全然駄目ニナルデヤアリマセヌカ、證據ハ湮滅スルデヤアリマセ

ヌカ、被告人ハ逃走スルデアリマセヌカ、首領ガ三人カ五人捕マラナイノハ、アノ時ニ原告ガ發表シタ爲ニ風ヲ食テ逐電シタモノデアルト認メラレノデアアル、漁夫ガ魚ヲ獲ルニハ足音ヲ盗マナケレバナラヌ、而シテ一網打盡ニ行クノデアリマスケレドモ、先ヅ發表シテ置イテ、逃ゲル者ハ逃ゲロ、追捕テ置イテ網ヲ打ツ所デ魚ノ捕マラヌノハ當然デアアル、國民ガ聴キタガルカラ、不安ガアルカラ教ヘテヤッタト云フコトデアラナラバ、將來ニ於テモ左様ナ問題ガアツテ、吾々ガ請求スレバ――多數ノ國民ガ請求スレバ何時デモ御發表ニナリマスカ(拍手)其様ナコトデアツテハ、刑事事件ノ搜查ト云フモノハ絶對ニ不可能デアツテ、何等目的ヲ得ルモノデハナイ、日糖事件ノ問題デモ、國民ハ頗ル不安デアツテ、ソレヲ聴カセロト云フコトデ、新聞記者、實業家、其他ノ人々ガ小林檢事正ノ所ヘ驅込デ來テ、吾々モ應接ニ、違ガナカッタケレドモ、吾人ハ口ヲ緘シテ語ラナカッタ、原告ニ至ッテハ國民ガ餘リ欲シナイデアラウト思フ方面ガアルニ拘ラズ、自ら進ンデ之ヲ新聞ニ發表シ、議會ニ於テ發表シ、アノヤウナ重大事件ノ犯人ヲ逃走セシメタ責任ハ、正ニ司法大臣ニ在ルト申サナケレバナラヌ、國民ノ不安ヲ去ルノガ利益カ、重罪犯人ヲ逃走セシメルノガ不利益カ、國家ノ利害ヲ御考ニナツタナラバ、アノヤウナ輕率放漫ナル策ト云フモノハ絶對ニ執ルベカラザルモノデアアル(拍手)日本ノ司法省ニ於テ未ダ捜査中、豫審中ノ事件ノ梗概ヲ發表シタルコトハ未ダ會テ其例ヲ聞カヌ、原法相ガ嚆矢デアリマス、而シテ私ノ質問ニ御答ニナラヌ點ハ、逃走シタル人間ハ幾人アルカ、其首領ハ幾人程アルカ、其人數ヲ御尋シタノデアリマスガ、御市シガナイ、デ

アリマスカラ此點ニ付テハ原法相ガ如何ニ仰セニナリマシテモ、私ハ満足スルコトガ出來ヌト云フコトヲ申上ゲマス

(國務大臣原嘉道君登壇)

○國務大臣(原嘉道君) 武富君ノ再度ノ御質問デアリマスガ、先程私ガ申シマシタ通り、檢事局ニ於テ捜査ノ進行ヲ妨ゲナイ程度ニ、新聞紙ニモ記載ヲ許シタ範圍ニ於テ私ハ發表シタノデアアル、被告人ノ各自ノ罪跡等ニ付テハ何等發表ヲシテ居リマセヌ、隨テ私ノ發表シタ結果、首領連ガ捕ヘラレナクナッタト云フヤウナ事實ハ、今日マデアツタコトハアリマセヌ(拍手)彼等ハ三月十五日ノ檢舉ニ如何ナル理由デアリマスルカ、或ハ之ヲ豫感シタトデモ言フノデアリマスガ、潛伏シテ其檢舉ニ漏レタノデアツテ、四月十日ノ發表ヲ見テ、初メテ自分等ニ關シタ事件ガ起テ居ルノダト云フコトヲ知ルヤウナ頓馬ナ人間達デハナイノデアリマス(拍手)次ニ首領達ガマダ捕マラナイノガ何人アルカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ首領株ト云フ解釋ガ中々ムヅカシイノデアアル、故ニ武富君ノ言ハレル意味ト、私ノ言フ意味トガ必ズシモ一致シテ居ラヌノデゴザイマス、又誰ヲ首領ト見テ宜イカト云フコトハ、是ハ各自ノ罪跡ヲ調べテ見ナケレバ分ラヌノデアリマス、故ニ私ハ今日ノ程度ニ於キマシテハ、マダ相當重要ナル位置ニ在ッテ者ガ、尙ホ七八名ハ縛ニ就カナイ者ガアルト云フコトガ、言ヒ得ルデアラウト云フダケヲ御答シテ置キマス

○副議長(清瀬一郎君) 廣瀬德藏君

(廣瀬德藏君登壇)

○廣瀬德藏君 私ハ本案ノ可否ヲ決スル參考トシテ、内務大臣並ニ司法大臣ニ數點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、尤モ僚友ガ既ニ質シテ居ル點ガアリマスカラ、重複ヲ

避ケテ、ソレハ伺ハナイコトニ致シタイト思フ、極メテ少イ言葉デ、極メテ短時間ニ伺ヒマスカラ、暫ク御辛抱ヲシテ下サイ、此案ノ可否ヲ論定スルノニハ、第一ニハ、此案ガ憲法ノ規定ニ違反シテ居ルノデハナイカト云フコトヲ調べルコトガ、第二ニハ、其内容ガ善イカ惡イカト云フコトヲ研究スルノガ、マダ一ツアル、此勅令ハ正宗ノヤウナ勅令デ、能ク切レル勅令デアアル、正宗ヲ小供ニ持タセルト危イト云フケレドモ、是ハ寧ろ村正ニ近イ銳イ法規デアリマスガ、現在ノ内閣ガ此法規ヲ運用スル能力アリヤ否ヤト云フコトヲ、又考ヘテ見ナケレバナラヌ(拍手)第一ノ憲法上ノ責任ニ付テハ、既ニ盡キテ居ルト思ヒマスガ、只一ツ政府ノ心持ヲ伺テ見タイト思フノデアアル、是ハ法相ハ緊急勅令ノ發布ヲ決意シタノハ六月十二日デアツテ、即チ諮詢ヲ奏請シタ時デアルト言ハレルガ、新聞ノ傳フル所ニ依ルト、議會ガ濟ンデ間モナク、緊急勅令ノ發布ノ運動ヲ始メテ居ル、之ヲ繼續セラレテ居ッタノデアアルカラ、何モ後ニナツテ必要ヲ感ゼラレタモノデナイコトハ、洵ニ明白デアアル、此場合ニ於テ此緊急勅令ノ發布ヲ仰グカ、臨時議會ヲ召集スルカ、ドチラデモ適當ナ方法ヲ仰グコトモ出來タト云フコトハ、明々白々ノ事實デアアル、然ルニ臨時議會召集ノ手續ガ御厭デアツテ、ソコデ緊急勅令ノ方法ニ據ラレタノデアアルカ、政府ニ此法律ニ對スル態度ニ付テ伺ヒタイト思フノハ、凡ソ如何ナル法律モ國民ノ總意ガ反映シタ議會ノ協賛ヲ要スルノデアリマスケレドモ、特ニ此法律ハ國體ノ構成ニ關係ヲ致ス、即チ事、皇室ニ關係ヲスル法律デアリマスカラ、斯ウ云フ法律コソ特ニ國民ノ總意ガ反映シタル此議會ノ協賛ヲ經ルト云フコトガ、立法政策

上最モ妥當デアルト云フコトヲ、御考ニナラナカッタノデアアルカドウカ(拍手)此法案ニ對スル政府ノ心得方ヲ伺ヒタイ、若モ政府ガ、私ト同意見デアラナラバ、ナニ五日カ十日遅クナツテモ、議會召集ノ手續ヲ執ラレタノニ、ソレヲ爲サラナカッタノデアアルカラ、吾々ハ此態度ニ付テ疑ヲ挾マザルヲ得ナイノデアリマス、第二ニ此案ノ内容ニ關シテ只一點ダケ疑ヲ質シテ置キタイノハ、世界大戰ト云フ歴史アツテ以來、初メテノ出來事ガアツタ後デゴザイマスカラ、總テノ事柄ハ動搖シテ安定ヲシナイ、或ハ動キ或ハ反動シテ、遂ニ其定マルベキ所ニ定マルノデアラウト思フノデアリマス、思想ニ付テモ其通りデアツテ、隨分動搖致シテ居ッタノデアリマスガ、近來英米等ノ趨勢ヲ見マスト、勞働運動ナドヲ見マシテモ、段々ニ穩健ノモノガ勝リ制スルヤウニナツタ、過激ノモノハ減退致シテ來ル傾向ガアル、斯ウ云フヤウナ趨勢デアリマシテ、我國ニ於テモ一知半解ノ輩ガ、外國ノ書物ヲ少シ讀破リ、或ハ翻譯書ナドヲ一寸見テ、一時無暗ニ過激ニナツテ居ッタ者モ、少シ年ヲ取ッテ落付イテ來ルト、其非ヲ覺ル者ガ隨分出來テ來タ、吾々ノ知ッテ居ル學生ナドモ其通りデアリマス、更ニ警察官ナドノ言フコトヲ聴キマシテモ、初メ生活ガ苦シカッタカラ、非常ニ怪シイ所ニ這入り込ム、所謂主義者ニナツテ居ル、暫クシテ此生活ガ良クナルト、前ニアンナ馬鹿ナ所ニ加入シテ居ッタト云フコトヲ後悔シテ居ル者ガアルト云フコトデアリマスカラ、吾々ハ共產主義ノ如キモノガ段々ト跋扈シテ行カウトハ思ハヌ、其中ニ其非ヲ覺ル者ガ多クナラウト思ヒマス(拍手)果シテ然ラバ人ノ首ヲ斬ッテシマッテハ、遷善悔悟スル餘地ハナイ、先ヅ二三年スレバ考ガ改マル場合モアルノデアリマス

カラ、命ダケハ助ケテ居テ、或ハ無期ニデモシテ置クト云フコトニナラバ、是ガ選善悔悟致シテ、善良ノ國民ニナルト云フコトモ亦期待ガ出來ルノデアリケレドモ、如何ナル場合ニ於テモ、生命ヲ斷ツ法律ヲ作ルト云フコトハ、世界ノ趨勢ニ對シテ如何ナル態度ヲ以テ臨マレルノデアルカ、此點ニ對シテ政府ノ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス、第三ニハ、此政府ガ總テノ非違取締ニ對スル態度デアリマス、斯様ニ思想的ノ法律ヲ運用スルノデアリマスカラ、其政府ガ非常ナル急進的政府デアッテハイケナイ、又反動的ノ政府デアッテモ相成ラヌ、能ク時代ノ趨勢ヲ察シテ居ル、新時代ノ思潮ヲ理解スル所ノ政府デナクテハナラヌコトハ勿論デアアル、然レニ吾々ハ今迄知り得マスル所ニ依リマス、此政府ノ非違取締ニ對スル態度ハ、甚ダ公平ヲ缺イテ居ルト疑ハレル筈ガアル、之ヲ具體的ニ申上ダマスルナラバ、政府ハ出版トカ、言論トカ云フヤウナ思想的ノ事柄ニ對スル取締ハ、極メテ峻嚴デアアルガ、之ニ反シテ腕力ノ行使、暴力ニ對シテハ非常ニ寛大デアアルノミナラズ、暴力ノ手ヲ借ッテ政府ノ道具ト致シテ居ラレルト云フ傾ガアル(拍手)或ハ毒ヲ以テ毒ヲ制スルト云フヤウナ考カモ知レナイガ、思想的ノモノヲ彈壓スルニハ、暴力團ヲ使ッたら便利デアルト云フ考ヲ持ッテ居ラレルノデハナイカト云フ疑ガアル(其通り)「ノーノー」ト呼フ者アリ私ハ政府ハ能ク吾々ノ僚友ノ質問ニ對シテ、ソレハ新聞ノ記事デハ責任ガ負ヘヌトカ、或ハ臆測ニ過ギナイトカ云フヤウナコトヲ言ハレマスカラ、私ガ國家ノ公正文書デアアル最モ確カナ判決ニ基イテ質問ヲシテ見タイト思ヒマス(豫審ダケヲ述ベロ)ト呼フ者アリ勿論豫審ダケヲ申シマス、和歌山ノ殺人事件ハ、一寸此間

横山君ノロカラ出タノデアリマスガ、實ハ私ノ知ッテ以來ノ仕事ノ中デ、最モ悲惨ナル出來事デアリマス、警察官吏ガ取調ヲスルニ對シテ凌辱暴行ヲ働イタカラ、之ニ對シテ告訴ヲ致スト云フト、警察署ハ暴力團ヲ頼ンデ、サウシテ其取下ヲ迫ッタ、唯取下ヲ迫ッタメナラ宜シイガ、機密費ヲ暴力團ニ與ヘテ其取下ヲ強要サシテ居ル、之ヲ證據ニ基イテ申上ダマス、殺人事件ノ調査ニ、佐々木久吉ト云フ人殺シヲシタ男ガアル、其ノ男ノ豫審判決ノ第三回訊問調査ニ依ルト斯ウ云フコトガ書イタル、「此頃署長ノ官舎デ署長カラ矢張十圓札ヲ百五十枚出シタ、之ヲ米崎ニヤッテ呉レ、早く取下ダシヤウニ頼ム」斯ウ云フ記載ガアル(拍手)更ニ其次ノ頁ニハ「四月十三日ノ晩、署長ノ所ニ行ッテ署長ガ別室ニ行ッテ、百圓札ヲ一枚持ッテ來テ、警察部長カラ機密費ヲ貰ウタカラ之ヲ持ッテ行ッテ一杯飲ンデ呉レト云フ」斯ウ云フ記載ガアル、(拍手)即チ國家ノ費用、國民ノ膏血ヨリ成レル所ノ金ヲ以テ、其機密費ヲ暴力團ニ與ヘテ、警察官吏ノ暴行ニ對スル告訴ヲ取下ダサセヤウト努力ヲ致シテ居ル(不心得ナ署長ノ話デヤナイカ)ト呼フ者アリ署長デハナイ、國家ノ官吏デアアル

(此時發言スル者多シ)

○副議長(清瀨一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○廣瀬德藏君(續) 凡ソ内務大臣ハ警察官吏ニ對シテ如何ナル御訓示ヲ爲サッテ居ラレルカ、是ハ部下ニ暴行ガアル場合ニ於テハ、其暴行ヲ糾彈スルノガ當然デアアルノニ其部下ヲ救済スルノニ事モアラウニ機密費ヲ出シテ暴力團ヲ頼ム、斯ウ云フコトハ一體如何ナル御考デアリマス(拍手)私ハ多クヲ申上ダマセヌ、斯ウ云フ具體的ノ事實ハ

他府縣ニモ澤山アルノデアリマセウ、併ナガラソレヲ臆懼デ言ウテハ問題ニナラヌカラ、吾々ガ偶、監察シタ事件ニ基イテ言フ、裁判所ノ公正ナル記録デアアル、思フニ之ニ類似ノ事件ハ日本國中何處ニモアラウト思フカラ之ヲ聞クノデアアル、斯ウ云フヤウナ態度ヲ持ッテ居ル内務當局ニ思想ノ取締ヲサセ、村正ノヤウナ法律ヲ振廻ハサレテハ堪ラヌ、斯ウ云フ心配ガアルカラ之ヲ伺ッテ居ルノデアアル、マダ此事件ニハ色々非違ヲ見ル、或ハ取調ニ當ッテ、被告ガ警察官ニ肋骨ヲ蹴リ破ラレテ四十日モ寢込シタ云フヤウナ事柄ガアル、或ハ或ル被告ニ付テハ風呂ニ入ッテ居ル奴ヲ引張り出シテ、之ヲ雨ノ中ヲ引摺ッテ行ッタト云フコトモアル、ケレドモ是ハ今本件ニ直接關係ノナイコトデアアルカラ申上ダマセヌ、今ノ點ニ付テノ御取調ノ結果ヲ伺ヒタイ、今一ツ矢張判決ニ基イテ司法大臣ニ伺ヒタイコトガアル、今ノ政府ハ頼ムニ足リナイガ、司法權ダケハ頼ムニナルト云フテ國民ハ生活ヲ續ケテ居ル、其司法權ノ運用ガ怪シクナレバ吾々國民ハ何處ニ適從セントスルノデアアルカ、今マデ横山君ナドカラ屢、綱紀肅正ニ關スル質問ガ出テ居ルガ、ソレハ新聞ノ種ダトカ、ソレハ臆懼ダトカ、或ハ政府ノ機密書類デ取寄セルコトハ出來ナイカラト云ッテ逃ゲテ居ルガ、此處ニ揭ゲル判決ダケハ司法大臣ハ否認スルコトハ出來ナイ確定判決デアアル、質問セントスル事柄ハ緊急勅令トハ違フデヤナイカト言ハレルカモ知レマセヌガ、ソレハ斷テ置ク、吾々ノ親類ニハ緊急勅令若クハ治安維持法ニ觸レタヤウナ知合ハアリマセヌカラ、サウ云フ判決ハ持ッテ居ラナイ、茲ニ司法權ノ運用ニ關シテ極メテ重大ナル事柄ガアル、ソレハ昨年行ハレル選舉ニ於テ、大阪府ノ第五區

ハ可ナリ競争激甚デアリマシタガ、違反者モ隨分出マシタ、數十百人ノ者ガ、詰ラナイ所ノ事柄ニ付キ監獄ニ繋ガレタ者ガ多イノデアリマス、此判決ニ依リマス(ト云フト綾仁與三、西野房次郎、宇田赴夫、ト云フ三人ガ、岩崎幸治郎君カラ直接ニ金ヲ貰タト云フ事實ヲ認定シ、而シテソレハ投票ヲ得ル目的ヲ以テ與ヘタノデ、其事實ヲ了知シテ金ヲ受取ッタノデアアル、サウ云フ事實ヲ認定致シテ之ニ體罰若クハ罰金ヲ科シテ、ソレガ確定ヲ致シテ居ル、然レニ其與ヘタ所ノ岩崎幸治郎君ハ未ダ會テ起訴サレルコトナク、遂ニ時効ハ完成ヲ致シテシマタト云フ事實ガアル(拍手)司法權ダケヲ頼ッテ生キテ居ル今ノ國民ガ、黨派ニ依ッテ或ハ非違ハ起訴サレ、或ハ起訴サレズト云フコトニナッテハ、ドウシテ司法權ノ公正ヲ保ツコトガ出來ルカ、政友會デアレバ如何ナル惡イ事ヲシテモ構ハヌト云フコトガ何處ニ在ルカ(拍手)選舉法違反ハ與ヘル者ト與ヘラレル者トノ意思ガ合致シナケレバ罪ニナラナイ、貰フ方ガ惡イ心持デアッテモ、與ヘル方デ善ケレバ罪ニナラヌ、故ニ裁判所ハ先ヅ與ヘル方ノ行為ノ違法性ガアルト云フコトヲ確定シテ、其事ヲ漸次更ニ擴張ヲ致シテ、三人ニ對シテ確定判決ヲ言渡シテ居ル、サウシテ此與ヘタ方ニ對シテハ起訴ヲサレヌノデアアル、事柄ハ選舉法違反デアアルケレドモ、司法權ノ運用、此司法權ノ運用ガ正シクナケレバ、此物騒ナ村正ノヤウナ法律ヲ御委セスルノハ危險ヲ感ズルカラ之ヲ伺ッテ居ルノデアアル(拍手)

(國務大臣原嘉道君登壇)

○國務大臣(原嘉道君) 廣瀬君ノ第一ノ御質問ハ國民ノ意思ニ依ッテスル立法ハ爲シタ方ガ宜イデヤナイカ、然レニ何故ニ緊急勅令ニ依ッタカ、斯ウ云フ御話デアリマス

ガ、御承知ノ通り憲法ノ第八條ト云フモノ
ガアリマシテ、國家ノ治安ヲ維持スル必要
ガアレバ緊急勅令ヲ發布スルコトガ出來ル
コトニナリテ居ル、而シテ國民ノ意思ヲ問
フ爲ニハ事後承諾ト云フコトガ條件トナ
テ居ル(拍手)之ニ依リテ國民ノ意思ヲ問
フ、サウシテ效力ヲ存續スルヤ否ヤ決メ
ルノデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、

第二ニハ治安維持法ニ依リテ死刑ニ處シ
シマツテハ、遷善改過ノ餘地ハナイデヤナ
イカ、ソレヲ何デモ彼デモ死刑ニスルコト
ハ不都合デヤナイカト云フ御尋デアリマス
ガ、治安維持法ノ改正緊急勅令ヲ御覽ニナ
リマスルト、皆死刑ニ處ストハ書イテナ
イノデアリマス、遷善改過ノ望ノナク、而シ
テ其極惡無道ノ者ニ對シテ死刑ヲ宣告
スルノデアリマス(拍手)第三ハ他ノ政府當
局カラ御答アリマス、第四ニ付テハ是ハ事
件ノ嫌疑ハアリマス、而シテ時効ハ完成シ
テ居リマセヌ、本人病氣ノ爲ニ一應ノ訊問
ヲモ爲スコトガ出來ナイ、故ニ終局處分ニ
至テ居ラヌノデアリマス、ソレダケ御答
致シテ置キマス

(國務大臣望月圭介君登壇)

○國務大臣(望月圭介君) 只今現政府ノ取
締ト云フコトノ上ニ付テノ御非難ガアツ
ヤウデアリマスルガ、現政府ハ總テノ取締
ニ付キマシテハ決シテ偏頗不公平ヲシタコ
トハアリマセヌ、殊ニ又言論文章ハ嚴重ニ
取締ルガ、暴力行爲ヲ何カ政府ガ使喚シ
スルト云フ如キコトハ、是ハ誣エルモ甚シ
キモノデアリマス、吾々ハ此點ニ付テハ出
來得ル限りノ力ヲ致シテ居ルノデ、褒メラ
レコソスレ非難ヲ受ケル點ハアリマセヌ
(拍手)

○廣瀬德藏君 只今御答辯ヲ承リマシタ
ガ、裁判所ノ記録ヲモ否認サレルヤウナ亂

暴ナ政府ノ答辯ハ連モ吾々ハ承服ガ出來ヌ
ト思フ、併シ今日ハマダ他ニ無產黨ノ方カ
ラモ質問サレル方モアリマスシ、時間モ迫
テ居リマスカラ、此問題ハ私ハ尙ホ他ノ僚
友ト共ニ委員會ニ於テ徹底的ニ質問致シタ
イト思ヒマス、今日ハ是デ打切テ置キマ
ス

○副議長(清瀬一郎君) 水谷長三郎君

(水谷長三郎君登壇)

○水谷長三郎君 私人本案ニ關シテ試ミマ
スル所ノ質疑ハ總理大臣、司法大臣及內務
大臣ニ對スル質疑デアリマス、先ヅ第一番
ニ、田中總理大臣ニ御同致シタイト思ヒマ
ス、要點ハ此治安維持法緊急勅令ト、去ル
特別議會ニ於キマシテ殆ド衆議院全體ガ可
決シタ所ノ思想的國難決議案ニ關スル關係
デアリマス、即チ思想的國難ニ關スル決議
案ニ於キマシテハ「共產黨事件ニ對シ政府
ガ刑罰ノミヲ以テ之ニ臨ムハ不可ナリ宜シ
ク其ノ環境ヲ改善スルノ途ヲ講セサルヘカ
ラス」是ガ大體決議ニナリマシテ、其決議
案ノ説明者デアル所ノ尾崎氏ノ言葉ニ依リ
マシテモ、共產黨事件ハ之ヲ彈壓スルノミ
ニ於テハ吾々ノ目的ハ達スルコトハ出來ナ
イ、吾々政治家トシテ考ヘナクテハナラナ
イノハ、何故共產黨事件ガ此日本ニ於テ發
生シタカト云フ其原因ヲ究メテ、再ビ斯ウ
云フ事件ガ我國ニ發生シナイヤウニシナク
テハナラナイト云フノガ尾崎行雄氏ノ説明
要旨デアッタノデアル、更ニ田中總理大臣ハ
特別議會ノ施政方針演說ニ何ト言ハレタカ、
田中總理大臣ノ特別議會ニ於ケル施政方針
演說ハ、只二ツノ事シカ言テ居ラナイノ
デアリマス、即チ一ツハ支那問題デアリ、一
ツハ思想問題デアリマス、其思想問題ノ時
ニ當リマシテ田中總理大臣ハ何ト言ハレタ
カ「政府ハ固ヨリ寸毫モ假借スル所ナク、

斷平タル方針ヲ以テ是等ノ逆徒ヲ處分致シ
マスルト共ニ、此ノ如キ事件ノ由テ生ズ
ル所ノ原因ヲ究メ、各方面ニ互ニ出來得ル
ダケノ施設ヲ用意トシ盡シ、根本源泉ノ途
ヲ講ズル考デアリマス」是ガ田中總理大臣ノ
思想問題ニ關スル特ニ日本共產黨事件ニ關
スル御演說デアッタノデアリマス、即チ共
產黨事件ハ彈壓スルノミデハイカナイ、其
由テ生ズル所ノ原因ヲ究メ、再ビ之ガ我ガ
日本ニ發生セザルヤウニシナクテハナラナ
イ一之ヲ衆議院議員ハ殆ド全體ヲ以テ院
議デ可決ヲシテ居ルノデアル、政友會諸君
モ勿論大賛成サレタ點デアル、又田中總理
大臣ノ施政方針ノ演說ニ於テモ此點ヲ特ニ
力説サレテ居、然ルニ事實ハ果シテ如何、
果シテ田中總理大臣ハ共產黨事件ノ原因ヲ
深く考ヘ、其原因ヲ排除ク爲ニ努力サレタ
カ否ヤ、即チ十七億八千萬圓上云フ大豫算ヲ
組ンデ、其中社會政策ノ施設ヲサレタ
ノガドレダケノ額カト言ヒマスレバ、其
十七億八千萬圓ノ僅カ八百八十分の一ノ
二百萬圓ニ過ギナイノデアル、而モ一方ニ
於テハ無產階級ノ運動ハ左翼ト言ハズ、中間
ト言ハズ、右翼ト言ハズ、泥鰌ト「サーベル」
ヲ以テ吾々ニ彈壓ヲシテ居ルノデアル、斯
ウ云フ事實ヲ前ニスル時ニ於キマシテ、田
中總理大臣ハ果シテ特別議會ニ於キマシ
テ、衆議院議員ガ殆ド全會一致デ以テ、
可決サレタ所ノ、思想的國難決議案ヲ無視
サレタカドウカ、斯ウ云フ社會的施設或ハ
斯ウ云フ對無產階級の政策ヲ以テ臨マレル
限り、總理大臣ハ果シテ特別議會ニ於ケル
所ノ院議ヲ重視サレタカ、或ハ無視サレタ
カ、或ハ特別議會ノ施政方針演說ニ於テ總
理ガ國ノ内外ニ宣明サレタ所ノ思想問題ニ
關シテ、果シテ嚴守サレタカ否ヤ、此點ヲ
私ハ總理大臣ニ質問ヲ致シタイト思フノデ

アリマス、次ニ原司法大臣ニ對スル質問デ
アリマス、原司法大臣ニ對スル質問ハ其詳
細ナル技術的ノ點ニ於キマシテハ、他日委
員會ニ於テ述べマスガ故ニ、本會議ニ於テ
ハ極ク簡單ニ大キナ點ノ二三ニ付テ御答辯
ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス、先ヅ第
一ニ原司法大臣ニ御尋シタイ點ハ、即チ原
司法大臣ハ我が國體ニ對シテ如何ナル御信
念ヲ有シテ居ラレルヤ否ヤト云フ一點デア
リマス

(「早クヤレ」謹聽シ給ヘ)其他發言ス
ル者多シ)

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○水谷長三郎君(續) 原司法大臣ノ先程ノ

御説明ニ依リマスレバ、本案ハ思想的內亂
罪トモ稱シ、或ハ思想的外患罪トモ稱スル
モノヲ罰スルノデアツテ、敢テ一兵ニ劔ラ
ザルモ我國體ヲ破壊スル虞ガアルガ故ニ、
本案ヲ緊急勅令デ出シタト云フ御説明ガ
アツタノデアリマス、併ナガラ少クトモ吾
吾ノ考ヘル所ニ依リマスレバ、我が日本ノ
國體ハ、一兵ニ劔ラズシテ思想的內亂罪、
或ハ思想的外患罪ニ於テ、我が國體ヲ破壊
サレルト云フヤウナコトハ、吾々ハ斷ジテ
考ヘテ居ラナイノデアル、此點ニ關シテ私
ハ原サンガ一體我が國體ニ關シテ如何ナル
信念ヲ持ッテ居ラレルカト云フコトヲ御聽
キシタイノデアリマス、丁度本件ガ發生致シ
マシタ當時、英吉利ノ一雜誌「マンチエス
ター・ガーディアン」ト云フ雜誌ガ本件ニ關
シテ一ツノ批評ヲシテ居ル、申スマデモナ
ク「マンチエスター・ガーディアン」ト云フ
雜誌ハ共產黨ノ雜誌デモナケレバ、又左翼
團體ノ雜誌デモナク、ソレハ單ニ自由主義
的ナル一雜誌ニ過ギナイノデアル、所ガ其
雜誌ニドウ云フコトヲ書イテアツタカ、其
批評ノ中ニ、日本共產黨事件ニ關スル緊急

勅令ニ付テノ批評ノ中ニ、英吉利國民ハ英吉利ノ國體ト云フコトニ關シテ絶對ノ信賴ヲ持テ居ル、ダカラ會テ祖國ヲ逐ハレタ所ノ革命家「マルクス」ヲモ安心シテ迎ヘタ、又「クロボトキン」モ安心シテ迎ヘタ、

サウシテ彼等ニ安住ノ地ヲ與ヘテヤツタ、ソレハ何故カト云ヘバ英吉利ノ國民ガ英吉利ノ國家ニ對シテ牢固トシテ拔クベカラザル所ノ信念ヲ持テ居ルカラデアル、然ルニ何事デアルカ、日本デハ其日本ノ國民サヘモ露西亞カラ歸テ來タカラト云フテ直グニ之ヲ撲殺スル、斯ウ云フヤウナ極メテ譬喩的ナ、併ナガラ吾々ヲシテ考ヘサス所ノ一論文ガ載テ居タノデアル、原サンガ既ニ御存知ノ通り此度ノ日本共產黨事件ト云フモノハ、其被告ノ數ノ半分マデハ學生デアル、又學生ト少シ時期ヲ異ニシタ所ノ若イ青年デアル、ソレガ五百名ナラ五百名捕ヘラレタ、斯ウ云フ問題ニ關シテ日本ノ國體ガ直グニモ破壞サレルヤウニ考ヘテ、緊急勅令ニ依ッテデナクテハナラナイト云フ其原因ハ何處ニ在ルカ、之ニ關シテ原司法大臣ハ我ガ國體ニ付テ如何ナル信念ヲ持ッテ居ラレルカ、次ニ此緊急勅令ノ必要ナル理由トシテ、原サンハ露西亞ノ共產黨大學カラ續々ト歸テ來ル、又首魁ハ未ダ逮捕サレズニ活動ヲ續ケテ居ルト云フヤウナコトヲ一ツノ理由ニサレマシタ、併ナガラソレハ日本ノ警察力ガ十分ニ其威力ヲ發揮シナイト云フ證據ニナリコソスレ、法律ノ威信ト云フモノガソレニ依ッテ害セラレタトハ吾々ニハ考ヘラレナイ、若シサウ云フ事實ガアルトスレバ、若シ露西亞カラ續々ト共產黨大學ヲ卒業シテ歸ルト云フ事實ガアルナラバ、何故日本ノ警察力ヲ以テフン縛ル所ノ自信ガ無いノデアルカ、若シ斯ウ云フ工合ニ縛ニ就カナイモノガアルガ故ニ、緊急勅令

ガ必要デアルト云フナラバ、今日說教強盜ガ未ダ縛ニ就カナイガ故ニ、說教強盜ニ關スル緊急勅令モ必要デアルト云フコトニナル

(此時發言スル者多ク議場騒然)

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○水谷長三郎君(續) 次ニ第三點トシテ御尋シタイ點ハ、所謂此第一條第二項ニ言ハレテ居ル所ノ私有財産制度ノハッキリシタ所ノ概念、サウシテ其否認ノ方法ト云フコトヲハッキリト御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、即チ吾々ノ考ヘル所ニ依レバ、私有財産制度ト云フモノハ一箇ノ流動常ナキ所ノ經濟的概念デアアル、此一箇ノ流動常ナキ所ノ經濟的概念ヲバ、固定のナ法律概念ニ於テ罰スルニハ可ナリノ矛盾ト、可ナリノ困難トガアル、例ヘバ現在資本主義の經濟組織ガドウ云フ傾向ヲ迪テ居ルカ、現在無產階級、或ハ人類ノ大多數ガ生活苦ニ苦シデ居ル、其苦ミト現在ノ資本主義の經濟組織トガ、ドウ云フ關係ニ置カレテ居ルカ、サウシテ吾々ガ此資本主義の經濟組織ニ關シテ如何ナル批判ヲ加ヘ、又如何ナル展望ヲ與ヘ、サウシテ又如何ナル傾向ニ導キツ、アルカ、現在單リ吾々ノ立場カラデナクシテ「ブルジョアジ」ノ立場ニ於テモ、資本主義の經濟組織ノ整理、資本主義の經濟組織ノ改良ト云フモノハ澤山行ハレテ居ル、斯ウ云フヤウナ概念ニ對シテ、斯ウ云フヤウナ社會進化トシテハ必然ニ避ケルコトノ出來ナイ所ノ資本主義の經濟組織ノ轉化ニ關シテ、斯ウ云フ第二項ト云フヤウナ法律ヲ設ケルコトガ果シテ——單ニ今ノ政友會デアルトカ民政黨デアルトカ云フサウ云フ立場カラデナクシテ、廣ク人類進化ノ立場カラシテドウ云フ影響ヲ與ヘルカト云フコトヲ、ハッキリシテ貴ヒタ

イト思フノデアリマス、勿論此法律ト經濟トノ技術的關係、ソレ等ノ點ニ關シマシテハ他日委員會ニ於テ詳細ニ論ズルノデアリマスガ、本會議ニ於テハ少クトモサウ云フヤウナ大キナ問題ニ付テ原サンノ御答辯ヲ煩シタイト思フノデアリマス、次ニ此第四點トシテ御尋シタイ點ハ、此治安維持法ト云フモノハ、少クトモ今度ノ改正サレタ所ノ治安維持法ト云フモノハ、名ヲ共產黨征伐ニ藉テ、實ハ左翼運動ヲ壓迫スル所ノモノデハナイカト云フ點デアリマス、ソレハ第一條ノ「情ヲ知リテ結社ニ加入シタル者」、其次ニ「又ハ結社ノ目的遂行ノ爲ニスル行爲ヲ爲シタル者」、此概念ガハッキリトシナイ、即チ此概念ハ俗ニ共產黨ノ「テクニツク」トシテ用ヒラレテ居ル所ノ黨員以外ノ外廓ヲ指シテ言フノデアルカ、或ハソレトモ日本共產黨或ハ其他ノ共產黨ト「ヴェルト」關係ニ結バレタ所ノ左翼大衆團體總テヲ包含スル所ノ規定デアアルカ、此點ヲハッキリ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、次ニ內務大臣ニ對スル質問ハ、斯ウ云フ一種ノ思想的犯罪ト云フモノヲバ、斯ノ如キ死刑ヲ以テ臨ムト云フヤウナ手段ヲ以テスルコトガ、果シテ一國文化、進化ノ上カラ見テ是認サルベキモノカドウカ、例ヘバ獨逸ニ於キマシテモ十九世紀ノ中葉ニ、彼ノ鐵血宰相ト言ハレタル所ノ「ビスマルク」ガ社會主義者鎮壓法ト云フモノヲ制定シタ、併ナガラ其制定サレタ後ニ於ケル所ノ獨逸ノ社會事情ト云フモノハ、サウ云フ法律ガ制定サレタ以前ニモ増シテ、陰慘ナ實ニ過激ナル社會狀態ニナツタ、又露西亞ニ於テモ十九世紀ノ末葉カラ執ッテ來タ所ノ暗黒裁判ノ結果、一年ニ二万人モ死刑ニ處シタト云フ暗黒裁判ノ結果ガ、露西亞ニドウ云フ影響ヲ與ヘタカト云フコトヲ、

ハッキリト考ヘテ戴キタイ、サウシテ當然所謂共產黨ガ目的トシテ居ル所ノ革命ガ起ルベキ搖籃地デアアル所ノ英吉利ニ於テ、何故革命ガ起ラズニ、暴壓ト彈壓トヲ加ヘタル所ノ露西亞、佛蘭西ニ於テ或ハ獨逸ニ於テア、云フ問題ガ起タカ、其事情ニ關シテ內務大臣ハ思想的犯罪ニ對スルニ斯ノ如キ暴壓、彈壓ヲ以テ臨ムト云フコトガ、果シテ社會進化ノ上カラ見テ是認スベキモノカドウカ、又是認サレルトシタナラバ、如何ナル證據ニ立ッテ此點ヲ是認スルカ、ドウカ以上ノ點ニ關シテ國務大臣ノ答辯ヲ煩シタイト思フノデアリマス

(國務大臣男爵田中義一君登壇)
○國務大臣(男爵田中義一君) 水谷君ノ第一御尋ニ對シ、固ヨリ此緊急勅令ノミヲ以テ此思想ニ對スベキモノデハナイト存ジマス、必ズヤ他ノ對策ト相俟ッテ行カナクテハナラヌノデアアル、然ラバ其對策トハ如何ト言ヘバ、即チ教育ノ改善、産業ノ振興、或ハ社會政策、其他稅制ノ整理ニ至ルマデ是等ト相並ンデ、而シテ此思想ニ關スル決議ノ要求ニ應ジタイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)

(國務大臣原嘉道君登壇)
○國務大臣(原嘉道君) 我國ノ國體ハ絕對ニ變革セラルベキモノデハアリマセズ、併ナガラソレガ爲ニ之ガ變革ヲ企ツル者ヲ取締ラスト云フ譯ニハ行キマセズ(拍手)刑法ノ內亂罪、外患罪ノ規定ガアルノモノソレガ爲デ、內亂ヤ外患ニ依ッテ日本帝國ガ滅ビルトハ思ッテ居ラスノデアアル、併シ之ヲ取締ルノ必要ハアル(「ヒヤ」)(拍手)共產黨ノ首領株ノ中捕マラス者ガアリ、又露西亞カラ歸テ來ル者ガアレバ捕ヘタラ官イデヤナイカト云フコトデアリマスガ、是ハ今漸次捕ヘツ、アルノデアリマス、併シ捕ヘタ

上ニ罰スル法律ガ要ルカラ、之ヲ罰スル法律ヲ出シタノデアリマス、私有財産制度ニ付テノ觀念ニ付テ色々御話ガアリマシタガ、

是ハ昨年水谷君ニモ御答シテ置キマシタ通りデ、色々ノ學說等ガアリマシテモ、ソレ

ヲ此處デ一々舉ゲテ論ズル必要モアリマセヌカラ、是ハ尙ホ具體的ナコトヲ御尋ニ

ナッタラ委員會デ御答スルコトニ致シマス、ソレカラ第四ニ治安維持法ハ共產黨ニ對ス

ル處罰ノミナラズ、左翼運動ヲモ壓迫シハセヌカト云フコトデアリマスルガ、此法律

ハ明文ノ示スガ如ク、國體變革ヲ目的トスル結社ヲ組織シタ者、及其目的遂行ノ爲ニ

デアリマスカラ、之ニ觸レナイ範圍ニ於テ左翼運動ヲ爲サルノハ、一向此法律デ取締

リハ致シマセヌ

〔國務大臣望月圭介君登壇〕

○國務大臣(望月圭介君) 水谷君ノ御質問ニ御答ヲ申上ゲマス、此國家ヲ破壊シ、軍

除ヲ破壊シ、經濟ヲ破壊シ、道德ヲ破壊スルト云フヤウナ行動ニ對シテハ、私ハ已ム

ヲ得ナイト存ジテ居ルデアリマス、何卒自分トシテハ此法ノ屢使ハレナイヤウニシ

タイト云フコトハ萬希望シテ居リマスルケレドモ、斯ノ如キ不逞ノ徒ニ對シテハ此法ヲ用フルコト蓋シ已ムヲ得ナイト存ジテ居

タイト思フデアリマス(拍手) 次ニ原總理……

〔笑聲起リ發言スル者多シ〕

○副議長(清瀨一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○水谷長三郎君(續) 次ニ原司法大臣ニ御尋シタイ點ハ、第一點ノ答辯デアリマスガ、

若シ大臣ガ、日本ノ國體ニ關シテ吾々同様ニサウ云フ強イ信念デ居ラレルナラバ、

今度ノア、云フ事件ナシカガ、社會的ニ見テ、或ハ法律的ニ見テ、一個ノ不能犯ト見

ラレル、又見ナクテハナラナイト云フヤウナ御考ハナイカドウカ、ソレカラ左翼運動

云々ニ關シテ、左翼運動ヲナサレルコトハ差支ナイト、如何ニモ私ガ左翼運動ヲスル

カノヤウニ言ハレマシタガ……

〔シテ居ルデハナイカ〕其他發言スル者多シ

○副議長(清瀨一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○水谷長三郎君(續) 決シテ私自身ノ問題デ開イテ居ルノデハナイ、日本ノ左翼運動

ノ爲ニ開イテ居ルノデアル、而モ其答辯ガ極メテの外レデアリマス、私ノ尋ネタ點ハ、所謂共產黨ノ外廓ニ相當シテ居ル者カ、或

ハ「ヴェルト」ニアル所ノ左翼大衆ヲ含ムノカ、此點ヲ打テ御答ヲ願ヒタイト思フ

ノデアリマス、次ニ私有財産制度ノコトニ關シテ、原サンハ特別議會ノ委員會ニ、ハッキリ答ヘタヤウニ仰シヤッテ居リマスガ、ソ

レハ恐ラク誤解デアリマセウ、原サンハ私有財産制度ノ概念ハ如何ト言フタニ對シテ、ソレハ中々ムジカシイ問題デアリマ

スト云フ答辯デデアリマシテ、ハッキリ概念ハ言フテ居リマセヌ、ダカラ今本會議ニ於テ、其私有財産制度ノ概念ヲハッキリ言ヘ

ナカタナラバ、特別委員會マデニ其私有財産制度ノ概念ヲハッキリ宣明セラレンコトヲ希望スルノデアリマス(發言スル者多

シ) 變ハ彌次ヲサレマス、ナンボデモ頑張りマスゾ

〔頑張ルトハ何ダ〕其他發言スル者多シ

○副議長(清瀨一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○水谷長三郎君(續) 若シ議事進行ヲ御互ニ望ムナラバ、モット靜肅ニ聽イタラドウデスカ

〔發言スル者多シ〕

○副議長(清瀨一郎君) 靜肅ニ御聽ヲ願ヒマス

○水谷長三郎君(續) 次ニ內務大臣ノ御答辯デアリマスガ、是ハ極メテの外レデアル、

私ハ獨逸、佛蘭西、露西亞或ハ英吉利ノ例ヲ引イテ、斯ウ云フ思想運動ニ對スル所ノ彈壓ガ、ア、云フ結果ヲ起シタニ付テ、果シテ斯ウ云フ彈壓ガ可能デアルカ、其理論的根據ヲ示シテ戴キタイト云フノガ私ノ質問デアッタノデス、以上重ネテ各大臣ノ御答辯ヲ煩ハシマス

〔國務大臣男爵田中義一君登壇〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 私ニ對シテノ再度ノ御尋ハ教育ノ改善、其他ノ事項ヲ列記シマシタ其事柄ヲ御記憶下スツテ、豫算ニ付テ御覽ニナレバ能ク分リマス(拍手)

〔國務大臣原嘉道君登壇〕

○國務大臣(原嘉道君) 第一ノ斯ノ如キ犯罪ヲ不能犯ト思ハヌカト云フコトハ、是ハ刑法ノ理論ヲ御研究ニナレバ分ルコトデ、斯ウ云フモノガ不能犯ニナルカドウカト云フコトハ、私共ガ答辯スベキ限リデアリマセヌ、ソレカラ第二ノ御問ノ本法ニ依ッテ罰セラレル範圍ハ外廓ダケカ、「ヴェルト」

モ含ムカト云フコトデアリマスガ、斯ウ云フコトハ水谷君カラ能ク御説明ヲ聞イタ上デナイト、御説明出來ヌ事デアリマスカラ、是ハ委員會ニ讓ルコトニ致シマセウ

〔國務大臣望月圭介君登壇〕

○國務大臣(望月圭介君) 先刻御答ヲシマシタ通りノ次第デ、歐羅巴ノ事例ヲ御舉ゲニナッテ、之ニ對スル所ノ所見ヲ聞クト云フコトデアリマスガ、是ハ別ニ答辯ヲスル必要ヲ認メマセヌ

○水谷長三郎君 只今各大臣ノ答辯ガアリマシタガ、未ダ十分ナル御答辯ト思ヒマセヌガ、何レ委員會ニ於テ質問スルコトニ致シマス

○原惣兵衛君 質問打切ノ動議ヲ提出致シマス、本案ニ對スル質疑ハ之ヲ以テ終局セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕〔贊成ト呼フ者アリ〕

○副議長(清瀨一郎君) 原君ヨリ質疑打切ノ動議ガアリマシタ、成規ノ贊成アルモノト認メマス、此動議ハ先決問題デアリマスカラ直ニ採決致シマス、原君ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者 起立〕

○副議長(清瀨一郎君) 起立多數ト認メマス(拍手) 仍テ原君ノ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二十七、右議案ヲ審査スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二十七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○原惣兵衛君 本案ハ特ニ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(清瀨一郎君) 御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（清瀬一郎君） 御異議ナシト認メ
マス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、以上ヲ
以テ日程ニ掲ゲタル議事ヲ全部終了致シマ
シタ、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス、次回
ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス
午後六時五十八分散會

衆議院議事速記録第十號中正誤

頁	段	行	誤	正
一三八	四	三一	ヲ附ケマ	ニ因ミマ
一四九	二	二六	報知新聞	邦字新聞
同	同	二九	報知新聞	邦字新聞
同	三	一三	報知新聞	邦字新聞

